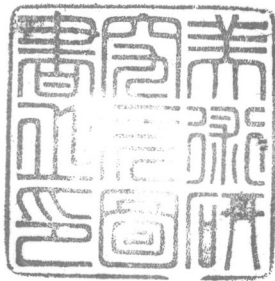


東京国立文化財研究所蔵

音 盤 目 録

II



東京国立文化財研究所

## 序

昭和35年度、当研究所芸能部は「浄瑠璃の音楽的理法の研究」の課題で文部省から機関研究費の交付を受け、その際、神戸在住の故安原仙三氏所蔵の邦楽レコード約6,000枚を研究資料として購入した。

このコレクションは、明治・大正・昭和三代にわたって発行された各種邦楽レコードを網羅したもので、その中には、いまは亡き諸名人の演奏が数多く含まれ、近代における邦楽の実態とその変遷を知る上で貴重な資料となるものである。

芸能部では、この安原コレクションレコード目録の作成を計画し、数年にわたる共同作業により、まず第1巻として「義太夫節の部」の目録を昭和41年に刊行した。その後、義太夫節以外のレコードを、芸能部の演劇・音楽舞踊・郷土芸能の三研究室が分担し、それぞれに整理事業を続けて来たが、今回第2巻として「演劇の部」の目録を刊行することになった。

思うに、芸能の研究には、未開の分野が多く、本目録の作成に際しても、少なからぬ困難を伴ない、多くの年月を費した。しかし、芸能部が煩雑な作業をいとわず、詳細な目録を作成したのも、研究分野の開拓に資せんとする意欲の表われにほかならない。

本目録の成るに当って、先学の諸研究の恩恵を受けるとともに、多方面の方々の御教示を仰いだ。ここに記して、深く感謝の意を表する。

東京国立文化財研究所長

関野克





## 目 次

序	1
音盤目錄(演劇)	
凡 例	2
11 能	
1. 嵐 山	6
2. 蟻 通	6
3. 杜 若	6
4. 加 茂	6
5. 鞍馬天狗	6
6. 小 督	6
7. 胡 蝶	6
8. 桜 川	8
9. 隅 田 川	8
10. 殺 生 石	8
11. 高 砂	8
12. 竹 生 島	8
13. 忠 靈	8
14. 鶴 龜	8
15. 天 鼓	10
16. 融	10
17. 難 波	10
18. 羽 衣	10
19. 鉢 木	10
20. 花 筐	12
21. 船 弁 慶	12

22. 松 風	12
23. 松 虫	12
24. 三井寺	12
25. 紅葉狩	14
26. 山 姥	14
27. 熊 野	14
28. 弱法師	14
早 舞	14
名人のおもかげ	14

## 12 狂 言

1. 靱 猿	14
2. 柿山伏	14
3. 不聞座頭	14

### 狂言小謡

1. 暁	16
2. 七つ子	16
3. 子の日	16
4. 福の神	16

## 13 歌 舞 伎

1. 青砥稿花紅彩画	18
2. 明烏夢泡雪	18
3. 赤穂義士伝	18
4. 伊賀越道中双六	20
5. 伊勢音頭恋寝刃	20
6. 一谷嫩軍記	22
7. 茨 木	22
8. 妹背山婦女庭訓	24
9. いろは仮名四十七訓	24

10.	江戸育お祭佐七	24
11.	絵本太功記	24
12.	大杯觴酒戦強者	26
13.	近江源氏先陣館	26
14.	大森彦七	26
15.	女殺油地獄	26
16.	鏡山錦楓葉	26
17.	籠釣瓶花街酔醒	26
18.	梶原平三誉石切	26
19.	復讐談高田馬場	28
20.	敵討襪襦錦	28
21.	仮名手本忠臣蔵	28
22.	鐘もろとも恨鮫鞘	36
23.	神明恵和合取組	36
24.	勸進帳	36
25.	勸善懲惡視機関	38
26.	鬼一法眼三略巻	38
27.	木曾街道膝栗毛	38
28.	吉様参由縁音信	38
29.	俠客春雨傘	38
30.	桐一葉	38
31.	極付幡隨長兵衛	40
32.	天衣紛上野初花	40
33.	鞍馬山だんまり	42
34.	黒手組曲輪達引	42
35.	慶安太平記	42
36.	傾城阿波の鳴門	42
37.	恋女房染分手綱	42

38.	恋飛脚大和往来	42
39.	勾当内侍	44
40.	小袖曾我薊色縫	44
41.	寿曾我对面	44
42.	西郷と豚姫	44
43.	三千両黄金蔵入	44
44.	三人吉三廓初買	46
45.	楼門五三桐	46
46.	綴 引	48
47.	実録先代萩	48
48.	忍夜恋曲者	48
49.	暫	48
50.	島衛月白浪	50
51.	十二時会稽曾我	50
52.	修禅寺物語	50
53.	新皿屋舗月雨暈	50
54.	心中天網島	50
55.	水滸伝雪挑	52
56.	菅原伝授手習鑑	52
57.	鈴 ケ 森	54
58.	増補桃山譚	54
59.	曾我綉俠御所染	54
60.	伊達競曲輪翰当	56
61.	壇浦兜軍記	56
62.	忠臣いろは実記	56
63.	忠臣蔵後日建前	56
64.	土 蜘蛛	58
65.	土屋主税	58

66. 壺坂靈驗記	58
67. 積恋雪関扉	58
68. 梅雨小袖昔八丈	58
69. 東海道四谷怪談	60
70. 藤十郎の恋	60
71. 唐人塚	60
72. 時今也桔梗旗揚	60
73. 鳥辺山心中	60
74. 博多小女郎浪枕	60
75. 橋弁慶	60
76. 番町皿屋敷	62
77. 一つ家	62
78. 双蝶々曲輪日記	62
79. 二つの櫓	62
80. 沓手鳥孤城落月	62
81. 本朝廿四孝	62
82. 宮島だんまり	64
83. 処女翫浮名横櫓	64
84. 紫被布千鳥浮織	64
85. 伽羅先代萩	64
86. 戻橋	64
87. 夜討曾我狩場曙	66
88. 義経千本桜	66
89. 与話情浮名横櫓	68
90. 若木仇名草	70

陰囃子

(1). 芝居囃子の色々	70
(2). 春・夏・秋・冬	70

(3).	歌舞伎合方集	72
(4).	長唄芝居之囃子	72
(5).	正月～十二月	72
(6).	忠臣蔵十二月	72
(7).	十二月	74
(8).	正月～十二月	74
(9).	宮嶋だんまり・御所五郎蔵・三人吉三	76
(10).	十二月	76
(11).	しゃぎり	76

## 15 新 派

1.	己が罪	78
2.	婦系図	78
3.	仮名屋小梅	78
4.	酒中日記	78
5.	塵 境	78
6.	大尉の娘	78
7.	通夜物語	80
8.	流るる星	80
9.	生さぬ仲	80
10.	春の潮	80
11.	二筋道	80
12.	不如帰	80
13.	名人長次	80

## 16 新 劇

1.	秀吉と淀君	82
2.	マ ツ	82

## 18 大衆劇

### 181 軽演劇

1. 愛の終点……………82
2. 吾妻草紙……………82
3. アラビヤ夜話……………82
4. 歐洲みやげ……………82
5. 啞の旅行……………82
6. 乙女心……………84
7. 京人形……………84
8. 喧嘩友達……………84
9. 木枯らし……………84
10. 心の脱線……………84
11. 堺の富蔵……………84
12. 震災の五郎……………84
13. 短慮の刃……………84
14. 茶音頭……………84
15. 茶屋違い……………86
16. 日本橋……………86
17. 旗行列の歌……………86
18. 晩饗会……………86
19. 百行の基……………86
20. 良心……………86
21. 若き日の影……………86

### 182 剣劇

1. 会津の小鉄……………88
2. 清水治郎長……………88

### 183 中間演劇

1. 国定忠治……………88

2. 白野弁十郎	88
3. 城山の月	90
4. 大菩薩峠	90
5. 月形半平太	90
6. 富岡先生	90
7. 箕輪の心中	90

189 博多ニワカ

1. 先祖の抵当	92
----------	----

19 脚本朗読

1. ハムレット	92
2. 沓手鳥孤城落月	92

付 録

音盤カード記入規定	95
別表1 音盤分類表	118
別表2 題名場名表 (演劇)	126
別表3 (略)	137
別表4 奏演者代数表 (歌舞伎)	138
別表5 (A) 音盤題紙識別表	142
別表5 (B) (略)	194

索 引

1 題名索引 (歌舞伎)	196
2 奏演者索引	204
3 詞章索引 (能) (歌舞伎)	220



音 盤 目 録

(演 劇)

## 凡 例

- 1 東京国立文化財研究所に所蔵する音盤のうち、故安原仙三氏旧蔵の音盤（安原コレクション）の演劇のみを本巻に収めた。
- 2 音盤目録の配列は次の順位に拠った。
  - 第一順位 音盤分類表（別表1）の順。
  - 第二順位 題名番号順。
  - 第三順位 主奏演者名の五十音順。ただし、同題名の中では、幕の異なるごとに配列順位を改めた。
  - 第四順位 奏演面数の多い順。
  - 第五順位 録音状態の良い順。
  - 第六順位 準主奏演者名の五十音順。

なお、題名番号のない音盤は、各種目の末尾に一括した。また、「歌舞伎」の末尾に「陰囃子」を一括し、主奏演者名の五十音順に配列した。

- 3 当用漢字および現代かなづかいを用いることを原則とし、題名・人名その他の固有名詞にかぎり、当用漢字以外の文字を用いた。
- 4 題名番号欄・題名欄・奏演者欄・題紙欄・整理番号欄・詞章欄・音盤番号欄・備考欄を設けた。各欄の記入事項は下記のとおりである。
  - (1) 題名番号欄  
各種目の題名を五十音順に配列して付けた番号を記入した。
  - (2) 題名欄
    - (I) 題紙の記載にかかわらず、統一した題名を用い、本来二場以上にわたる演目においては、場名を記入した。（別表2 126ページ参照）
    - (II) 題名は、現行の上演外題名を基準として定めた。
    - (III) 場名は、地名・建物名等を用い、事件名等の通称を用いなかった。また台本の本文を尊重し、従来慣用には従わなかった。
    - (IV) 奏演部分が二場以上に及ぶ場合は、場名にA・B等と頭記した。
    - (V) 奏演部分に特定の名称があるものは、場名に準じて添記した。（例・駒の段）
    - (VI) 奏演形式の名称を、〔小謡〕〔独吟〕〔独吟番謡〕〔囃子〕〔番囃子〕〔素囃子〕

〔独鼓〕〔狂言小謡〕〔陰囃子〕等と付記した。

### (3) 演奏者欄

- (I) 演奏者の姓名を記入し、演劇的役名を（ ）に入れて頭記した。
- (II) 演奏者名で、代数の明らかなものや、区別を必要とするものは、代数をローマ数字でⅡ・Ⅲ等と頭記する（別表4 138ページ参照）か、区別し得る名称を〈 〉に入れて付記した。
- (III) 題紙の記載の不備や誤りを、他の資料によって補い、または訂正したものは〈 〉を付けた。ただし、音盤に添えられたパンフレットの記載は、題紙に記載されたものと同等に扱い、〈 〉を付けなかった。
- (IV) 題紙に演奏者の所属集団名だけが記載されていて、個々の演奏者名が不明の場合は、その集団名だけを記入し、全く不明の場合は「？」とした。
- (V) 演劇的役名は、姓・名のうち、どちらか通りのよい方だけを用いた。
- (VI) 音楽の演奏者名を記入する場合は、歌唱者・三味線・囃子などの順に各別行で記入し、その役割を頭記した。

この場合、本欄に用いた略号は下記のとおりである。

- (歌) 歌唱者 (三) 三味線 (上) 上調子
- (大) 大鼓 (小) 小鼓 (太) 太鼓
- (囃) 囃子 (陰) 陰囃子

- (VII) 歌舞伎など、演奏の進行に従って、囃子が伴奏することを原則とする種目以外の種目で、囃子の演奏者名が不明の場合は〔陰囃子入〕、歌舞伎・新派など柝を用いるのを原則とする種目以外の種目で、柝を用いている場合は〔柝入〕、洋楽を用いているものは〔洋楽入〕と付記した。

### (4) 題紙欄

- (I) まず音盤名を下記の略記号によって記入した。ただし、下記以外の音盤名は省略せずに、カタカナで発音どおりに（促音・拗音は小字にせず）記入した。

オリ=オリエント	ビク=ビクタア
コロ=コロンビア	ヒコ=ヒコオキ
タイ=タイヘイ	ホガ=ホオガク
テイ=テイチク	ポリ=ポリドオル
トキ=トオキヨオ	ライ=ライロホン
ニト=ニツトオ	リガ=リイガル
ニポ=ニツポノホン	

- (II) 次に、音盤題紙識別表（別表5(A) 142ページ参照）の様式記号欄に設けた

分類記号を記入した。

(Ⅲ) 次の行に、音盤題紙の地色を下記の色名を用いて記入した。

白・桃・赤・橙・黄・緑・青・紫・茶・灰・黒

ただし、地色に二色以上を使用したものは「多色」とした。また、盤の表裏の色名が異なる場合は、A面B面の順に二色を並記した。

(5) 整理番号欄

本研究所の音盤収蔵箱の番号と各箱の中の番号との組み合わせによる整理番号を記入した。また音盤の表裏ともに音がはいっているものは、表面をA、裏面をBとして区別した。

(6) 詞章欄

(I) まず面の順序を(1)(2)等と頭記した。ただし、欠面のある場合は(\*)で示した。

(II) 次に、各面における初めの五・七音節分、七・五音節分程度の詞章を、演奏のとおりに入力した。ただし、句読点はいわず、二人以上の会話の替り目だけに「」印を用いた。また欠面の場合は……………と記入した。

(Ⅲ) 二場以上を収めた演目においては、題名欄と関連づけて、各場の冒頭の部分を収めた面に、A・B等と頭記した。

(Ⅳ) 一面の途中、または次の面との間に、演奏を省略した部分がある場合は、詞章の末尾に\*印を付けた。

(Ⅴ) 詞章が全く聴き取れないものは「?」とし、一部が不明なものは、その音節の数ほど○を記入した。また他の資料で補った場合は<>を付けた。

(Ⅵ) 詞章以外、初めに口上・解説等がはいっている場合は(序)、長い合方や陰囃子があるものは(合)(陰)、笑い声や泣き声がある場合は(笑)(泣)等と記入した。

(Ⅶ) 解説を主とするものや、詞章のない場合は、その内容を要約して記入したが、器楽の演奏だけで内容を表現しがたいものは空欄にした。

(7) 音盤番号欄

(I) 題紙記載の番号のうち、発行番号を記入し、そのあとに題紙の周辺等に打ち込まれた番号のうち、製作番号を( )の中に記入した。

(II) 発行番号と製作番号とが同じ場合は、製作番号は(〃)と略記した。

(Ⅲ) 二種以上の番号がある場合は、主要なものだけを記入したが、その主要度の差が認めにくいときは、「,」でくぎって並記した。

(Ⅳ) 発行番号または製作番号がない場合は、ナンと記入した。

(8) 備考欄

(I) 同種音盤との相互関係を、下記の記号と整理番号とを用いて示した。

≡ 全く同じ音盤

= 同原版の異版または異装

≐ 同音源の別原版

ただし、二面以上にわたる場合は、最初の盤の整理番号を〔 〕の中に記入して、他を省略した。

(II) 音盤の方式・規格等を記入した。本巻ではほとんどがSP盤なので、LP盤だけを指摘した。また大部分が直径25センチ盤なので、30センチ盤だけを30cmと記入した。さらに、盤面の中央部から外縁部へ向かって針が移動する方式の音盤を、「遠心式」としてして区別した。

(III) 音盤の破損状態を下記の略称を用いて記入した。

カケ 盤の縁の欠けているもの

カビ 盤面のかびの除き得ないもの

キズ 盤面に傷のあるもの

スレ 盤面のすり減っているもの

ソリ 盤のそっているもの

ヒビ 盤にひびがはいっているもの

(IV) その他、題紙に記載された作者・脚色者名、題紙の記載との相違点等特記事項を記入した。

5 その他の細部については、本研究所の音盤カード記入規定（95ページ参照）ならびに細則に準拠した。

# 演 劇

## 11 能

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
1	嵐 山 〔囃子〕	(歌) I 梅若万三郎 梅若六郎<景昭>	ビク I b 黒	9— 1A
2	蟻 通 〔独吟〕	(歌) 宝生新	ニポ I a 赤	9— 2A
3	杜 若 〔囃子〕	(歌) I 梅若万三郎 (囃) (笛)一噌要三郎 (小)三須平司 (大)石田清吉 (太)増見仙太郎	ニポ I a 赤	9— 3A
4	加 茂 〔小謡〕	(歌) 桜間金太郎	テイ Va 黒	9— 4A
5	鞍馬天狗 〔独吟〕	(歌) 喜多六平太<能心>	ニポ I c 赤	9— 5A B
5	鞍馬天狗 〔小謡〕	(歌) 桜間金太郎	テイ Va 黒	9— 4A
6	小 督 駒の段 〔独吟〕	(歌) 金子亀五郎	ライ I a 赤	9— 6B
6	小 督 〔独吟番謡〕	(歌) 観世左近<元滋>	タイ VI a 紫・赤	9— 7A B 8A B 9A B 10A B 11A B 12A
7	胡 蝶 〔囃子〕	(歌) 宝生九郎<知栄>	ビク I a 黒	9— 13

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(1)	和光利物のおん姿	50029-A (A50029A)	
(1)	夢に寝てうつつにいずる	2513(〃)	
(1)	昔男の名を留めて	1500(〃)	
(1)	石川や瀬見の小川の	1456(N663)	四季小謡集の内 夏
(1)	あら痛わしやおん身と申すは	3016(〃)	
(2)	さてもこのほどお供して	3017(〃)	
(1)	花咲かば告げんと言いし	1456(N663)	四季小謡集の内 春
(1)	嵯峨野の方の秋の空	71050(〃)	
(1)	これは高倉の院に仕え奉る	F-168 (N3614, 60099A)	
(2)	さようのしずが屋には片折り戸と	F-168 (N3615, 60099B)	
(3)	あからさまなる事ながら	F-169(3616)	
(4)	おしかん鳴くこの山里と	F-169(N3617)	
(5)	疑いもなき小督の局の	F-170 (N3618, 東3618)	
(6)	人もとい来て会におう	F-170 (N3619, 60101B)	
(7)	仲国おん目にかからざらんほど	F-171 (N3620, 60102A)	
(8)	恐れながらじきのおんべんじ	F-171(N3621)	
(9)	たとえを知るも数ならぬ	F-172(N3622)	
(10)	これはさすがに同じ世の	F-172(N3623)	
(11)	こがらしに吹き合わすめる	F-173(3624)	
(1)	春夏秋の花も尽きて	11319(B11319)	=9-14B

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
7	胡 蝶 〔囃子〕	(歌) 宝生九郎<知栄>	ビク 黒 IVb	9— 14B
8	桜 川 網の段 〔独吟〕	(歌) 粟谷益二郎	ポリ 黒 Ia	9— 15B
9	隅 田 川 〔囃子〕	(歌) I 梅若万三郎 梅若六郎<景昭>	ビク 黒 Ib	9— 1B
9	隅 田 川 〔囃子〕	(歌) 宝生九郎<知栄> 野口政吉 (囃) (笛)藤田多賀造 (小)三須錦吾 <錦掌> (大)石田清吉	ニポ 赤 Ia	9— 16A
10	殺 生 石 〔独吟〕	(歌) 宝生新	ニポ 赤 Ia	9— 2B
11	高 砂 〔独吟〕	(歌) 粟谷益二郎	ニト 黒 IVa	9— 17A B
12	竹 生 島 〔囃子〕	(歌) 喜多六平太<能心> 金子亀五郎 (囃) (笛)藤田多賀造 (小)大倉喜太郎 (大)川崎利吉 (太)観世元規	ライ 緑 Ia	9— 6A
13	忠 靈 〔番囃子〕	(歌) (忠霊)観世鎮之丞 <華雪>・(男)観世 元正・(国土)I 梅 若万三郎 (地謡)大槻十三・ 観世織雄・坂井音 次郎・浅見真健 (囃) (笛)一噌鉄二 (小)北村一郎 (大)高安道喜 (太)金春惣右衛門 <国泰>	ビク 赤 VIIa	9— 18A B 19A B 20A B 21A B 22A B 23A B 24A B
14	鶴 亀 〔囃子〕	(歌) 宝生九郎<知栄>	ビク 黒 IVb	9— 14A



詞	章	音 盤 番 号	備 考
(1) 春夏秋の花も尽きて		11318-B (11319)	=9-13
(1) あたら桜のあたら桜の		F2-B (N1782)	
(1) われもまたいざこと問わん		50029-B (A50029B)	
(1) われもまたいざこと問わん		1330(〃)	
(1) 肝胆の砕き祈りしかば		2514(〃)	
(1) 昔の人の申ししは*		5208-A(〃)	
(2) ありがたのようごうや		5208-B (東2007)	
(1) りゅうじん湖しょうに出現して		71043(〃)	
(1) (囉)わが日のもとに生まれ来て		5871(J-1875)	
(2) しかれどもちょうこくの昔より		5871(J-1876)	
(3) うき事のなおこの上に		5872(J-1877)	
(4) 天が下家となさばや		5872(J-1878)	
(5) おのずから春のたむけの		5873(J-1879)	
(6) いかにかこれなる人に申すべき		5873(J-1880)	
(7) 君が代のみ影を仰ぐ		5874(J-1881)	
(8) 踏みて進まん道の上に		5874(J-1882)	
(9) かけまくも大君のみことのりに		5875(J-1883)	
(10) たとえがい陣するとても		5875(J-1884)	
(11) 夜もふけ過ぎてしののめや		5876(J-1885)	
(12) 頼もしや夢うつつとも		5876(J-1886)	
(13) 大神に告げ奉るわが心		5877(J-1887)	
(14) やす国の神の庭神慮		5877(J-1888)	
(1) 月宮殿のはくえのたもと		11318-A(〃)	

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
15	天 鼓 〔囃子〕	(歌) 梅若六郎<景昭> (囃) (笛)杉山立枝 (小)大倉宜利 (大)齋田喜一郎	コロ Xa 青	9— 25A B
15	天 鼓 〔独鼓〕	(歌) 喜多六平太<能心>	コロ Ia 黒	9— 26
16	融 〔独吟〕	(歌) 桜間金太郎	テイ Va 黒	9— 27A B
17	難 波 〔独吟〕	(歌) 観世左近<元滋>	タイ Va 赤	9— 12B
18	羽 衣 〔独吟番謡〕	(歌) 観世左近<元滋>	ニト Vc 紫	9— 28A B 29A B 30A B 31A B 32A B
18	羽 衣 〔囃子〕	(歌) 喜多六平太<能心>	コロ Xb 青	11— 5B
18	羽 衣 〔囃子〕	(歌) 宝生九郎<知栄> 野口政吉 (囃) (笛)藤田多賀造 (小)幸五郎 (大)石田清吉 (太)増見仙太郎	グロオブ Ia 紫	9— 33
18	羽 衣 〔囃子〕	(歌) 宝生九郎<知栄> 野口政吉 (囃) <(笛)藤田多賀造 (小)幸五郎 (大)石田清吉 (太)増見仙太郎>	ニポ Ia 赤	9— 34A
18	羽 衣 〔独吟番謡〕	(歌) <宝生九郎<重 英>>	白	9— 35A B
19	鉢 木 〔小謡〕	(歌) 桜間金太郎	テイ Va 黒	9— 4B

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(1) これは天鼓が亡霊なるが (2) おもしろや時もげにおもしろや		35117-A (NE33744) 35117-B (NE33745)	
(1) おもしろや時もげに秋風楽		2239(2239-1C)	
(1) あれこそ夕ざれば野辺の秋風 (2) あらしふけ行く秋の夜の		1749(N667) 1749(N668)	
(1) あらおもしろの音楽や		F-173(3625)	
(1) かざ早の三保の浦わを (2) 風向こう雲の浮き波 (3) それは天人の羽衣とて (4) 涙の露の玉かずら (5) かりょうびんがの慣れ慣れし (6) いやこの衣を返しなば (7) しかるに月宮殿のありさま (8) この松原の春の色を (9) 落日の紅はそめいろの (10) 左右左右ささつ		3951-A (3189) 3951-B (3190) 3952-A (3191) 3952-B (3192-1) 3953-A (〃) 3953-B (3194) 3954-A (3195) 3954-B (3196) 3955-A (3197) 3955-B (3198)	
(1) 東遊びの数数に		35415-B (38427)	伊庭孝編「日本音楽史」(10)
(1) 東遊びの数数に		1333(〃)	=9-34A
(1) 東遊びの数数に		1333(〃)	=9-33
(1) かざ早の三保の浦わを (2) おとめは衣を着しつ		ML2004(L S X-86) ML2004(L S X-87)	L P 盤、題紙は白紙にペン書き
(1) さて松はさしもげに枝を		1456(N664)	四季小謡集の内冬

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
19	鉢 木 〔独吟〕	(歌) 宝生九郎<知栄>	トキ I a 赤	9— 36A
20	花 筐 〔囃子〕	(歌) I 梅若万三郎	ニポ I b 赤	9— 37B
21	船 弁 慶 〔囃子〕	(歌) 宝生九郎<知栄> 野口政吉	ニポ I a 赤	9— 34B
22	松 風 〔独吟〕	(歌) 観世清廉	コロビアデス ク I a 桃	9— 38
22	松 風 〔独吟番謡〕	(歌) 観世左近<元滋>	タイ VI a 赤・紫	9— 39A B 40A B 41A B 42A B 43A B 44A B 45A B 46A B
22	松 風 〔独吟〕	(歌) I 観世喜之	ニポ I a 赤	9— 47A B
22	松 風 〔囃子〕	(歌) 宝生九郎<知栄> 野口政吉 (囃) 藤田多賀造 (小) 三須錦吾 <錦掌> (大) 石田清吉	ニポ I a 赤	9— 16B
22	松 風 〔独吟〕	(歌) 宝生九郎<知栄>	トキ II a 赤	9— 48A
23	松 虫 〔囃子〕	(歌) 宝生九郎<知栄>	ビク III a 黒	9— 49
24	三 井 寺 鐘の段 〔独吟〕	(歌) 宝生九郎<知栄>	トキ I a 赤	9— 36B

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(1)	まず冬木より咲きそむる	145(〃)	
(1)	かように申せばかように申せば	1503(〃)	
(1)	一門のげっけいうんかのごとく	1334(〃)	
(1)	運ぶは遠きみちのくの	2247(2247-1A)	
(1)	これは諸国一見の僧にて	F-152(V95)	
(2)	潮くみ車わずかなる	F-152(V96)	
(3)	関吹き越ゆるとながめたもう	F-153(V97)	
(4)	影恥ずかしきわが姿	F-153(V98)	
(5)	沖に小さきいさり舟の	F-154(V99)	
(6)	ふけ行く月こそさやかなれ	F-154(V100)	
(7)	松の群立ちかすむ日に	F-155(60212A, X47)	
(8)	しばらくおん待ちそうらえ	F-155(X48)	
(9)	始めよりお宿参らせたくは	F-156(X49)	
(10)	げにや思い内にあれば	F-156(X50)	
(11)	この上は何をかきのみ	F-157(X51)	
(12)	かくて三とせも過ぎ行けば	F-157(X52)	
(13)	あわれいにしえを思いいずれば	F-158(X53)	
(14)	三つ瀬川絶えぬ涙の	F-158(X54)	
(15)	げにのう忘れてさむろうぞや	F-159(X55)	
(16)	松に吹き来る風も狂じて	F-159(X56)	
(1)	松島や雄島のあまの	3479(〃)	
(2)	それは鳴海渦こは鳴尾の	3480(〃)	
(1)	松の群立ちかすむ日に	1331(〃)	
(1)	松の群立ちかすむ日に	144(〃)	
(1)	おもしろや千草にすたく	11321(D11321)	
(1)	かほどの聖人なりしに	148(〃)	

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
25	紅葉狩 〔小謡〕	(歌) 桜間金太郎	テイ Va 黒	9— 4B
26	山 姥 〔囃子〕	(歌) I 梅若万三郎	ニボ I b 赤	9— 37A
26	山 姥 〔独吟〕	(歌) 宝生九郎<知栄>	トキ II a 赤	9— 48B
27	熊 野 〔独吟〕	(歌) 喜多六平太<能心>	ポリ I a 黒	9— 15A
28	弱 法 師 〔囃子〕	(歌) I 梅若万三郎 (囃) (笛)一噌要三郎 (小)三須平司 (大)石田清吉	ニボ I a 赤	9— 3B

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
	早 舞 クツロギ 〔素囃子〕	(囃) (笛)一噌又六郎 (小)幸悟朗 (大)川崎利吉 (太)金春惣右衛門 <国泰>	コロ IX b 青	9— 50A B
	名人のおもかげ	(解説) 沼艸雨	NHR I a 多色	9— 51A B

## 12 狂 言

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
1	韃 猿	(大名)茂山千五郎<I千作>・(太郎冠者)田中保清・(猿引)茂山真一・(猿)茂山政次 (地謡) 武藤達三	ハンプカイ III a 緑	9— 61A B 62A B
2	柿 山 伏	(山伏)山脇和泉<元照> (百姓)藤江又喜	トキ II a 緑	9— 63A B
3	不 聞 座 頭	(太郎冠者)山本東次郎<則忠>・(菊市)岡田紫男	グラモホンコン サアト I a 黒	9— 64

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(1)	一河の流れをくむ酒を	1456(N664)	四季小謡集の内秋
(1)	いとま申して帰る山の	1502(〃)	
(1)	そもそも山んばは生所も知らず	146(〃)	
(1)	寺は桂の橋柱	F2-A(1847N J)	
(1)	さて難波の浦の致景の数数	1501(〃)	

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(1)	初段・二段目	35268-A (NE35943)	二段目地頭アト 一カン省略
(2)	三段目・四段目	35268-B (NE35944)	
(1)	梅若万三郎について	PH180-B (PB192-A)	NHK放送の録音
(2)	野口兼資について	PH180-A (PB192-B)	

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(*)	………		
(5)	こなたも聞いてくだされこのさは	8685(〃)	
(6)	太郎冠者殿太郎冠者殿	8686(〃)	
(7)	ずっと出て寝よ寝よ」なんじゃ	8687(〃)	
(8)	あいやあいとし殿御のござるやら	8688(〃)	
(1)	これは出羽の羽黒山よりいでたる	234(〃)	
(2)	(笑)さてさてじょうずにまねを	235(〃)	
(1)	(笑)」これはいかな事」さても	G. C. 14589 (14589 II, E364)	

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
1	暁 〔狂言小謡〕	(歌) 野村万斎	コロ Xb 青	11— 5A
2	七 つ 子 〔狂言小謡〕	(歌) 茂山真一	ニポ I b 赤	9— 65A
2	七 つ 子 〔狂言小謡〕	(歌) 野村万斎	コロ Xb 青	11— 5A
3	子 の 日 〔狂言小謡〕	(歌) 茂山千五郎 〈I千作〉	ニポ I b 赤	9— 65B
4	福 の 神 〔狂言小謡〕	(歌) 茂山千五郎 〈I千作〉	ニポ I b 赤	9— 65B



詞	章	音 盤 番 号	備 考
(1)	暁の明星は西へちろり	35415-A (121538)	伊庭孝編「日本音楽史」(9)
(1)	七つになる子がいたいけな	5904(〃)	
(1)	七つになる子がいたいけな	35415-A (121538)	伊庭孝編「日本音楽史」(9)
(1)	春ごとにねの日の松の	5905(〃)	
(1)	いでいでこのついでに楽しゅう	5905(〃)	

## 13 歌 舞 伎

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
1	青砥稿花紅彩画 浜松屋の場	(菊之助)Ⅴ市村羽左衛門 (駄右衛門)Ⅶ松本幸四郎 (南郷)Ⅹ守田勘弥・(幸兵衛)Ⅱ尾上幸藏・(番頭)Ⅰ尾上梅十郎	ニポ I c 赤	9— 71A B 72A B
1	青砥稿花紅彩画 浜松屋の場	(菊之助)Ⅴ市村羽左衛門 (駄右衛門)松本錦四郎・ (南郷)Ⅶ松本幸四郎	コロ X a 青	9— 73A B
1	青砥稿花紅彩画 浜松屋の場	(菊之助)Ⅵ尾上菊五郎・ (駄右衛門)Ⅲ尾上菊三郎 (南郷)Ⅵ大谷友右衛門	ニト I a 黒	9— 74A B 75A B 76A B
1	青砥稿花紅彩画 浜松屋の場	(菊之助)Ⅵ尾上菊五郎 <(駄右衛門)Ⅵ坂東彦三郎 (南郷)Ⅳ市川男女藏 (幸兵衛)Ⅲ尾上菊三郎> (陰)Ⅰ柏伊三郎社中	ビク Y b 赤	9— 77A B 78A B
1	青砥稿花紅彩画 稲瀬川の場	(菊之助)Ⅴ市村羽左衛門 (駄右衛門)Ⅶ松本幸四郎 (南郷)Ⅹ守田勘弥・(忠信)Ⅵ尾上梅幸・(赤星)Ⅶ市村家橋	ニポ III b 赤	9— 79A B
2	明烏夢泡雪 山名屋浦里部屋の場	(時次郎)Ⅹ守田勘弥・(浦里)初瀬浪子・(おかや)藤間房子 (歌) 清元喜久太夫 (三) 清元梅次・(上)清元東三郎	ニポ I c 赤	9— 80A B 81A B 82A B
2	明烏夢泡雪 山名屋奥庭の場	(時次郎)Ⅹ守田勘弥・(浦里)初瀬浪子・(ゆかり)阪東三津児・(みどり)市川時子 (歌) 清元喜久太夫 (三) <清元梅次>	ニポ I c 赤	9— 83A B 84A B
3	赤穂義士伝 三島藤家の場	(丑五郎)Ⅱ尾上卯三郎・ (与五郎)尾上喜久太郎・ (仁助)中村芝十郎・(女房)片岡当次郎・(おと	ニト I a 黒	9— 85A B 86A

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(1)	あいやお侍ちょっと待って	16704-A (14816)	
(2)	たくみしかたりがあらわれても	16704-B (14817)	
(3)	さこれから先あこっちの働き	16705-A (〃)	
(4)	あったあったこっちが悪いゆえ	16705-B (〃)	
(1)	やあさては女と思いのほか	35298-A (NE36058)	
(2)	その相ずりのしり押しゃあ	35298-B (NE36059)	
(1)	あいやお侍しばらくお待ち	567-A (〃)	
(2)	やあさては女と思つたは	567-B (〃)	
(3)	その相ずりのしり押しは	568-A (〃)	
(4)	なんだなんでえ刀ひねくり回して	568-B (〃)	
(5)	なんだこう薬代が二十兩かい	569-A (〃)	
(6)	おう出かけようじゃねえか	569-B (〃)	
(1)	あいやお侍ちょっとお待ち	13163-A (1857)	
(2)	さては女と思つたは	13163-B (1858)	
(3)	その相ずりのしり押しゃあ	13164-A (1859)	
(4)	ああこれこれおまえ方も	13164-B (1860)	
(1)	動くな」こりゃあわいらは	50038-A (16817A)	
(2)	続いてあとにひけえしは	50038-B (16817B)	
(1)	白雪の積もるも恋に	15089-A (9470)	
(2)	会うた初手からかわいさが	15089-B (9471)	
(3)	いつまでこうしていたとても	15090-A (9472)	
(4)	回向を頼むさらばやと	15090-B (9473)	
(5)	どうで死なんす覚悟なら	15091-A (9474)	
(6)	いえいえそうは抜けさせぬ	15091-B (9475)	
(1)	浦里あとをうちながめ	15365-A (9476)	
(2)	今はわが身につまされて	15365-B (9477)	
(3)	これゆかりそなたはさぞ悲しかろ	15366-A (9478)	
(4)	この世のなごりに今一度	15366-B (9479)	
(1)	お休みなさいませ」藤家で	587-A (〃)	
(2)	おおいおとら一べえ飲まして	587-B (〃)	
(3)	いらねえおせっけえだええ	588-A (〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
		ら)尾上卯十郎		B 87A B
3	赤穂義士伝 三島本陣の場	(丑五郎)Ⅱ尾上卯三郎・ (盛山)尾上喜久太郎・(亭 主)尾上昇鶴・(番頭)尾 上岐三郎・(聴衆)尾上卯 多次	ニト I a 黒	9— 88A B 89A B
4	伊賀越道中双六 伊賀上野街道の場 〔陰雛子〕	Ⅲ杵屋栄蔵社中	ビク V b 黒	10—84B
5	伊勢音頭恋寝刃 二見ヶ浦の場 〔陰雛子〕	Ⅲ杵屋栄蔵社中	ビク V b 黒	10—85A
5	伊勢音頭恋寝刃 油屋の場	(貢)Ⅺ市村羽左衛門・お 紺)Ⅵ尾上梅幸・(万野) Ⅳ尾上松助	ニボ I b 紫	9— 90A B 91A B 92A B 93A B 94A B 95A B 96A B
5	伊勢音頭恋寝刃 油屋の場	(貢)Ⅶ沢村宗十郎・(お 紺)河村菊江	ボリ I a 赤	9— 97A B 98A B
5	伊勢音頭恋寝刃 油屋の場	(貢)Ⅱ実川延若・(お紺) 中村魁車	ニボ III c 赤	9— 99A B 100A B
5	伊勢音頭恋寝刃 油屋の場	(貢)Ⅰ中村鷹治郎・(お 紺)Ⅳ中村福助<高砂屋>・ (万野)市川莚女・(喜助) 中村魁車・(お鹿)Ⅱ市川	コロ X a 青	9—101A B 102A

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(4)	おい丑てめえなんてえまねを	588-B (〃)	
(5)	いやまだ日差しも高し畜類	589-A (〃)	
(6)	こりゃこりゃてい主これをば	589-B (〃)	
(1)	? <この場のおさまり>	590-A (〃)	(1)(2)カケ
(2)	? <おりから聞こゆる>	590-B (〃)	
(3)	もしもしちょっちょっと待って	591-A (〃)	
(4)	おい先生おれはねえおれはばかだ	591-B (〃)	
(1)	駅路入り馬子唄(箱八)・山おろし・早め合方・三つ太鼓・大小入り合方・ごん・竹笛入り合方(繁蔵)・早双盤合方・つかかけ・かけり・三絃入り早笛・しゃぎり	50538-B (〃)	芝居囃子(春の巻下)
(1)	波の音・只合方・唄入り四丁目(赤い物)・早禪の勤め・ごん・忍び三重・竹笛入り合方(木の葉)・駅路入り馬子唄(伊勢は津)・しゃぎり	50539-A (〃)	芝居囃子(夏の巻上)
(1)	ああよいよい今わしゃちょっと	8930(4600)	(9)(10)カケ・ヒビ
(2)	これお紺そんならわが身は	8930(4601)	
(3)	皆さん聞いてくださんせ	8931(4602)	
(4)	ついにこれまで大ぜいの	8931(4603)	
(5)	なんじゃ仲居の万野じゃ	8932(4604)	
(6)	これ貢さんおまえがなんと	8932(4605)	
(7)	おまえ覚えがないと言わしゃんす	8933(4606)	
(8)	なんとみんな聞いたかおいらは	8933(4607)	
(9)	それほど手詰めの金ならば	8934(4608)	
(10)	さささその腹の立つはもつとも	8934(4609)	
(11)	おがくずも言えば言わると	8935(4610)	
(12)	なんじゃいねああいぬたとえ	8935(4611)	
(13)	さあさあ貢さん早ういにな*	8936(4612)	
(14)	さあさあ音頭の始まり始まり	8936(4652)	
(1)	先だって本国阿波なる*	5036-A (3228 B F)	
(2)	こよいお鹿さんと呼ばしゃんした	5036-B (3229 B F)	
(3)	そんならなぜ初めからそれを*	5037-A (3230 B F)	
(4)	さあさあ音頭の始まり始まり*	5037-B (3231 B F)	
(1)	なに貢さんがおいなんしたとな	17567-A (NE40464)	
(2)	ああしゅんな話で座がめいった	17567-B (NE40465)	
(3)	そう潔白には言われまい	17568-A (NE40466)	
(4)	おがくずも言わば言わると	17568-B (NE40467)	
(1)	なに貢さんがおいでなんしたとえ	35152-A (NE41155)	
(2)	なあ岩さんおまえもそうで	35152-B (NE41156)	
(3)	ええ腹が立つ腹が立つ	35153-A (NE41157)	

題名 番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
		箱登羅・(お岸)中村鷹之助・(万次郎)林長三郎・(岩次)中村扇・(北六)中村成三 (歌) 阪東徳三郎 (三) 中村新三郎		B 103A B 104A B
5	伊勢音頭恋寝刃 油屋の場 [陰囃子]	(歌) 中村六広 (三) VI岡安喜三郎・杵屋新三郎 (囃) X 田中伝左衛門・V 田中佐十郎・II 柏扇吉・VIII 田中佐太郎・(笛)望月太喜一郎	ポリ I b 黒	10—93B
6	一谷嫩軍記 須磨の浦の場	(直実) I 中村吉右衛門・(敦盛) III 中村時藏・(平山) 中村吉之丞・(玉織姫) IV 市川紅若	ニポ I c 赤	9—105A B 106A B 107A B
6	一谷嫩軍記 直実陣屋の場	(直実) VII 市川中車・(相模) II 市川松鶯	ニポ I c 赤	9—108A B
6	一谷嫩軍記 直実陣屋の場	(直実) I 中村鷹治郎・(相模) IV 中村福助<高砂屋>・(藤の局) VI 嵐吉三郎	ニト I a 黒	9—109A B 110A B 111A B
6	一谷嫩軍記 直実陣屋の場	(直実) VII 松本幸四郎・(相模) III 坂東秀調・(宗清) XIII 守田勘弥・(義経) VII 沢村宗十郎・<(藤の方) IV 沢村訥升・(梶原) 松本錦四郎> (歌) 竹本重寿太夫 (三) 豊沢才三郎	コロ X a 青	9—112A B 113A B
7	茨木	(茨木) VI 尾上梅幸・(綱) VII 松本幸四郎 (歌) <VI 芳村伊十郎>	コロ X a 青	9—114A B 115A B
7	茨木	(茨木) VI 尾上梅幸・(綱) VII 松本幸四郎 (歌) VI 芳村伊十郎	トキ I a 黒	9—116A B

詞	章	音盤番号	備考
(4)	もうし貫さんこの手紙にある	35153-B (NE41158)	
(5)	それを今となって受け取らんの	35154-A (NE41159)	
(6)	なんぼわたしへのつら当てじゃ	35154-B (NE41160)	
(7)	喜助どん喜助どん早うござんせ	35155-A (NE41161)	
(8)	万野喜助喜助万野喜助*	35155-B (NE41162)	
(1)	唄入り踊り地(伊勢に遊ばば)太鼓入り・本釣鐘・竹笛入り音頭唄入り(桜花)	398-B (1817B F)	芝居囃子十二ヶ月(八月)伊勢音頭
(1)	かかりける所に後ろより	15805-A (12587)	
(2)	敦盛を取って押え	15805-B (12588)	
(3)	われこそ参議経盛のぼっし	15806-A (12589-1)	
(4)	向こうの山より平山が	15806-B (12590)	
(5)	やあ愚かや直実悪人の	15807-A (12591-1)	
(6)	いそに伏したる玉織姫	15807-B (12592)	
(1)	こりゃ女房そのほうはこれへ*	15390-A (11356)	
(2)	さてもさんぬる六日の夜	15390-B (11357)	
(1)	あと見送って熊谷は	860-A (〃)	
(2)	小次郎がうい陣に	860-B (〃)	
(3)	のう熊谷いかにいくさの	861-A (〃)	
(4)	申し上げんと座を構え	861-B (〃)	
(5)	さればおん顔よく見奉れば	862-A (〃)	
(6)	おん涙を浮かめたまい	862-B (〃)	
(1)	物語らんと座を構え	35217-A (NE34837)	
(2)	おおと勧めさしゃんしたか*	35217-B (NE34838)	
(3)	聞いた聞いた義経熊谷	35218-A (NE34839)	
(4)	いかに義経殿あるとき	35218-B (NE34840)	
(1)	これは津の国渡辺の	35329-A (M36819)	新古演劇十種の内
(2)	いかなる猛将勇士たりとも	35329-B (M36820)	
(3)	お聞き及びあらざるか	35330-A (M36821)	
(4)	はて勇ましき和殿の手柄*	35330-B (M36822)	
(1)	七日の内はからひつの*	339(〃)	
(2)	それよう気満ち満ちて	340(〃)	

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
		(囃) X 田中伝左衛門社 中		
8	妹背山婦女庭訓 入鹿館の場	(饜七) II 市川右団治・(お 三輪) IV 市川新升	ニト II a 紫	9—117 A B 118 A B
9	いろは仮名四十七訓 A. 弥作内の場① B. 七太夫内の場 C. 弥作内の場②	(弥作) II 尾上卯三郎・(か や) IV 片岡愛之助・(和助) 尾上喜久太郎・(七太夫) 尾上卯十郎	オリ VI a 黒	9—119 A B 120 A B 121 A B
10	江戸育お祭佐七 A. 菊本の場 B. 菊本裏手の場 C. 小糸内の場 D. 柳原土手の場	(佐七) XV 市村羽左衛門・ (小糸) VI 尾上梅幸・(伴 平) II 尾上幸蔵・(九助) II 坂東村右衛門・(三吉) IV 片岡市蔵・(おてつ) IV 尾上松助	ニボ I b 紫	9—122 A B 123 A B 124 A B 125 A B 126 A B 127 A B 128 A B
10	江戸育お祭佐七 柳原土手の場	(佐七) XV 市村羽左衛門・ (小糸) III 坂東秀調・(伴 平) II 市川左升	コロ IX b 青	9—129 A B
10	江戸育お祭佐七 菊本裏手の場〔陰囃子〕	(歌) 中村六広 (三) VI 岡安喜三郎・杵 屋新三郎 (囃) X 田中伝左衛門・ V 田中佐十郎・II 柏扇吉・VIII 田中佐 太郎・(笛) 望月太 喜一郎	ポリ I b 黒	10—92 B
11	絵本太功記 さつき内の場	(光秀) VII 松本幸四郎・ (操) III 坂東秀調・(十次 郎) XIII 守田勘弥・(さつ き) 松本錦四郎 (歌) 竹本重寿太夫 (三) 豊沢才三郎	コロ X a 青	9—130 A B 131 A B



詞	章	音 盤 番 号	備 考
(1) 姿心も荒荒しく (2) じろりと見やり」女喜べ (3) げに秋しかの妻恋うごとく (4) 手負いは苦しき顔を上げ		1757-A (＼) 1757-B (＼) 1758-A (＼) 1758-B (＼)	
(1) A. おおいかか今もどったぞよ (2) 志はかたじけなけれど (3) B. へえおたの申します (4) さ早く訳を申せ」だんなさん (5) C. なんにもござんせぬが* (6) 弥作はどれにおおお弥作		2036-A (＼) 2036-B (＼) 2037-A (＼) 2037-B (＼) 2038-A (＼) 2038-B (＼)	
(1) A. ちょいと九助どん後生だから (2) こんなわたしをそのように (3) B. おいおうおう兄いここまで (4) 町人待て」ああれえ (5) こんな事も言いたくねえが (6) C. 知らぬ事とは言いなながら (7) さっき別れてけえったばかりで (8) いやありがてえありがてえ (9) さあそのびっくりはもともと (10) そりゃあ言わずと知れた事だ (11) ううんうぬ畜生破りゃあがったな (12) D. 今向こうがしの曲がりっかどで (13) 一筆しめし参らせそろさように (14) こ小糸その代わりにゃあな		8923(4587) 8923(4588) 8924(4589) 8924(4590) 8925(4591) 8925(4592) 8926(4593) 8926(4594) 8927(4595) 8927(4596) 8928(4597) 8928(4598) 8929(4599) 8929(4613)	
(1) 今向こうがしの曲がりっかどで (2) ああほぞの緒書きにて相わかり		35435-A (M38520) 35435-B (M38521)	
(1) 唄入り聖天(初恋の)・菖蒲浴衣合方・ 木遣くずし合方・三絃入り屋台囃子		297-B (1815 B F)	芝居囃子十二ヶ 月(六月)お祭佐 七
(1) 夕顔だなのこなたより* (2) 妻は涙にむせかえり* (3) あわやと見やる表口 (4) 真柴筑前守久吉の家臣		35186-A (NE34841) 35186-B (NE34842) 35187-A (NE34843) 35187-B (NE34844)	

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
12	大杯觴酒戦強者 内藤館の場	(三郎兵衛)Ⅱ市川左団次 (直孝)Ⅵ市川寿美藏・(治 右衛門)Ⅲ市川莚升 (歌) 竹本琴路太夫 (三) 豊沢重次郎	コロ X a 青	9—132 A B
12	大杯觴酒戦強者 内藤館の場	(三郎兵衛)Ⅱ実川延若・ (直孝)Ⅲ阪東寿三郎・(紀 伊守)Ⅱ市川荒太郎・(平 岡)Ⅲ浅尾大吉	ニト I a 黒	9—133 A B
13	近江源氏先陣館 盛綱陣屋の場	(盛綱)Ⅰ中村吉右衛門・ (微妙)Ⅳ市川紅若	ビク V b 赤	9—134 A B 135 A B
14	大森彦七 谷川の場	(大森)Ⅶ松本幸四郎・(千 早姫)Ⅶ尾上梅幸 (歌) 竹本重寿太夫 (三) 鶴沢小次郎	トキ II a 赤	9—136 A B
15	女殺油地獄 豊島屋の場	(与兵衛)Ⅱ市川猿之助・ (お吉)Ⅲ坂東秀調・(徳兵 衛)Ⅱ市川左升・(お沢) Ⅲ沢村源十郎 (歌) 竹本琴路太夫 (三) Ⅲ野沢錦糸	リガ I a 黒	9—137 A B 138 A B
16	鏡山錦楓葉 鏡山の場 [陰囃子]	(三) Ⅵ岡安喜三郎・杵 屋新三郎 (囃) X 田中伝左衛門・ V 田中佐十郎・Ⅱ 柏扇吉・Ⅷ田中佐 太郎・(笛)望月太 喜一郎	ポリ I b 黒	10—94 B
17	箆釣瓶花街酔醒 八橋部屋の場	(次郎左衛門)Ⅶ沢村訥子 (八橋)Ⅰ中村歌門・(九 重)片岡卯左衛門・(次 六)嵐立花 (歌) 吉住小扇次 (三) 杵屋十作	ヒコ II b 赤	9—139 A B 140 A B
17	箆釣瓶花街酔醒 立花屋屋根の場[陰囃子]	Ⅲ杵屋栄蔵社中	ビク V b 黒	10—86 B
18	梶原平三誉石切 星合寺の場	(景時)Ⅹ市川羽左衛門・ (六郎太夫)Ⅹ守田勘弥・ (梢)Ⅴ中村福助<成駒屋> (歌) 竹本一登太夫	ポリ I a 赤	9—141 A B 142 A

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(1) 呼び次ぐ声に原才助*		35237-A (NE34045)	原作河竹黙阿弥
(2) 三郎兵衛は威儀を改め		35237-B (NE34046)	
(1) 直孝公うち驚き」およそ天下に		544-A (〃)	
(2) こりゃこりゃ才助その杯を		544-B (〃)	
(1) 盛綱はただぼう然と		13111-A (1892)	
(2) してその願いと云やるのは		13111-B (1893)	
(3) これぞ兄弟弓矢の情け		13112-A (1894)	
(4) 母は手を打ち」もっとも兄の		13112-B (1895)	
(1) やあ何やつなれば盛長を		54(〃)	
(2) ころは建武二年五月		55(〃)	
(1) この節季越すに越されぬ		66874(73368)	
(2) おお徳兵衛殿ここにか		66874(73369)	
(3) 隠さっしゃるな知っております		66875(73370)	
(4) 誠らしとは思えども		66875(73371)	
(1) こだま入り合方・山おろし・砧・本 釣鐘・木の葉落とし合方・虫の合方 (謡 よもつじぎ)・虫笛		473-B (1819 B F)	芝居囃子十二ヶ月(十月)加賀騒動(紅葉山)
(1) (陰)佐野さん待ち遠でありんした		5867(〃)	
(2) これおいらんそりゃまた何で*		5868(〃)	
(3) これ八橋どんそれじゃあこんた		5869(〃)	
(4) そりゃもうおまはんが足を近う		5870(〃)	
(1) 送りましょかよ唄入り・大小太鼓騒 ぎ・風の音・本釣鐘・妻み合方・夜 番太鼓・金棒・三味線入り騒ぎ・早 め合方(梅の栄前弾)・しゃぎり		50263-B (〃)	芝居囃子(秋の巻下)
(1) 六郎太夫は歯がみをなし		5051-A (4645 B F)	(1)~(4)ヒビ
(2) あたり見回し平三景時		5051-B (4646 B F)	
(3) これ幸いと味方を欺き		5052-A (4647 B F)	

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
		(三) Ⅲ野沢吉作 (陰) Ⅲ杵屋栄藏社中		B
18	梶原平三誉石切 星合寺の場	(景時) XV市村羽左衛門・ (六郎太夫) Ⅱ市川左升・ (梢) Ⅶ市村家橘	コロ IXb 青	9-143A B
19	復讐談高田馬場 A. 安兵衛内の場 B. 高田馬場付近の場 C. 高田馬場の場	(安兵衛) 嵐璃徳・(勇平次) 嵐巖右衛門・(弥兵衛妻) 片岡門童・(荻野・村上) 嵐小笑・(おとら) 市川才十郎・(定助・中津川) 市川河十郎	オリ VIa 赤	9-144A B 145A B
20	敵討襤褸錦 大安寺堤の場	(春藤) Ⅰ中村鴈治郎・(高市) Ⅲ尾上多見藏・(嘉村) Ⅵ嵐吉三郎	ニボ I b 赤	9-146A B 147A B
21	仮名手本忠臣蔵 鶴ヶ岡八幡社の場	(節直) Ⅵ大谷友右衛門・(桃井) Ⅶ沢村宗十郎・(塩治) XV市村羽左衛門・(顔世) Ⅷ片岡仁左衛門・(直義) Ⅶ坂東三津五郎 (歌) 竹本鏡太夫 (三) 鶴沢市作	ビク VIIa 赤	9-148A B 149A B 150A B 151A B
21	仮名手本忠臣蔵 鶴ヶ岡八幡社の場	(節直) Ⅶ松本幸四郎・(桃井) Ⅷ守田勘弥・(顔世) Ⅲ坂東秀調・(直義) 松本純藏・(雑式) 沢村千鳥 (歌) 竹本重寿太夫	コロ Xa 青	9-152A B
21	仮名手本忠臣蔵 鶴ヶ岡八幡社の場 〔陰囃子〕	(歌) 竹本重寿太夫 (陰) X 田中伝左衛門	ニボ I a 赤	10-96A
21	仮名手本忠臣蔵 足利館長廊下の場	(節直) Ⅵ大谷友右衛門・(桃井) Ⅶ沢村宗十郎・(塩治) XV市村羽左衛門・(伴内) V 助高屋高助・(茶道) Ⅰ市川たかし (歌) 豊竹巖太夫 (三) 豊沢扇之助	ビク VIIa 赤	9-153A B 154A B 155A B 156A B
21	仮名手本忠臣蔵 足利館長廊下の場	(節直) Ⅶ松本幸四郎・(桃井) Ⅷ守田勘弥・(塩治) Ⅶ沢村宗十郎・(判内) V	ニボ IIIc 赤	9-157A B

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(4)	厚さ尺余の青目の石	5052-B (4648 B F)	
(1) (2)	あたり見回し平三景時 死後の悪名受くるとも	35425-A (M38522) 35425-B (M38523)	
(1) (2) (3) (4)	A. お頼み申すお頼み申す うういああい心持ちだ B. これ娘よ今高田の馬場にて C. ややおじ上にはもはや	3821-A (〃) 3821-B (〃) 3822-A (〃) 3822-B (〃)	
(1) (2) (3) (4)	とったと掛かるを身をかわし 武右衛門なことばの端端 うぬそれが定なら抜いて見せい あいさつすれば次郎右衛門	15129-A (9121) 15129-B (9122) 15130-A (9123) 15130-B (9124)	
(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)	(陰)かこうありといえども 太平の世の政 直義仰せいださるは こはごもっともなる評議ながら 敵命さえも柔らかに 見れば所も名にし負う ああいやあ顔世殿 さようなれば御免なされて	5843 (J-1538) 5843 (J-1539) 5844 (J-1540) 5844 (J-1541) 5845 (J-1542) 5845 (J-1543) 5846 (J-1544) 5846 (J-1545)	(3)(4)カビ
(1) (2)	直義御覧じ」召しいだす事 あとに顔世は継ぎ穂なく	35124-A (NE34205) 35124-B (NE34206)	
(1)	天王立・置鼓・床 (かこうありといえども)	3322(〃)	芝居囃子「忠臣蔵十二ヶ月」大序
(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)	わき能過ぎておん楽屋に 金が言わするついしょうとは ほどもあらせず塩治判官 ああさなきだに重きが上の うういやいやおてまえいつ御酒 こうおてまえなぞがそのとおり 伯州の城主塩治判官高貞を あ御出頭しばらくしばらく	5847 (J-1495) 5847 (J-1496) 5848 (J-1497) 5848 (J-1498) 5849 (J-1499) 5849 (J-1500) 5850 (J-1501) 5850 (J-1502)	
(1) (2)	若狭介はかねて待つ ほどもあらせず塩治判官	50074-A (NE34207) 50074-B (NE34208)	

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
		助高屋高助・(茶道) 沢村 千鳥 (歌) 竹本重寿太夫		158 A B
21	仮名手本忠臣蔵 足利館長廊下の場 〔陰囃子〕	(歌) 竹本重寿太夫 (陰) X 田中伝左衛門	ニボ I a 赤	10—96 B
21	仮名手本忠臣蔵 戸塚道行の場〔陰囃子〕	(歌) 清元喜久太夫 (三) 清元順三郎 (陰) X 田中伝左衛門	ニボ I b 赤	10—97 A
21	仮名手本忠臣蔵 A. 塩冶館の場 B. 門外の場	(由良之助) VII 松本幸四郎 (塩冶) XV 市村羽左衛門・ (石堂) VII 沢村宗十郎・(薬 師寺) VI 大谷友右衛門・ (顔世) XII 片岡仁左衛門・ (力弥) VII 市村家橋・(郷右 衛門) V 助高屋高助・(諸 士) 松本錦四郎ら (歌) I 竹本米太夫 (三) 竹沢仲造	ビク VII a 赤	9—159 A B 160 A B 161 A B 162 A B 163 A B
21	仮名手本忠臣蔵 塩冶館門外の場〔陰囃子〕	(歌) 竹本重寿太夫 (陰) X 田中伝左衛門	ニボ I b 赤	10—97 B
21	仮名手本忠臣蔵 山崎街道の場①	(勘平) XV 市村羽左衛門・ (千崎) VII 市村家橋 (歌) 豊竹巖太夫	コロ X a 青	9—164 A B
21	仮名手本忠臣蔵 山崎街道の場②〔陰囃子〕	(歌) 竹本重寿太夫 (陰) (三) 杵屋新右衛門 (囃) X 田中伝左衛門	ニボ I a 赤	10—98 A
21	仮名手本忠臣蔵 与市兵衛内の場	(勘平) XV 市村羽左衛門・ (おかる) XII 片岡仁左衛門・ (母) III 尾上多賀之丞・(源 六) II 河原崎権十郎・(お 才) VII 市村家橋・(不破 七) 松本幸四郎・(千崎) VII 坂東三津五郎・(弥八) 松 本錦四郎・(六) 市川松三 郎・(角兵衛) 坂東録三郎 (歌) 竹本鏡太夫	ビク VII a 赤	9—165 A B 166 A B 167 A B 168 A B 169 A

詞	章	音盤番号	備考
(3) うむさようでござったか (4) 伯州貴公などがそのとおりに		50075-A (NE34209) 50075-B (NE34210)	
(1) 調べ・床(わき能過ぎて)・序の舞・早舞		3323(〃)	芝居囃子「忠臣蔵十二ヶ月」二段目 題紙に「義太夫竹本寿太夫・唄中村兵藏」
(1) 浄瑠璃(やどっこい桜桜と)・大拍子		3460(〃)	芝居囃子「忠臣蔵十二ヶ月」三段目
(1) A. 御上使のお入り」兩人出迎う (2) 懐中より御書取りいだし (3) あっばれのお覚悟御心中 (4) 力弥御意を承り (5) 国家老大星由良之助とは (6) ゆ由良之助」はっ」近う近う (7) 由良之助にじり寄り九寸五分 (8) み台所は正体なく* (9) B. おんから見送り奉り (10) 血に染まる切っ先を		5851(J-1565) 5851(J-1566) 5852(J-1567) 5852(J-1568) 5853(J-1569) 5853(J-1570) 5854(J-1571) 5854(J-1572) 5855(J-1573) 5855(J-1574)	
(1) 床(おんから見送り)・本釣鐘・床メリ・愁三重・送り三重		3324(〃)	芝居囃子「忠臣蔵十二ヶ月」四段目 題紙に「唄 中村兵藏」
(1) たかは死しても穂は摘まず (2) あかたじけなき弥五郎殿		35127-A (NE33942) 35127-B (NE33943)	
(1) 雨の音・早笛・山おろし・床(あわやと見送る)・ごん・忍び三重・床と上下・風の音		3325(〃)	芝居囃子「忠臣蔵十二ヶ月」五段目
(1) さあお茶一つお上がりなされませ (2) えどうもおかみさんどうも (3) ええええちょちょちょいと (4) さてはゆうべ鉄砲で打ち殺したは (5) 親の死に目もつゆ知らず (6) 母はあとを見送りて (7) 母は涙のひまよりも (8) 遠慮会釈も荒おのこの (9) おのれどこへ行きおる		5856(J-1468) 5856(J-1469) 5857(J-1470) 5857(J-1471) 5858(J-1472) 5858(J-1473) 5859(J-1474) 5859(J-1475) 5860(J-1476)	

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
		(三) 鶴沢市作		B 170A B 171A B
21	仮名手本忠臣蔵 与市兵衛内の場	(勘平) XV市村羽左衛門・ (不破) XII守田勘弥・(千 崎) VII市村家橘・(母) II 尾上幸蔵 (歌) 豊竹巖太夫	コロ Xa 青	9—172A B 173A B
21	仮名手本忠臣蔵 与市兵衛内の場	(勘平) I 中村鴈治郎 (歌) <竹本>井菱太夫	ナショナル II a 多色	9—174A
21	仮名手本忠臣蔵 与市兵衛内の場〔陰囃子〕	(歌) 竹本重寿太夫 (陰) (歌) III 中村兵蔵 (囃) X 田中伝左衛門	ニポ I a 赤	10—98B
21	仮名手本忠臣蔵 一力の場	(由良之助) I 中村鴈治郎 (おかる) III 中村雀右衛門 (平右衛門) II 実川延若	ニト I a 黒	9—175A B 176A B 177A B 178A B 179A B
21	仮名手本忠臣蔵 一力の場	(由良之助) I 中村鴈治郎 (おかる) IV 中村芝雀 (歌) 竹本小松太夫	オリ IV b 多色	9—180A B 181A B
21	仮名手本忠臣蔵 一力の場	(由良之助) VII 松本幸四郎 (おかる) XII 片岡仁左衛門 (平右衛門) I 中村吉右衛 門 (歌) I 竹本米太夫 (三) 竹沢伸造	ビク VII a 赤	9—182A B 183A B 184A B 185A B 186A B 187A



詞	章	音 盤 番 号	備 考
(10) まずもってその方たくわえもなき		5860(J-1477)	
(11) さほどの事のわきまえなき		5861(J-1478)	
(12) ううんいかなればこそ勘平は		5861(J-1479)	
(13) ああ母じゃ人」おいのう		5862(J-1480)	
(14) このたび亡君の御うっぶんを		5862(J-1481)	
(1) 弥五郎刀おっ取って		35128-A (NE33938)	
(2) あえししばらくしばらく		35128-B (NE33939)	
(3) 弥五郎ずっと立ち上がり		35129-A (NE33940)	
(4) 仏果を得よや早野勘平		35129-B (NE33941)	
(1) 鋭きまなこに涙を浮かめ		A 238(〃)	
(1) 床(身の誤りに)・隣柿の木唄・竹笛 入り合方・本釣鐘・風の音		3326(〃)	芝居囃子「忠臣 蔵十二ヶ月」六 段目
(1) おりに二階へ勘平が		683-A(〃)	
(2) 思いついたる延べ鏡		683-B(〃)	
(3) えそんならここから降りるので		684-A(〃)	
(4) うそでない証拠は身請けしょう		684-B(〃)	
(5) おりにいでおう平右衛門		685-A(〃)	
(6) あああうれしやうれしや		685-B(〃)	
(7) もうしいな兄さんわたしには		686-A(〃)	
(8) はあわかったそんなら勘平さんは		686-B(〃)	
(9) 小身者の悲しさは		687-A(〃)	
(10) もし兄さん自害したその跡で		687-B(〃)	
(1) あたり見回し由良之助		A 2234(〃)	(1)(2)カケ
(2) おお由良さんか」おおたれじゃ		A 2235(2235)	
(3) 道理で船玉様が見えるわ		2236(A 2236)	
(4) 侍みょうり三日でも困うて		2237(〃)	
(1) (陰)おりに二階に勘平が		5863(J-1595)	
(2) あたり見回し由良之助		5863(J-1596)	
(3) おおそんならそこにいて最前から		5864(J-1597)	
(4) はて疑い深いやつじゃ		5864(J-1598)	
(5) そんならおまえしかってじゃ		5865(J-1599)	
(6) うんそんならそちを勘平の		5865(J-1600)	
(7) これまあまあま待って		5866(J-1601)	
(8) 髪飾りのけわいして		5866(J-1602)	
(9) ささささあささ水だ水だ		5867(J-1603)	
(10) おかるはしじゅうせき上げ		5867(J-1604)	
(11) 自害して死んだその跡で		5868(J-1605)	

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
				B
21	仮名手本忠臣蔵 一力の場	(由良之助)Ⅶ松本幸四郎 (おかる)Ⅵ尾上梅幸・(平 右衛門)Ⅹ市村羽左衛門	ニポ I c 赤	9—188 A B 189 A B 190 A B 191 A B
21	仮名手本忠臣蔵 一力の場	(平右衛門)Ⅱ実川延若・ (おかる)Ⅳ中村福助<高 砂屋> (歌) 竹本岸太夫 (三) 豊沢団信 (陰) (歌)芳村喜三郎 (三)中村新三郎 (囃)小川源次	タイ II b 茶	9—192 A B 193 A B
21	仮名手本忠臣蔵 一力の場	(平右衛門)Ⅰ実川延二郎 (おかる)Ⅳ中村芝雀	ニポ I a 赤	9—194 A
21	仮名手本忠臣蔵 一力の場	<(平右衛門)Ⅰ実川延二 郎・(おかる)Ⅳ中村芝 雀>	ヨシノ I a 緑	9—195 A
21	仮名手本忠臣蔵 一力の場 [陰囃子]	(歌) 竹本重寿太夫 (陰) (歌)Ⅲ中村兵藏 (囃)Ⅹ田中伝左衛 門	ニポ I b 赤	10—99 A
21	仮名手本忠臣蔵 東海道道行の場[陰囃子]	(歌) 常磐津和歌太夫 (三) 常磐津和歌吉 (陰) Ⅹ田中伝左衛門	ニポ I a 赤	10—99 B
21	仮名手本忠臣蔵 由良之助内の場[陰囃子]	(歌) 竹本重寿太夫 (三) 野沢市造 (陰) Ⅹ田中伝左衛門	ニポ I a 赤	10—100 A
21	仮名手本忠臣蔵 桶屋の場 [陰囃子]	(歌) Ⅲ中村兵藏 (三) 杵屋新右衛門 (囃) Ⅹ田中伝左衛門	ニポ I a 赤	10—100 B
21	仮名手本忠臣蔵 師直館の場 [陰囃子]	(三) Ⅵ岡安喜三郎・杵 屋新三郎 (囃) Ⅹ田中伝左衛門・ Ⅴ田中佐十郎・Ⅱ 柏扇吉・Ⅷ田中佐 太郎・(笛)望月太	ボリ I b 黒	10—95 B

詞	章	音盤番号	備考
(12)	とりわけこよいは殿のたい夜	5868(J-1606)	
(1)	おりにいでおう平右衛門	15669-A(〃)	
(2)	おおまあ兄さんまあおまえも	15669-B(9274)	
(3)	もし兄さんあるぞえあるぞえ	15670-A(9275)	
(4)	ああもし兄さんまあ待って	15670-B(9276)	
(5)	髪の飾りにけわいして	15671-A(9277)	
(6)	これ妹気を確かに持て	15671-B(9278)	
(7)	さこの道理を聞き分けて	15672-A(?)	
(8)	自害したその跡でお役に	15672-B(9280)	
(1)	(陰)おりにいでおう平右衛門	5113-A(10556)	カビ
(2)	もし兄さん久しぶりて	5113-B(10557)	
(3)	兄さん来たがなんじゃいな	5114-A(10558)	
(4)	見られた状が一でえじ	5114-B(10559)	
(1)	もしもうしまあ兄さんいな	187(〃)	=9-195A
(1)	もしもうしまあ兄さんいな	ナシ	=9-194A キズ
(1)	唄入り踊り地(花に遊ばば)・独吟 (父よ母よ)・床(あたり見回し)	3327(〃)	芝居囃子「忠臣 蔵十二月」七 段目
(1)	山おろし・駅路・浄瑠璃(鐘がな鳴 るかよ)	3463(〃)	芝居囃子「忠臣 蔵十二月」八 段目
(1)	尺八・床(つるのすごもり)・風の音	3328(〃)	芝居囃子「忠臣 蔵十二月」九 段目
(1)	忘れ貝唄・二人腕久合方・斎藤合方・ 葉三段目合方	3329(〃)	芝居囃子「忠臣 蔵十二月」十 段目
(1)	本調子早め合方・四つ太鼓・合方 (チチレチリチツ)・八千代くずし合 方・修羅囃子合方・大小・大小入り 合方(忠弥・なぎなた)	533-B(1821BF)	芝居囃子十二月 月(十二月)義士 討入

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
		喜一郎		
22	鐘もろとも恨鮫鞘 A. 丹波屋の場 B. 坂町真道の場 C. 千日前墓所の場	(八郎兵衛)Ⅱ実川延若・ (おつま)Ⅱ市川荒太郎・ (才兵衛)Ⅲ阪東寿三郎・ (弥兵衛)Ⅲ浅尾大吉	ニト I a 黒	9—196 A B 197 A B
23	神明恵和合取組 喜三郎内の場	(辰五郎)Ⅵ尾上菊五郎・ (喜三郎)Ⅵ大谷友右衛門・ (おいの)Ⅲ尾上菊三郎	ニト I a 黒	9—198 A B 199 A B 200 A B
23	神明恵和合取組 辰五郎内の場	(辰五郎)Ⅴ市村羽左衛門・ (お仲)Ⅵ尾上梅幸・(亀右 衛門)Ⅷ守田勘弥 (陰) X 田中伝左衛門社 中	ポリ I b 赤	9—201 A B 202 A B
24	勸 進 帳	(弁慶)Ⅷ市川高麗蔵	ベカグランド I a 白	9—203
24	勸 進 帳	(弁慶)Ⅴ市村羽左衛門・ (富樫)Ⅵ尾上梅幸	ポリ II a 白	9—204 A B
24	勸 進 帳	(弁慶)中村露香・(富樫) 栗島狭衣	オリ III a 灰	9—205 A B
24	勸 進 帳	(弁慶)Ⅶ松本幸四郎・(富 樫)Ⅴ市村羽左衛門・(義 経)Ⅷ片岡仁左衛門・(海 尊)Ⅱ市川荒次郎・(亀井) Ⅶ市村家橘・(片岡)Ⅷ市 川海老蔵・(駿河)Ⅴ市川 染五郎・(軍内)松本錦四 郎・(兵内)坂東録三郎・ (源内)市川荒司 (歌) V 富士田新蔵・Ⅶ 富士田千蔵・富士 田音松・富士田徳 松 (三) I 柏伊三郎・松島 寿三郎・杵屋勝志 郎・富士田勇吉 (囃) (笛)Ⅲ堅田喜三郎・ (小)Ⅷ望月太左衛	ビク VII a 赤	9—206 A B 207 A B 208 A B 209 A B 210 A B 211 A B 212 A B 213 A

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(1) A. ああ暑いこっちゃ暑いこっちゃ		547-A(〃)	
(2) かわいいお方ができたによって		547-B(〃)	
(3) B. おお八郎兵衛ではないか		548-A(〃)	
(4) C. (陰)書き残す一書の事		548-B(〃)	
(1) ちょいとおせんさんよくまあ		564-A(〃)	
(2) (陰)おいごめんなせえ」だれだい		564-B(〃)	
(3) なに塔の足場かけに行くのか		565-A(〃)	
(4) 忘れもしねえこの正月		565-B(〃)	
(5) 親切づくでそう言って		566-A(〃)	
(6) いやこいつあわちが悪かった		566-B(〃)	
(1) おおい所へ来ておくれた		5025-A(3669B F)	作 竹柴其水
(2) かしらあたしゃあおまえに改めて		5025-B(3670B F)	
(3) うろうお仲待て」待てとはなんぞ		5026-A(3671B F)	
(4) これまで人に負けることの		5026-B(3672B F)	
(1) それつらつら思んみれば		2507(〃)	
(1) 勸進帳聴ももの上は		5062 (5062A, 3673B F)	題字はペン書き
(2) これぞかかしの弓矢に似たれど		ナン (5062B, 3674B F)	
(*) ……			
(3) 近ごろ殊勝のおん覚悟		B 900(〃)	
(4) ここに中ごろのみかどおわします		B 901(〃)	
(1) かようにそろろう者は加賀の国の		5834(J-1295)	
(2) 旅の衣はずずかけの		5834(J-1296)	
(3) これやこの行くも帰るも		5835(J-1297)	
(4) さんぞうろう帯せしたちは		5835(J-1298)	
(5) いぎ通らんと旅衣		5836(J-1299)	
(6) いいやきのうも山伏三人まで		5836(J-1300)	
(7) 元より勸進帳のあらばこそ		5837(J-1301)	
(8) 天も響けと読み上げたり		5837(J-1302)	
(9) 仏門にありながら帯せしたちは		5838(J-1303)	
(10) 感心してぞ見えにける		5838(J-1304)	
(11) 判官殿に似たりと申す		5839(J-1305)	
(12) 大だんなの仰せなくんば		5839(J-1306)	
(13) それ世は末世に及ぶといえども		5840(J-1307)	
(14) よろいに添いしそでまくら		5840(J-1308)	
(15) さてもそれがしあまりに卒じを		5841(J-1309)	

題名番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
		門・六郷新右衛門・ (大) 柏扇十郎		B 214 A B
24	勸 進 帳	(弁慶)Ⅶ松本幸四郎・(富 樫)Ⅵ尾上梅幸 (歌) <Ⅳ芳村孝次郎>	トキ Ⅱ a	9—215 A B 216 A B
24	勸 進 帳	(弁慶)Ⅶ松本幸四郎・(富 樫)Ⅰ中村鴈治郎	ニポ 赤 Ⅰ b	9—217 A B
25	勸善懲惡観機関 A. 長庵内の場 B. 赤羽根橋の場 C. 平河天神裏門の場	(長庵)Ⅱ市川猿之助・(道 十郎)Ⅷ市川八百蔵・(重 兵衛)Ⅱ市川小太夫・(忠 蔵)Ⅲ市川段四郎	コロ 黒 X a	9—218 A B 219 A B
26	鬼一法眼三略巻 鬼一館の場 [陰囃子]	(三) Ⅵ岡安喜三郎・杵 屋新三郎 (囃) X 田中伝左衛門・ Ⅴ田中佐十郎・Ⅱ 柏扇吉・Ⅷ田中佐 太郎・(笛)望月太 喜一郎	ポリ 黒 Ⅰ b	10—94 A
27	木曾街道膝栗毛 亀屋の場	(弥次郎兵衛)Ⅱ市川猿之 助・(北八)Ⅵ大谷友右衛 門・(お梅)Ⅶ松本錦吾	リガ 黒 Ⅰ a	9—220 A B
28	吉様参由縁音信 釜屋の場	(吉三)ⅩⅤ市村羽左衛門・ (おかん)Ⅵ尾上梅幸・(弁 秀)ⅩⅢ守田勘弥 (陰) X 田中伝左衛門社 中	ポリ 赤 Ⅰ a	9—221 A B
29	俠客春雨傘 吉原仲の町の場	(暁雨)Ⅶ沢村宗十郎・(薄 雲)Ⅰ沢村宗之助 (歌) Ⅵ芳村伊十郎 (陰) X 田中伝左衛門社 中	ヒコ 赤 Ⅱ a	9—222 A B
29	俠客春雨傘 吉原仲の町の場	(暁雨)Ⅰ中村吉右衛門・ (葛城)Ⅲ中村時蔵・(薄 雲)Ⅳ中村もしほ・(鉄心 斎)Ⅳ市川九蔵・(新兵衛) 中村吉之丞 (陰) Ⅲ杵屋栄蔵社中	ビクトロオラ Ⅰ a 赤	9—223 A B 224 A B
30	桐 一 葉 大阪城淀君部屋の場	(淀君)Ⅵ尾上梅幸・(正 栄尼)Ⅳ尾上松助	ニポ 紫 Ⅰ b	9—225 A B

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(16)	人目の関のやるせなや	5841(J-1310)	
(17)	(合)元より弁慶は三塔の	5842(J-1311)	
(18)	鳴るはん滝の水日は照るとも	5842(J-1312)	
(1)	それ山伏といっぱ	56(〃)	カビ
(2)	大恩教主の秋の月は	57(〃)	
(3)	いかにそろろう勸進帳聴もんの	58(〃)	
(4)	仏門にありながら帯せしたちは	59(〃)	
(1)	いかに申しそろろう勸進ちよ聴もん	15084-A(9161)	
(2)	してまた修験に伝わりしは	15084-B(9162)	
(1)	A. いまだ残暑も去りかねて	26083-A(NE33718)	原作河竹黙阿弥
(2)	吉原から麴町までは	26083-B(NE33719)	
(3)	おまえのお陰で娘を吉原に	26084-A(NE33720)	
(4)	B. やれやれこう大降りになって	26084-B(NE33721)	
(1)	修羅囃子・調べ入り合方(供奴)・ 大小入り合方(供奴)・序の舞・恋慕 合方・早舞	473-A(1818BF)	芝居囃子十二ヶ月(九月)菊畑
(1)	おいおいおいいい加減に	68057(NE33313)	原作十返舎一久
(2)	それでのおれが一番手前の戸へ	68057(NE33314)	作 木村錦花
(1)	ああととうとうこらまあ降り出して	5041-A(3667BF)	カビ
(2)	天人香の看板に	5041-B(3668BF)	作 河竹黙阿弥
(1)	(合)春雨になかばつぼめし	5241(〃)	
(2)	主の情けの恵みの雨は	5242(〃)	
(1)	おおおだんなもおいらんも*	13053-A(A1067)	作福地桜痴居士
(2)	うわさに聞いた暁雨というのは	13053-B(A1068)	
(3)	ええ投げ打ちいたす無礼者めが	13054-A(A1069)	
(4)	その起こりも知れてある	13054-B(B1070)	
(1)	夢は五ぞうの疲れと言えど*	8912(4565)	
(2)	なんにもせよともし火これへ	8912(4566)	

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
30	桐 一 葉 大阪城黒書院の場	(重成)Ⅷ市川高麗藏	コロ Ⅲb 黒	9—226 A
30	桐 一 葉 大阪城黒書院の場	(重成)ⅩV市村羽左衛門・ (淀君)Ⅵ尾上梅幸・(道 軒)Ⅱ尾上幸藏・(内藏 介)Ⅱ坂東村右衛門	ニポ Ⅰb 紫	9—227 A B
31	極付幡隨長兵衛 水野内湯殿の場	(長兵衛)Ⅱ市川猿之助・ (水野)Ⅱ市川小大夫・(近 藤)Ⅱ中村翫右衛門・(保 昌)Ⅰ市川段猿	リガ Ⅱa 黒	9—228 A B
31	極付幡隨長兵衛 水野内湯殿の場	(長兵衛)Ⅶ松本幸四郎・ (水野)Ⅹ守田勘弥・(保 昌)松本錦四郎	コロ Xa 青	9—229 A B
32	天衣紛上野初花 松江館玄関の場	(宗俊)ⅩV市村羽左衛門・ (高木)Ⅹ守田勘弥・(北 村)Ⅱ市川荒次郎 (陰) X 田中伝左衛門社 中	ポリ Ⅰa 赤	9—230 A B 231 A B
32	天衣紛上野初花 松江館玄関の場	(宗俊)Ⅰ中村吉右衛門・ (高木)Ⅳ市川紅若・(北 村)中村吉之丞・(数馬) 中村辰之丞	ビク Vb 赤	9—232 A B 233 A B
32	天衣紛上野初花 松江館玄関の場	(宗俊)Ⅰ中村吉右衛門・ (高木)Ⅳ市川紅若・(北 村)中村吉之丞	ニポ Ⅰc 赤	9—234 A B 235 A B
32	天衣紛上野初花 松江館玄関の場	(宗俊)Ⅶ松本幸四郎・(高 木)Ⅹ守田勘弥・(北村) Ⅱ尾上幸藏 (陰) X 田中伝左衛門社 中	コロ Xa 黒	9—236 A B 237 A B
32	天衣紛上野初花 入谷村の場	(直次郎)ⅩV市村羽左衛門 (丈賀)Ⅳ尾上松助・(丑 松)Ⅳ片岡市藏・(仁八) Ⅱ坂東村右衛門	ニポ Ⅰb 紫	9—238 A B 239 A B
32	天衣紛上野初花 入谷村の場	(直次郎)ⅩV市村羽左衛門 (丑松)Ⅶ坂東三津五郎	コロ Xb 青	9—240 A B
32	天衣紛上野初花 大口屋寮の場	(直次郎)ⅩV市村羽左衛門 (三千歳)Ⅵ尾上梅幸・(市 之丞)Ⅶ松本幸四郎・(千 代春)Ⅶ尾上栄三郎・(喜	ニポ Ⅰc 赤	9—241 A B 242 A B



詞章	音盤番号	備考
(1) いいや恐るるは関東の	47847(47847-1-4)	
(1) 慮外なり長門守大切なる (2) 恐るるは関東の勢いならず	8913(4567) 8913(4568)	
(1) 保昌殿」よもや今日参るまいと (2) いかにも命は差し上げやしょう	65385-A (NE34426) 65385-B (NE34427)	作 河竹黙阿弥
(1) さあこうおいでなされませ (2) いかにも命や差し上げやしょう	35309-A (NE36056) 35309-B (NE36057)	
(1) 御使僧のお立ち」もはやこれまで (2) やいかほどしらを切るるとも (3) 引かれ者の小歌とやら (4) ああまたしてもまたしても	5066-A (3683 B F I) 5066-B (3684 B F I) 5067-A (3685 B F I) 5067-B (3686 B F I)	
(1) お立ち」もはやこれまで参って (2) 大膽は知っていたか(笑) (3) 引かれ者の小歌とやら (4) すりゃかたりだと申せしは	13087-A (1888) 13087-B (1889) 13088-A (1890) 13088-B (1891)	作 河竹黙阿弥
(1) お立ち」もはやこれまで参って (2) 大膽は知っていたか(笑) (3) 引かれ者の小歌とやら (4) 東叡山の御使僧に	15808-A (〃) 15808-B (12584) 15809-A (12585) 15809-B (〃)	
(1) お使僧のお立ち」おおこれは (2) あじゃ大膽はそれを知って (3) 引かれ者の小歌とやら (4) やあまたしてもまたしても	25615-A (NE31982) 25615-B (NE31983) 25616-A (NE31984) 25616-B (NE31985)	作 河竹黙阿弥
(1) 今そばを食いにへえって来たのは (2) おい丈賀さん冗談はさておいて (3) こんなにきびしくなったのも (4) ううとまた降って来やがった	8910(4561) 8910(4562) 8911(4563) 8911(4564)	(2)キズ
(1) 思いがけなく丈賀に出会い (2) うんそうしててめえどっちの方へ	35421-A (M37328) 35421-B (M37329)	
(1) 千代春案内しやれ」こうおいで (2) さぞ寒うござんしたに (3) 悪事をいちいち言い立てられ (4) 真影流で五本の指へ	15236-A (9335) 15236-B (9336A) 15237-A (9337) 15237-B (9362)	

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
		兵衛)Ⅱ坂東村右衛門 (歌) 竹本重寿太夫		243A B
33	鞍馬山だんまり 〔陰囃子〕	Ⅲ杵屋栄蔵社中	ビク Vb 黒	10—87A B
34	黒手組曲輪達引 A. 不忍池の場 B. 吉原仲の町の場	(権九郎・助六)XV市村羽 左衛門	ニボ I b 赤	9—244A B
35	慶安太平記 江戸城堀の場	(丸橋)Ⅱ市川左団次・(松 平)Ⅵ市川寿美蔵・(勘 助)Ⅱ市川荒次郎	コロ Xb 青	9—245A B
35	慶安太平記 江戸城堀の場	(丸橋)Ⅱ市川左団次・(松 平)Ⅶ市川中車・(勘助) Ⅱ市川荒次郎	ニボ I c 赤	9—246A B
36	傾城阿波の鳴門 どんどろ大師の場	(お弓)Ⅲ坂東秀調・(お 鶴)Ⅶ坂東又太郎	テイ IVb 緑	9—247A B
37	恋女房染分手綱 由留木館の場	中村歌扇一座	スタンダアド I b 緑	9—248A B 249A B
38	恋飛脚大和往来 A. 井筒屋奥座敷の場 B. 表座敷の場	(忠兵衛)Ⅱ実川延若	ニト I a 黒	9—250A B 251A B 252A B
38	恋飛脚大和往来 A. 井筒屋表座敷の場 B. 奥座敷の場 C. 表座敷の場	(忠兵衛)Ⅱ実川延若・(梅 川)Ⅲ中村雀右衛門・(八 右衛門)Ⅱ市川右団次・ (おえん)Ⅱ市川荒太郎	ニボ I b 赤	9—253A B 254A B 255A B
38	恋飛脚大和往来 A. 井筒屋表座敷の場 B. 奥座敷の場 C. 表座敷の場	(忠兵衛)Ⅰ中村鷹治郎・ (梅川)Ⅳ中村福助〈高砂 屋〉・(八右衛門)市川箱 登羅・(おえん)中村魁車・ (治右衛門)Ⅳ市川市蔵	コロ Xb 青	9—256A B 257A B 258A

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(5) あわちぎを先へ切って (6) やまだまださような事を申すか		15238-A (9363) 15238-B (9364)	
(1) 山おろし・早禪合方・大薩摩 (それ 月も)・せり合方 (2) こだま入り合方・唄浄瑠璃 (追っか け行かんと)・修羅囃子合方・夜神 楽合方・かけり・太太鼓入り合方・ しゃざり		50264-A (〃) 50264-B (〃)	芝居囃子 (冬の 巻)
(1) A. あああひどい目に会わしおった (2) B. おれの名が聞きたくば		15131-A (〃) 15131-B (〃)	
(1) ええいいい心持ちに* (2) なななにおこってやがる		35118-A (NE34041) 35118-B (NE34042)	
(1) ええいきょうはたんとも* (2) ななんでんでんでおれを		15319-A (11121-1) 15319-B (11122-2)	
(1) さとせど娘は聞き入れず* (2) 父母の恵みも深き		15066-A (〃) 15066-B (〃)	
(1) (陰)お乳の人は大高に (2) お乳ははっと気も乱れ (3) 母は衣装を着飾って (4) 山川でけがしやるな*		S 146 (2356, 5774 A) S 146 (2357, 5774 B) S 147 (2358, 5775 A) S 147 (2359, 5775 B)	カビ
(1) A. (陰)もうし忠さんおまえ* (2) B. 八右衛門したり顔 (3) 親方さんおやかましゅう申し (4) 忠兵衛わしもこの中へ入れて (5) 八右衛門気を飲まれ* (6) 川辛抱してたももうわが身には		159-A (〃) 160-B (159 B) 160-A (〃) 160-B (〃) 161-A (〃) 161-B (〃)	
(1) A. いやおえんさん相も変わらぬ (2) B. (陰)もうし忠さんきょうで* (3) C. 八右衛門したり顔 (4) おい忠兵衛はんわてが今 (5) 五十両百両ええ今出して見せて* (6) さあ川今の内に行こさあ行こ		5275 (〃) 5276 (〃) 5277 (〃) 5278 (〃) 5279 (〃) 5280 (〃)	
(1) A. (陰)ほほうあの歌は鳥辺山 (2) B. お川さんあぶないぞえ (3) もし忠さん「お」なんじゃいな (4) C. 八右衛門したり顔 (5) 忠兵衛おまえここにいたのか		35222-A (NE41139) 35222-B (NE41140) 35223-A (NE41141) 35223-B (NE41142) 35224-A (NE41143)	

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
				B 259A B
39	勾当内侍	(勾当内侍) V 中村歌右衛門・(兵庫助) XV 市村羽左衛門・(与右衛門) VI 大谷友右衛門・(桔梗) III 中村時藏・(小菊) VII 市村家橘 (陰) III 杵屋栄藏社中	ポリ 赤 I a	9—260A B 261A B 262A B
40	小袖會我薊色縫 稲瀬川百本杭の場	(清心) XV 市村羽左衛門・(求女) IV 市村竹松	ニポ 紫 I b	9—263A B 264A B 265A B 266A B
40	小袖會我薊色縫 白蓮内の場	(清吉) XV 市村羽左衛門・(おさよ) VI 尾上梅幸・(白蓮) VII 松本幸四郎・(お藤) II 中村芝鶴・(左助) II 尾上幸藏	コロ 青 X a	9—267A B 268A B
41	寿會我対面	(工藤・時宗) I 実川延二郎・(祐成・八幡) IV 中村芝雀・(近江・少将) 中村歌十郎	ニポ 赤 I a	9—194B
41	寿會我対面	<(工藤・時宗) I 実川延二郎・(祐成・八幡) IV 中村芝雀・(近江・少将) 中村歌十郎>	ヨシノ 緑 I a	9—195B
41	寿會我対面 〔陰囃子〕	(三) VI 岡安喜三郎・杵屋新三郎 (囃) X 田中伝左衛門・V 田中佐十郎・II 柏扇吉・VII 田中佐太郎・(笛) 望月太喜一郎	ポリ 黒 I b	10—90A
42	西郷と豚姫	(お玉) II 実川延若・(西郷) III 阪東寿三郎・(大久保) II 市川荒太郎	ニト 黒 I a	9—269A B 270A B
43	三千両黄金蔵入	(長七郎) IV 片岡我童	ニト I a	9—271A

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(6)	五十兩百兩百五十兩二百兩	35224-B (NE41144)	
(7)	ああうれしやうれしや	35225-A (NE41145)	
(8)	へおめでとう」ええおめでとう	35225-B (NE41146)	
(1)	浜の盆踊りが夜ごと夜ごとに	5103-A (6811B F)	作 岡本綺堂
(2)	もしお腰元衆内侍様が*	5103-B (6812B F)	
(3)	ここは矢走の渡しであらうな	5104-A (6813B F)	
(4)	これ兵庫助あとを早う	5104-B (6814B F)	
(5)	見覚えのある着替えのひおどし	5105-A (6815B F)	
(6)	夫の最期を聞くからは	5105-B (6816B F)	
(1)	行く空も薄墨流す	8951 (4643)	
(2)	(陰)せめてあの世は迷わぬよう	8951 (4644)	
(3)	今打ちしは後夜の鐘	8952 (4645)	
(4)	またもや雨となりふりも	8952 (4646)	
(5)	絞る気転のさそくの気付け	8953 (4647)	
(6)	そんなら若衆殿や気を付けて	8953 (4648)	
(7)	言えどいらえもなき人と	8954 (4649)	
(8)	しかし待てよきょう十六夜が	8954 (4650)	
(1)	ああいや来るには及ばない	35082-A (NE32703)	
(2)	どうしてどうしてだんなにゃあ	35082-B (NE32704)	
(3)	ほんにこんな頭にされた	35083-A (NE32705)	
(4)	へいどうもじゃあ済みません	35083-B (NE32706)	
(1)	思いだせばおおそれよ	188(〃)	=9-195 B
(1)	思いだせばおおそれよ	ナシ	=9-194 B
(1)	管絃・老調・対面三重・岩戸神楽・肥前節・三保神楽	142-A (1810B F)	芝居囃子十二ヶ月(正月)寿曾我対面
(1)	まああれほど御苦勞のある中で	514-A (〃)	
(2)	忘れもせぬあたしの十三の冬	514-B (〃)	
(3)	今まで賢う見えたお客さんが	515-A (〃)	
(4)	あんたはんそんな事お言やすけど	515-B (〃)	
(1)	(陰)まことや人間は有為転変	424-A (〃)	片岡十二種の内

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
			黒	B 272A B
44	三人吉三廓初買 両国橋北河岸の場	(お嬢) XV市村羽左衛門・ (和尚) VII松本幸四郎・(お 坊) VII沢村宗十郎・(おと せ) VII尾上栄三郎 (歌) III中村兵藏 (三) 杵屋六一郎	ニポ I b・I c 赤	9—273A B 274A B 275A B
44	三人吉三廓初買 両国橋北河岸の場	(お嬢) XV市村羽左衛門・ (和尚) VII松本幸四郎・(お 坊) XII守田勘弥	コロ X a 青	9—276A B 277A B
44	三人吉三廓初買 両国橋北河岸の場	中村歌扇一座	スタンダアド I b 緑	9—278A B
44	三人吉三廓初買 両国橋北河岸の場 〔陰囃子〕	III 杵屋栄藏社中	ビク V b 黒	10—84A
44	三人吉三廓初買 両国橋北河岸の場 〔陰囃子〕	(歌) 芳村伊久四郎・松 島庄三九 (三) 杵屋栄八郎・杵屋 栄美三郎 (囃) 六郷吉兵衛社中	ニト IV a 赤	10—112B
45	楼門五三桐 南禅寺の場	(五右衛門) II 実川延若・ (久吉) III 阪東寿三郎	タイ V 白	9—279A B 280A B
45	楼門五三桐 南禅寺の場	(五右衛門) V 中村歌右衛 門・(秀吉) XV市村羽左衛 門 (歌) VI 芳村伊十郎 (三) III 杵屋栄藏 (陰) III 杵屋栄藏社中	ポリ I a 黒	9—281A B
45	楼門五三桐 南禅寺の場	(五右衛門) V 中村歌右衛 門・(秀吉) XV市村羽左衛 門	D. C. C. II a 多色	9—282

詞	章	音盤番号	備考
(2)	どうどうどうどうえい早うせんかい	424-B (〃)	
(3)	やああもしお殿様あなたこれに	425-A (〃)	
(4)	やあしからは改め物申さん	425-B (〃)	
(1)	ああもうしお女中様	15077-A (9331)	
(2)	もしねえさんちょっと待って	15077-B (9356)	
(3)	うむそうかそりゃあ大きな	15078-A (9357)	
(4)	こりゃあおれが悪かった	15078-B (9358)	
(5)	ああいやさあふたりとも待って	15079-A (9359)	
(6)	うむそうしてふたりが命をかけ	15079-B (9360)	
(1)	月もおぼろに白魚の	35270-A (NE36060)	
(2)	ほしい金ならこっちより	35270-B (NE36061)	
(3)	いいやのかれぬふたりの衆	35271-A (NE36062)	
(4)	そうしてふたりが命をかけ	35271-B (NE36063)	
(1)	月もおぼろに白魚の	S 148 (2380, 5617A)	カビ
(2)	貸さぬ金なら借りもしめえ	S 148 (2381, 5617B)	
(1)	ゆうべ夢見た唄入り・通り神楽・浪の音・石投げ合方・どん・時の鐘・薩摩さ合方・菖蒲浴衣合方・まごさ・舟は出て行く唄入り・しゃぎり	50538-A (〃)	芝居囃子 (春の巻上)
(1)	ゆうべ夢見た唄入り・通り神楽・浪の音・石投げ合方・時の鐘・薩摩さ合方・菖蒲浴衣合方・まごさ・舟は出て行く唄入り・しゃぎり	4147-B (〃)	
(1)	それ緑林白浪の	ナン	題字はペン書き
(2)	五右衛門よもをうちながめ	ナン	遠心式
(3)	この白絹に血汐をもって	ナン	大阪歌舞伎座公演の録音
(4)	(陰)石川や浜のまごさは	ナン	
(1)	それ緑林白浪の	2439-A (4460 B F)	
(2)	はて心得ぬあなたかが	2439-B (4462 B F)	≒9-282
(1)	はて心得ぬあなたかが	04462(ナン)	≒9-281 B 題字は鉛筆書き 遠心式 ヒビ

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
45	楼門五三桐 南禅寺の場	(五右衛門)Ⅶ松本幸四郎 (久吉)Ⅵ尾上梅幸	コロ Ⅹb 青	9—283A B
45	楼門五三桐 南禅寺の場	(五右衛門)Ⅶ松本幸四郎 (久吉)Ⅶ沢村宗十郎 (歌) Ⅵ芳村伊十郎 (三) Ⅲ杵屋栄蔵	ニポ Ⅰc 赤	9—284A B
45	楼門五三桐 南禅寺の場	(五右衛門)Ⅶ松本幸四郎 (久吉)Ⅷ守田勘弥 (歌) Ⅳ杵屋六左衛門 (陰) X 田中伝左衛門社 中	ニポ Ⅲa 赤	9—285A B
45	楼門五三桐 南禅寺の場 〔陰囃子〕	(歌) 中村六広 (三) Ⅵ岡安喜三郎・杵 屋新三郎 (囃) X 田中伝左衛門・ Ⅴ田中佐十郎・Ⅱ 柏扇吉・Ⅷ田中佐 太郎・(笛)望月太 喜一郎	ポリ Ⅰb 黒	10—91A
46	鑊 引	(景清)Ⅱ市川猿之助・(美 保谷)Ⅵ市川寿美蔵 (歌) Ⅵ芳村伊十郎 (三) Ⅲ杵屋栄蔵 (陰) <Ⅹ望月太左衛門 社中> (口上)Ⅷ市川八百蔵	ニポ Ⅰa 橙	17-141A B 142A B 143A B
46	鑊 引	(景清)Ⅶ松本幸四郎・(美 保谷)Ⅴ市村羽左衛門	ニポ Ⅰc 赤	9—286A B
47	実録先代萩 亀千代館の場	(浅岡)Ⅴ中村歌右衛門・ (小十郎)Ⅶ市川中車 (陰) Ⅲ杵屋栄蔵社中	ポリ Ⅰa 赤	9—287A B 288A B 289A B
48	忍夜恋曲者	(滝夜叉)Ⅵ尾上梅幸・(光 国)Ⅶ松本幸四郎 (歌) Ⅲ常磐津松尾太夫 (三) Ⅲ常磐津文字兵衛	ニポ Ⅰc 赤	9—290A B
49	暫	(景政)Ⅶ松本幸四郎・(武 衛)Ⅷ守田勘弥 (歌) Ⅵ芳村伊十郎 (三) Ⅲ杵屋栄蔵	ニポ Ⅰc 赤	9—291A B



詞	章	音 盤 番 号	備 考
(1) それ緑林白浪の (2) はて心得ぬわれを恐れず		S-365(M36817) S-365(M36818)	予約限定盤
(1) それ緑林白浪の (2) は絶景かなや絶景かな		9129(〃) 9130(〃)	
(1) それ緑林白浪の (2) あ絶景かなや絶景かな		17317-A (NE31986) 17317-B (NE31987)	
(1) 大薩摩(それ緑林)・三絃入り楽・磬 入り・かけり・寺鐘		224-A (1812 B F)	芝居囃子十二ヶ月(三月)楼門五三桐
(1) (序) (2) (陰)それ計策をいばくのうちに (3) はて心得ぬ春もようやく (4) さればさ今鎌倉で頼朝が (5) こなたは源氏わしは平家 (6) いいやぼろんじなればともかくも		1000(9000) 1000(9001) 1001(9002) 1001(9003) 1002(9004) 1002(9005)	30cm ソリ 題紙には(1)を (序), (2) ~ (6)を(1) ~ (5)とする
(1) それ計策をいばくのうちに (2) ぼろんじどんには今の羽音に*		15245-A(〃) 15245-B(〃)	
(1) 小十郎ひざを進め (2) せっかくのおぼしめし (3) 君へ仕えてこの年月 (4) これそちの名はなんと申すぞ (5) これ浅岡千代松は予が (6) いかにも嘆きに果てしなきゆえ		7005-A (4454 B F) 7005-B (4455 B F) 7006-A (4456 B F) 7006-B (4457 B F) 7007-A (4458 B F) 7007-B (4459 B F)	
(1) もうしもうし光国様 (2) くるわの者に連れられて*		15213-A (10240) 15213-B (10241)	
(1) しばらく「何しばらくとは (2) 今しばらくと声を掛け		15420-A (10246) 15420-B (10247)	

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
49	暫 〔陰囃子〕	(歌) 中村六広 (三) VI岡安喜三郎・杵屋新三郎 (囃) X田中伝左衛門・V田中佐十郎・II柏扇吉・VIII田中佐太郎・(笛)望月太喜一郎	ポリ I b 黒	10—95 A
50	島衛月白浪 招魂社の場	(島藏) II市川猿之助・(千太) VII市川八百藏・(輝) II市川小太夫	コロ X a 黒	9—292 A B
50	島衛月白浪 招魂社の場	(島藏) XV市川羽左衛門・(千太) XII守田勘弥 (陰) X田中伝左衛門社中	ポリ I a 赤	9—293 A B 294 A B
50	島衛月白浪 招魂社の場 〔陰囃子〕	III杵屋栄藏社中	ビク V b 黒	10—86 A
51	十二時會稽會我 祐経飯屋の場	(時致) II市川猿之助・(祐成) VIII市川八百藏・(団三郎) III市川段四郎・(祐経) II市川荒次郎	コロ X a 黒	9—295 A B
52	修禅寺物語 A. 夜叉王内の場① B. 夜叉王内の場②	(夜叉王) II市川左団次・(頼家) VI市川寿美藏(桂) II市川松蔦・(楓)市川松蔦・(春彦) III市川蔭升・(僧) II市川左升・(下田)市川左近	コロ X a 青	9—296 A B
53	新皿屋舗月雨暈 A. 磯部内玄関の場 B. 奥庭の場	(宗五郎) VI尾上菊五郎・(お浜) III尾上多賀之丞・(磯部) IV市川男女藏・(浦戸) VI坂東彦三郎・(岩上)尾上蟹十郎 (陰) I 柏伊三郎社中	ビクトロオラ II a 赤	9—297 A B 298 A B
54	心中天網島 河内屋の場	(治兵衛) I 実川延二郎	ニポ I a 赤	9—299 A
54	心中天網島 河内屋の場	(治兵衛) I 中村鴈治郎・(小春) III中村雀右衛門・(孫右衛門) II尾上卯三郎 (歌) <竹本一登太夫> (三) <鶴沢友太郎>	コロ X b 赤	9—300 A B 301 A B 302 A B

詞章	音盤番号	備考
(1) 早神楽・時の太鼓・大薩摩(感宮万里の)・片しやぎり	533-A (1820 B F)	芝居囃子十二ヶ月(十一月)暫
(1) それじゃあこれほど訳を言っても (2) 売りことばに買いことばで	26228-A (NE34428) 26228-B (NE34429)	作 河竹黙阿弥
(1) おお千太おれに手を貸して (2) それじゃあおめえはそれゆえに (3) そりゃあてめえあんまりわからねえ (4) 売りことばに買いことばで	5073-A (3679 B F) 5073-B (3680 B F) 5074-A (3681 B F) 5074-B (3682 B F)	作 河竹黙阿弥
(1) あほだら・新内よう・風の音・新内流し・虫の合方・虫笛・鶏笛・本神楽・新内前弾・しやぎり	50263-A (〃)	芝居囃子(秋の巻上)
(1) 珍しや工藤祐経 (2) ひきょうなりと言わば言え	26129-A (NE34420) 26129-B (NE34421)	作 福地桜痴居士
(1) A. 偽りならぬ証拠これ御覧* (2) B. たれやら表に」これ傷は	35156-A (NE34039) 35156-B (NE34040)	作 岡本綺堂 杏花戯曲十種の内
(1) A. ああもうし皆様方お待ち (2) 酔って言うんじゃございませんが (3) 一つ血筋の妹が (4) B. こりゃ宗五郎酔いはさめしか	13093-A (1878) 13093-B (1879) 13094-A (1880) 13094-B (1881)	(3)(4)ヒビ
(1) 魂抜けてとぼとぼうかうか	194(〃)	
(1) よい月の影傾きて物案じ (2) ここにいると吹き込んで (3) 御誓言での情けのおことば (4) これのみ悲しさ」わたしとても* (5) 人立ちすけば侍立ち寄って (6) 治兵衛大地に手をつかえ	28628(D9071) 28628(D9072) 28629(D9073) 28629(D9074) 28630(D9075) 28630(D9076)	近松翁貳百年祭 記念劇 ≡[9-303] [9-306]の前篇

題名 番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
54	心中天網島 河内屋の場	(治兵衛)Ⅰ中村鴈治郎・ (小春)Ⅲ中村雀右衛門・ (孫右衛門)Ⅱ尾上卯三郎 (歌) <竹本一登太夫> (三) <鶴沢友太郎>	ニポ I b 赤	9—303 A B 304 A B
54	心中天網島 河内屋の場	(小春)Ⅳ中村芝雀 (歌) <竹本>小松太夫	ナシヨナル II a 多色	9—305 A B
54	心中天網島 紙屋の場	(治兵衛)Ⅰ中村鴈治郎・ (おさん)Ⅳ中村福助 <高 砂屋>・(五左衛門)Ⅱ尾 上卯三郎 (歌) <竹本一登太夫> (三) <鶴沢友太郎>	コロ Xb 赤	9—306 A B 307 A B 308 A B 309 A B
54	心中天網島 紙屋の場	(治兵衛)Ⅰ中村鴈治郎・ (おさん)Ⅳ中村福助 <高 砂屋>・(五左衛門)Ⅱ尾 上卯三郎 (歌) <竹本一登太夫> (三) <鶴沢友太郎>	ニポ I b 赤	9—310 A B 311 A B 312 A B 313 A B
54	心中天網島 紙屋の場	(治兵衛)Ⅰ中村鴈治郎・ (おさん)Ⅳ中村福助 <高 砂屋>・(三五郎)市川荒 太郎	ニト I a 黒	9—314 A B 315 A B 316 A B
55	水滸伝雪挑	(魯智深)Ⅴ助高屋高助・ (史進)Ⅴ沢村田之助・(小 乙)沢村其答・(道成)沢 村連吉	ニポ I b 赤	9—317 A B 318 A B
56	菅原伝授手習鑑 都大路の場	(松王丸)ⅩⅤ市村羽左衛門 (梅王丸)Ⅶ松本幸四郎・ (桜丸)Ⅶ沢村宗十郎・(時 平)Ⅳ尾上松助・(杉王 丸)Ⅳ市村竹松 (歌) 竹本重寿太夫	ニポ I b 赤	9—319 A B 320 A B

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(*) ………			[9-310]の前篇 ≒[9-301]
(3) 御誓言での情けのおことば*		9073(〃)	
(4) これのみ悲しき」わたしとても*		9074(〃)	
(5) 人立ちすげば侍立ち寄って		9075(〃)	
(6) 治兵衛大地に手をつかえ		9076(〃)	
(*) ………			
(5) 一分立たずいっそ死んで		A246(A248)	
(6) ほんの事は死にともない		A247(A249)	
(1) かど送りさえそこそこに		28631(D9077)	≒[9-310]
(2) ようよう母様おじ様の		28631(D9078)	近松翁式百年祭 記念劇
(3) 義理の悪い身代行き詰まり		28632(D9079)	[9-300]の続篇 題紙には(7)~ (14)とする
(4) 騒げば夫も敗もうし		28632(D9080)	
(5) 夫の恥とわが義理と		28633(D9081)	
(6) 立ちいずるかどの口		28633(D9082)	
(7) 元の身代に仕上げお目に		28634(D9083)	
(8) 治兵衛殿こそ他人なれ		28634(D9084)	
(1) かど送りさえそこそこに		9077(〃)	≒[9-306]
(2) ようよう母様おじ様の		9078(〃)	[9-303]の続篇
(3) 義理の悪い身代行き詰まり		9079(〃)	
(4) 騒げば夫も敗もうし		9080(〃)	
(5) 夫の恥とわが義理と		9081(〃)	
(6) 立ちいずるかどの口		9082(〃)	
(7) 元の身代に仕上げお目に		9083(〃)	
(8) 治兵衛殿こそ他人なれ		9084(〃)	
(1) かど送りさえそこそこに		397-A(〃)	
(2) おとしの十月中のいの子に		397-B(〃)	
(3) おおもつともじゃあやまった		398-A(〃)	
(4) この事はどうあっても		398-B(〃)	
(5) 明けて取り出す染め小そで		399-A(〃)	
(6) 必ず案じてくださすな		399-B(〃)	
(1) それ楼門にせいたいを帯び		8742(4227)	
(2) 丘小乙」崔道成」今うせおった		8742(4228)	
(3) (陰)		8743(4229)	
(4) (陰)おおおん身は花和尚魯智深		8743(4230)	
(1) 車やらぬ」車やらぬと		15075-A(〃)	
(2) 桜丸と」この梅王牛に		15075-B(1316)	
(3) 鼻づら取って引き出す車		15076-A(1317)	
(4) 血をあやさば社参の恐れ		15076-B(1318)	

題名 番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
56	菅原伝授手習鑑 都大路の場	(松王丸) I 中村鷹治郎・ (梅王丸) II 実川延若・(桜 丸) IV 中村福助<高砂屋>・ (時平) VI 嵐吉三郎・(杉 王丸)<中村>雁童	ニト I a 黒	9—321 A B 322 A B
56	菅原伝授手習鑑 都大路の場	(松王丸) VII 松本幸四郎・ (梅王丸) XV 市村羽左衛門・ (桜丸) VII 沢村宗十郎・(時 平) II 尾上幸藏・(杉王 丸) VII 市村家橘	コロ IX b 青	9—323 A B 324 A B
57	鈴ヶ森	(長兵衛) VII 市川中車・(権 八) XV 市村羽左衛門	ポリ I a 赤	9—325 A B 326 A B
57	鈴ヶ森	(長兵衛) VII 松本幸四郎・ (権八) XV 市村羽左衛門	ニボ I c 赤	9—327 A B 328 A B
57	鈴ヶ森	(長兵衛) VII 松本幸四郎・ (権八) VII 沢村宗十郎	タイ II b 赤	9—329 A B
57	鈴ヶ森	(長兵衛) VII 松本幸四郎・ (権八) I 中村鷹治郎	ニボ I b 赤	9—330 A B
57	鈴ヶ森 〔陰囃子〕	(歌) 中村六広 (三) VI 岡安喜三郎・杵 屋新三郎 (囃) X 田中伝左衛門・ V 田中佐十郎・II 柏扇吉・VIII 田中佐 太郎・(笛) 望月太 喜一郎	ポリ I b 黒	10—91 B
58	増補桃山譚 伏見城奥庭の場	(清正) I 中村吉右衛門・ (幸藏主) IV 市川紅若・(政 所)<III 中村時藏>	ビタ V b 赤	9—331 A B 332 A B 333 A B
59	會我綉俠御所染 五条坂仲の町の場	(五郎藏) VI 尾上菊五郎・ (土右衛門) VI 大谷友右衛 門・(与五郎) III 尾上菊三 郎	ニト I a 黒	9—334 A B 335 A B 336 A B

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(1) 車やらぬ」車やらぬと (2) くれえ自慢に食れえふとった (3) やあいわれぬしゅうの肩持ち顔 (4) わいらいい兄弟持って		681-A (〃) 681-B (〃) 682-A (〃) 682-B (〃)	
(1) 車やらぬ」車やらぬと (2) 齊世の君様菅丞相 (3) 松王が引っかけたこの車 (4) さすがの梅王桜丸		35104-A (NE33142) 35104-B (NE33143) 35105-A (NE33144) 35105-B (NE33145)	
(1) おわけえの待たっしやりませ (2) 御親切なるそのおことば (3) お身の上のひととおり (4) 御親切なるそのおことば		5060-A (4428 B F) 5060-B (4429 B F) 5061-A (4430 B F) 5061-B (4431 B F)	
(1) おわけえのあいや待たっせえやし (2) 御親切なるそのおことば (3) お身の上のひととおり (4) 御親切なるそのおことば		15963-A (10252) 15963-B (10253) 15964-A (10254) 15964-B (10255)	
(1) おわけえの待たっせえやし (2) はてや大丈夫承れば		6018-A (12515) 6018-B (12516)	
(1) おわけえのうむいや待たっせえやし (2) 別して用事もござらねど		9163 (〃) 9164 (〃)	
(1) 駅路入り馬子唄(箱八)・浪の音・ 早禪の動め・一つ鉦・本釣鐘・竹笛 入り合方(木の葉)・ごん・忍び三重		224-B (1813 B F)	芝居囃子十二ヶ月(四月)鈴ヶ森
(1) 御意を心得幸藏主 (2) あとに清正吐息つき (3) 雨に打たれ雪に凍え (4) われ三才にして父に離れ (5) そのお嘆きはごもっとも (6) ごもっともなるその仰せ		13062-A (1223) 13062-B (1224) 13063-A (1225) 13063-B (1226) 13064-A (1227) 13064-B (1228)	
(1) 筑波なれえを吹きけえす (2) あいやちょっと待ってもらいたい (3) そんならいつぞや殿様へ (4) 貧に迫って千人の (5) またしてもいらぬ口出し (6) 飲めぬとあらばえいっ		558-A (〃) 558-B (〃) 559-A (〃) 559-B (〃) 560-A (〃) 560-B (〃)	

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
59	曾我綉俠御所染 甲屋の場	(五郎藏) XV市村羽左衛門・ (土右衛門) VII松本幸四郎・ (臯月) VI尾上梅幸・(逢 州) VII市村家橋・(吾平) II尾上幸藏 (陰) X 田中伝左衛門社 中	コロ Xa 青	9—337A B 338A B
59	曾我綉俠御所染 五条坂廓の場〔陰囃子〕	(歌) 芳村伊久四郎・松 島庄三九 (三) 杵屋栄八郎・杵屋 栄美三郎 (囃) 六郷吉兵衛社中	ニト IVa 赤	10—112A
60	伊達競曲輪鞘当	(不破) XV市村羽左衛門・ (名古屋) VI尾上梅幸・(鳶 頭) XII守田勘弥 (陰) X 田中伝左衛門社 中	ポリ Ia 赤	9—339A B 340A B
60	伊達競曲輪鞘当	(不破) VI坂東篁助・(名 古屋) II市川小太夫・(紀 伊国屋) IV沢村源之助	ビク Vc 黒	9—341A B
60	伊達競曲輪鞘当	(不破) VII松本幸四郎・(名 古屋) XV市村羽左衛門	ニポ IIIa 赤	9—342A B
60	伊達競曲輪鞘当	(不破) VII松本幸四郎・(名 古屋) VI尾上梅幸 (歌) VI芳村伊十郎社中 (陰) X 田中伝左衛門社 中	トキ IIb 多色	9—343A B
60	伊達競曲輪鞘当	(不破) VII松本幸四郎・(名 古屋) VII沢村宗十郎	ニポ Ic 赤	9—344A B
61	壇浦兜軍記 堀川御所の場	(阿古屋) IV片岡我童 (歌) 竹本松葉太夫・阪 東徳三郎 (三) 野沢清登・中村新 三郎・豊沢力松	オリ IIIa 灰	9—345A B 346A B 347A B 348A B
62	忠臣いろは実記 丈左衛門内の場	(一角) XV市村羽左衛門・ (おまき) VI尾上梅幸	コロ Ib 青	9—349A B
63	忠臣蔵後日建前 A. 鳥羽暇の場	(お市) IV沢村源之助・(お かや) IV市川紅若	ポリ Ia 黒	9—350A B



詞	章	音 盤 番 号	備 考
(1) ああもしその金わたしが (2) おれに愛想が尽きたと言うのか (3) これさこれさ五郎藏さん (4) 逢州さんなんにも言わぬ		35045-A (NE31036) 35045-B (NE31037) 35046-A (NE31038) 35046-B (NE31039)	
(1) 風の音・本釣鐘・竹笛入り待宵唄・ 八千代獅子合方・大小・竹笛		4147-A (〃)	
(1) 遠からん者は音にも聞け (2) 刀のこじり捕えしおん方 (3) その行き違いのさや当てが (4) 待った待った待った待った		5053-A (3675 B F) 5053-B (3676 B F) 5054-A (3677 B F) 5054-B (3678 B F)	
(1) 遠からん者は音にも聞け (2) そりゃこの方より申すこと		53422-A (6387) 53422-B (6388)	
(1) 遠からん者は音にも聞け (2) 刀のこじりを捕えるおん方		50067-A (NE32699) 50067-B (NE32700)	
(1) 遠からん者は音羽屋に聞け (2) 刀のこじり捕えしおん方		341 (〃) 342 (〃)	
(1) (合)花の雨濡れにくるわの (2) 遠からん者は音にも聞け		15001-A (10242) 15001-B (10243)	
(1) かげというも」月の縁 (2) かげ清き名のみにて (3) (合)* (4) すい帳紅けいに」まくら並ぶる (5) 秋より先に必ずと* (6) あいと答えて気は張り弓 (7) (合) (8) 夢とさめてはんな跡もなし*		A1307 (〃) A1308 (〃) A1309 (〃) A1310 (〃) A1311 (〃) A1312 (〃) A1313 (〃) A1314 (〃)	
(1) あとには姉がかこち言 (2) こよいももはや三更過ぎ		35252-A (NE33140) 35252-B (NE33141)	ヒビ
(1) A. やれやれひどい雨じゃ (2) B. おっかさんゆうべはひどい		1147-A (4424 B F) 1147-B (4425 B F)	作 河竹黙阿弥

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
	B. 与市兵衛内の場			
64	土 蜘蛛	(土蜘蛛)Ⅵ尾上梅幸・(頼光)Ⅶ坂東三津五郎・(保昌)Ⅶ松本幸四郎・(小姓)Ⅲ坂東亀三郎 (歌)Ⅴ芳村伊十郎 (囃)Ⅹ田中伝左衛門	コロ Ⅹb 青	9—351A B 352A B
65	土屋主税 土屋館の場	(土屋)Ⅰ中村鷹治郎・(お園)Ⅳ中村福助<高砂屋>・(大高)中村魁車・(其角)Ⅳ市川市蔵・(其月)Ⅱ市川箱登羅・(六弥)林長三郎 (歌) 豊竹越太夫 (三) 鶴沢友太郎 (陰) (歌)阪東徳三郎・(三)中村新三郎	コロ Ⅹa 青	9—353A B 354A B 355A B 356A B
66	壱坂靈験記 沢市内の場	(沢市)Ⅶ沢村宗十郎・(お里)Ⅴ沢村田之助 (陰) 田中伝次社中	ポリ Ⅰb 赤	10— 1A B 2A B
67	積恋雪関扉	(関兵衛)Ⅶ松本幸四郎・(墨染)Ⅵ尾上梅幸 (歌) Ⅲ常磐津松尾太夫 (三) Ⅲ常磐津文字兵衛 (陰) Ⅹ田中伝左衛門社中	トキ Ⅱa・Ⅰa 赤・黒	10— 3A B 4A B
68	梅雨小袖昔八丈 永代橋の場	(新三)Ⅵ尾上菊五郎・(忠七)Ⅳ市川男女蔵・(源七)Ⅵ坂東彦三郎 (陰) Ⅰ柏伊三郎社中	ビク Ⅴb 赤	10— 5A B 6A B
68	梅雨小袖昔八丈 新三内の場	(新三)ⅩV市村羽左衛門・(長兵衛)Ⅳ尾上松助・(勝奴)Ⅱ坂東村右衛門	ニポ Ⅰb 赤	10— 7A B
68	梅雨小袖昔八丈 新三内の場	(新三)Ⅵ尾上菊五郎・(源七・長兵衛)Ⅵ大谷友右衛門・(勝奴)Ⅱ尾上伊三郎・(善八)Ⅲ尾上菊三郎・(お角)Ⅱ中村翫助	ニト Ⅰa 黒	10— 8A B 9A B 10A B
68	梅雨小袖昔八丈	(新三)ⅩV市村羽左衛門・	ニポ Ⅰb	10—11A

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(1) 月清きよわとも見えず (2) ちりの浮き世をのがれては (3) いらたかのじゅず携えて (4) 君のおん声いぶかしく		35393-A (M37941) 35393-B (M37942) 35394-A (M37943) 35394-B (M37944)	作 河竹黙阿弥 新古演劇十種の 内
(1) まだ其角は参らぬか (2) はっ其角殿ただ今伺候いたされ (3) 其角そちはどうか申しおるが* (4) お招きもなき当お席へ* (5) 雪の夜に積もる思いの (6) 折から聞こゆる剣撃の音 (7) 折から聞こゆる呼び子の笛 (8) 大高氏やめんぼく次第もござらぬ		35164-A (NE41147) 35164-B (NE41148) 35165-A (NE41149) 35165-B (NE41150) 35166-A (NE41151) 35166-B (NE41152) 35167-A (NE41153) 35167-B (NE41154)	玩辞楼十二曲の 内
(1) 鳥の声鐘の音さえ (2) どこやら濁ることばの端 (3) ととさんやかかさんに別れてから (4) 観音様も聞こえぬと*		5006-A (3224 B F) 5006-B (3225 B F) 5007-A (3226 B F) 5007-B (3227 B F)	
(1) あとは手じゃくのひとり酒 (2) 音はそうそうとうとうと* (3) やあいずくともなく見馴れぬ女* (4) 最前より色に事寄せ		335(〃) 336(〃) 337(〃) 338(〃)	
(1) おおおい忠七さんおめえ (2) おうおうおい忠七さんおめえ (3) これよく聞けよふだんは (4) なむあみだ仏」おとおわけえの		13077-A (1861) 13077-B (1862) 13078-A (1863) 13078-B (1864)	作 河竹黙阿弥
(1) やあ新三ああよくまあてめえ (2) おい上が十両あるよ下が五両 (*) .....		15165-A (〃) 15165-B (〃)	
(1) それじゃあ親分この金で (2) ほんに好かねえおじさんさねえ (3) ええええよすがすとえどんな (4) おやそれじゃあ親分さんは* (5) ううやあどうもまあ娘っ子は (6) おうおい」へえ」新三」へえ		561-A (〃) 561-B (〃) 562-A (〃) 562-B (〃) 563-A (〃) 563-B (〃)	
(1) 雨を幸い大川へ		15167-A (10256)	

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
	閻魔堂橋の場	(源七)Ⅶ松本幸四郎	赤	B
69	東海道四谷怪談 隠亡堀の場〔陰囃子〕	(三)Ⅵ阿安喜三郎・杵屋新三郎 (囃)Ⅹ田中伝左衛門・Ⅴ田中佐十郎・Ⅱ柏扇吉・Ⅷ田中佐太郎・(笛)望月太喜一郎	ポリ 黒	10—93A
70	藤十郎の恋 宗清奥座敷の場	(藤十郎)Ⅰ中村鴈治郎・(お梶)Ⅳ中村福助〈高砂屋〉	ニト 黒	10—12A B 13A B 14A B
70	藤十郎の恋 宗清奥座敷の場	(藤十郎)Ⅰ中村鴈治郎・(お梶)Ⅳ中村福助〈高砂屋〉	コロ 赤	10—15A B 16A B
71	唐人塚 長崎丸山揚屋の場	(仁謝)Ⅱ市川猿之助・(連山)Ⅲ坂東秀調・(長四郎)Ⅷ市川八百蔵・(お秀)Ⅶ松本錦吾 (歌)竹本琴路太夫 (三)Ⅲ野沢錦糸	ニポ 赤	10—17A B 18A B
72	時今也桔梗旗揚 本能寺の場	(光秀)Ⅶ松本幸四郎・(春永)Ⅴ市村羽左衛門	ニポ 赤	10—19A B 20A B
73	鳥辺山心中 四条河原の場	(半九郎)Ⅱ市川左団次・(お染)Ⅱ市川松蔦	コロ 黒	10—21A B
73	鳥辺山心中 四条河原の場	(半九郎)Ⅱ市川左団次・(お染)Ⅱ市川松蔦	D. C. C. 多色	10—22
74	博多小女郎浪枕 船中の場	(九右衛門)Ⅶ松本幸四郎・(宗七)Ⅶ沢村宗十郎	ニポ 赤	10—23A B
75	橋 弁 慶	(弁慶)Ⅱ市川猿之助・(牛若丸)Ⅵ市川寿美蔵・(従者)Ⅷ市川八百蔵	ニポ 橙	17—144A B

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(2)	また駆け出しの遊び人	15167-B (10257)	
(1)	木魚入り合方・水の音・佃合方・薄どろどろ・寝鳥合方・大どろどろ・一つ鉦・竹笛入り合方(君は春咲く)・狸囃子・本釣鐘	398-A (1816 B F)	芝居囃子十二ヶ月(七月)四谷怪談(おんぼり)
(1)	(陰)ええいやいや大事な大事な	416-A (〃)	
(2)	ああさようでござりまするかいなあ	416-B (〃)	
(3)	はい改まったおっしゃり様	417-A (〃)	
(4)	おおそれはそれはまことに	417-B (〃)	
(5)	さあこれほど思うている藤十郎を	418-A (〃)	
(6)	そりゃもう男の口から	418-B (〃)	
(1)	(陰)ええいやいや大事な大事な	28626 (D 15199 A)	
(2)	いやもう今度のやよい狂言は	28626 (D 15199 B)	
(3)	あの藤様のお口のじょうずな	28627 (D 15200 A)	
(4)	わたくしも人間の定命に近し	28627 (D 15200 B)	
(1)	もう日が暮るるか」ほんに気に	17690-A (NE33535)	作 岡本綺堂
(2)	おまえはもろこしわたしは日本	17690-B (NE33536)	
(3)	その女の血の流れた跡に	17691-A (NE33537)	
(4)	女は手負いに取り付いて	17691-B (NE33538)	
(1)	御不興を被りしその日より	15633-A (10258)	
(2)	喜ばしいか」はあ」さもそうず	15633-B (10259)	
(3)	すりゃこの器を光秀へ	15634-A (10260)	
(4)	かほどに申せどお心解げざる	15634-B (10261)	
(1)	おおそうじゃこれを知っている者	25069-A (15321 A, 11123-1)	≒10-22
(2)	店出しのよいからおまえの	25069-B (15321 B, 11124)	
(1)	おおそうじゃこれを知っている者	ナン	≒10-21 A 題字はペン書き 遠心式
(1)	長門の秋の夕暮れは	15762-A (〃)	
(2)	九右衛門顔色うち解けて	15762-B (〃)	
(*)	.....		
(1)	(陰)これは西塔のかたわらに住む	1003(9006)	30cm
(2)	十禅寺もうでを思い止まろうずる	1003(9007)	

題番号	題名	演奏者	題紙	整理番号
		(歌) VI芳村伊十郎 (三) III杵屋栄藏 (囃) <IX望月太左衛門社中>		145A B
76	番町皿屋敷 播磨内の場	(播磨) II市川左団次・(お菊) II市川松蔦・(十太夫) II市川左升・(権次) II市川荒次郎	ニボ I c 赤	10—26A B
76	番町皿屋敷 播磨内の場	(播磨) II市川左団次・(お菊) II市川松蔦・(十太夫) II市川左升・(権次) II市川荒次郎	コロ XI a 黒	10—27A B
77	一つ家	(茨) VI尾上梅幸・(浅茅) VII尾上栄三郎・(観世音) XV市村羽左衛門	ニボ I b 紫	10—28A B 29A B 30A B
78	双蝶々曲輪日記 与兵衛内の場	(与兵衛) II実川延若・(おはや)中村魁車・(母) III浅尾大吉	リガ II a 黒	10—31A B
78	双蝶々曲輪日記 与兵衛内の場	(与兵衛) I 中村鴈治郎 (歌) <竹本井菱太夫> (三) <鶴沢勇七>	コロ III b 黒	9—226B
78	双蝶々曲輪日記 与兵衛内の場	(与兵衛) I 中村鴈治郎 (歌) <竹本>井菱太夫	ナショナル II a 多色	9—174B
79	二つの櫓 東の芝居楽屋の場	(義太夫) IV中村福助 <高砂屋>・(お瑠璃) III中村雀右衛門・(加賀掾) III尾上多見藏	ニボ I b 赤	10—32A B
80	沓手鳥孤城落月 大阪城櫓庫の場	(淀の方) V中村歌右衛門・(秀頼) XV市村羽左衛門・(内膳) VII市川中車・(修理亮) VII坂東三津五郎・(正栄尼) IV沢村源之助・(大藏局) III坂東秀調・(饗庭局) III中村時藏	ボリ I b 赤	10—33A B 34A B 35A B
81	本朝廿四孝 謙信館奥庭の場	(八重垣姫) V中村歌右衛門 (歌) 豊竹巖太夫 (三) 竹沢仲藏	ボリ I a 赤	10—36A B

詞章	音盤番号	備考
(3) すでに夜を待つ時も来て (4) 切って掛かれば牛若は	1004(9008) 1004(9009)	
(1) いや粗相とは言わせませぬ (2) こりゃ菊それほどまでにして	15320-A (11125-1) 15320-B (11126-1)	=〔10-27〕 作 岡本綺堂 松菴戯曲十種の 内
(1) いや粗相とは言わせませぬ (2) こりゃ菊それほどまでにして	25068-A (15320A, 11125-1) 25068-B (15320B, 11126-1)	=〔10-26〕 作 岡本綺堂 松菴戯曲十種の 内
(1) 時刻もふけて三更の (2) 足にさわりし以前のそだ (3) 来世は無間地獄へ落ち (4) われこそは観音さったの (5) そんならどうでもかかさんは (6) あとに娘はただうろうろ	8948(4637) 8948(4638) 8949(4639) 8949(4640) 8950(4641) 8950(4642)	新古演劇十種の 内
(1) おはやはあとを見送りで* (2) 内は真夜となりにけり*	65388-A (E40462) 65388-B (E40463)	
(1) 哀れ数うる暮れの鐘	47889(47889-1-X-1)	
(1) 言いつつ立って一思案	A239(〃)	
(1) お瑠璃様」おおあなたは (2) 去年の夏西行物語を出したとき	9119(〃) 9120(〃)	
(1) ああれまたおそり遊ばします (2) ああもうしあさましいお心お静め (3) もしこりゃなんと遊ばします (4) もし御前様おん方様 (5) わあわあ」使者より重ねて (6) 恐れながらわが君へ	7001-A (4463B F) 7001-B (4464B F) 7002-A (4465B F) 7002-B (4466B F) 7003-A (4467B F) 7003-B (4468B F)	作 坪内逍遙博 士
(1) 思いにや焦がれて燃ゆる* (2) 誠や当国諏訪明神は	7008-A (6253B F) 7008-B (6254B F)	

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
		(陰) Ⅲ 杵屋栄蔵社中		
82	宮島だんまり 〔陰囃子〕	(歌) 芳村伊久四郎・松 島庄三九 (三) 杵屋栄八郎・杵屋 栄美三郎 (囃) 六郷吉兵衛社中	ニト Ⅳa 赤	10-111A B
83	処女翫浮名横櫛 赤間屋の場	(お富)Ⅳ 沢村源之助・(源 左衛門)Ⅵ 坂東簀助・(安 蔵)Ⅲ 沢村源十郎・(お滝) 中村辰之丞	ビク Ⅴc 黒	10-37A B
83	処女翫浮名横櫛 A. 薩埵峠の場 B. 赤間屋の場	(お富)Ⅳ 沢村源之助・(与 三郎)Ⅲ 阪東寿三郎	オリ Ⅲb 黄	10-38A B
84	紫被布千鳥浮織 松井館玄閨の場	(お閨)Ⅳ 沢村源之助・(平 吉)Ⅵ 坂東簀助・(馬五 郎)Ⅲ 沢村源十郎・(和 泉)中村辰之丞	ビク Ⅴb 黒	10-39A B
85	伽羅先代萩 A. 鶴喜代館奥殿の場 B. 床下の場	(政岡・仁木)Ⅵ 尾上梅幸・ (八汐・男之助)Ⅶ 松本幸 四郎 (歌) 竹本重寿太夫 (三) 鶴沢才二郎	コロ Ⅹa 青	10-40A B 41A B
85	伽羅先代萩 鶴喜代館奥殿の場	(政岡)中村歌扇 (歌) 竹本音女太夫 (三) 鶴沢八重蔵	タイ Ⅰa 黒	10-42A B 43A B
85	伽羅先代萩 問注所の場	(勝元)Ⅹ 市村羽左衛門・ (仁木)Ⅶ 松本幸四郎・(外 記)Ⅳ 尾上松助・(宗全) Ⅱ 尾上幸蔵	ニポ Ⅰc 赤	10-44A B 45A B
86	戻 橋 A. 戻橋の場 B. 二条通りの場	(小百合)Ⅵ 尾上梅幸・ (綱)Ⅶ 松本幸四郎 (歌) Ⅲ 常磐津松尾太夫 (三) Ⅲ 常磐津文字兵衛 (上)常磐津菊三郎	ニポ Ⅰc 赤	10-46A B 47A B 48A B
86	戻 橋 A. 戻橋の場 B. 二条通りの場	(小百合)Ⅵ 尾上梅幸・ (綱)Ⅶ 松本幸四郎 (歌) Ⅲ 常磐津松尾太夫 (三) Ⅲ 常磐津文字兵衛	トキ Ⅰa 黒	10-49A B 50A B



詞	章	音盤番号	備考
(1)	浜唄(沖はなぎようて)・浪の音・大薩摩(それ威宮万里の)・せり合方	4051-A(〃)	
(2)	本釣鐘・こたま入り合方・浪の音・唄浄瑠璃上げ(群れ立つ羽音)・三絃入り大べし夜神楽・かけり・唄入り大太鼓入り(様に会う夜)・しゃぎり	4051-B(〃)	
(1)	さあいからずっと出るがいいぜ*	53241-A(6385)	作 河竹黙阿弥
(2)	金のかかからぬ奉公人は	53241-B(6386)	
(1)	A. 今打ちしはもはや入相*	B176(〃)	
(2)	B. なんですかあなたがこちらの*	B177(〃)	
(1)	御使僧のお立ち」御丁寧なる	53130-A(6381)	作 河竹黙阿弥
(2)	言わしておけば不敵の雑言	53130-B(6382)	
(1)	A. あとにはひとり政岡が	35099-A(NE33154)	
(2)	とは言うもののかわいやな	35099-B(NE33155)	
(3)	三千世界に子を持った	35100-A(NE33156)	
(4)	B. ああら怪しやな今荒獅子	35100-B(NE33157)	
(1)	奥より走って千松が*	4495-A(12398)	
(2)	あとにはひとり政岡が	4495-B(12399)	
(3)	なぶり殺しを現在に	4496-A(12400)	
(4)	三千世界に子を持った	4496-B(12401)	
(1)	う待とうぞ待とうぞ待とうぞ	16424-A(9305)	
(2)	はっ恐れ入ってはござりますれど	16424-B(9306)	
(3)	うむしからは愚か者にして	16425-A(9307)	
(4)	しからば執権のその方一人でよい	16425-B(9308)	
(1)	A. またむら立ちし雨雲の	15080-A(〃)	新古演劇十種の 内
(2)	かつぎに身をばしのぶずり	15080-B(〃)	
(3)	おお女性はいづくへ参らるるぞ*	15081-A(〃)	
(4)	B. 最前より見しところ	15081-B(〃)	
(5)	花の散り行く嵐山	15082-A(〃)	
(6)	えにしを結ぶ露もがな	15082-B(〃)	
(1)	A. たどる大路に人影も*	343(〃)	
(2)	B. 恥ずかしながら都の舞を	344(〃)	
(3)	はておもしろき事でありしぞ*	345(〃)	
(4)	おん身はさように言わるれど*	346(〃)	

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
		(陰) X 田中伝左衛門社 中		
87	夜討會我狩場曙 A. 祐経仮屋の場 B. 松ヶ崎の場 C. 頼朝仮屋裏手の場	(時致) XV 市村羽左衛門・ (祐成) VI 尾上梅幸・(忠 常) VII 松本幸四郎・(亀 鶴) VII 尾上栄三郎	ニポ I c 赤	10-51 A B 52 A B
87	夜討會我狩場曙 A. 祐経仮屋の場 B. 松ヶ崎の場 C. 頼朝仮屋裏手の場	(時致) II 市川猿之助・(祐 成) III 市川段四郎・(忠 常) II 市川左升・(亀鶴) II 坂東勝太郎・(冬保) II 市川寿猿・(成景) II 中村 翫右衛門	コロ X a 黒	10-53 A B
87	夜討會我狩場曙 A. 祐経仮屋の場 B. 松ヶ崎の場 〔陰囃子〕	(歌) 中村六広 (三) VI 岡安喜三郎・杵 屋新三郎 (囃) X 田中伝左衛門・ V 田中佐十郎・II 柏扇吉・VII 田中佐 太郎・(笛) 望月太 喜一郎	ポリ I b 黒	10-92 A
87	夜討會我狩場曙 頼朝仮屋の場	(時致) XV 市村羽左衛門・ (頼朝) VI 尾上梅幸・(忠 常) VII 松本幸四郎	ニポ I c 赤	10-54 A B 55 A B
88	義経千本桜 伏見稻荷社の場 〔陰囃子〕	(三) VI 岡安喜三郎・杵 屋新三郎 (囃) X 田中伝左衛門・ V 田中佐十郎・II 柏扇吉・VII 田中佐 太郎・(笛) 望月太 喜一郎	ポリ I b 黒	10-90 B
88	義経千本桜 大物浦の場	(知盛) II 市川猿之助・(義 経) III 市川段四郎・(弁 慶) II 市川荒次郎・(典侍 局) II 坂東勝太郎	リガ I a 黒	10-56 A B 57 A B
88	義経千本桜 釣瓶鮓屋の場	(権太) XV 市村羽左衛門・ (弥左衛門) IV 尾上松助・ (母) II 坂東村右衛門・(梶 原) II 尾上幸藏・(惟盛) IV 尾上紋三郎	ニポ I c 赤	10-58 A B 59 A B
88	義経千本桜 釣瓶鮓屋の場	(権太) VI 尾上菊五郎・(弥 左衛門) III 尾上菊三郎・ (母) 尾上華幸・(梶原) VI 坂東彦三郎・(惟盛) IV 市	ビク V b 赤	10-60 A B 61 A

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(1) A. すでに建久四つの年 (2) ねぐらさまよう浦千鳥 (3) 五つや三つのころなれば (4) B. (勢子声)弟はいずれへ参る		15480-A (9332) 15480-B (9333) 15481-A (9334) 15481-B (9361)	
(1) A. げにや三千年に一度花咲き* (2) 遠からん者は音にも聞け		26540-A (NE34614) 26540-B (NE34615)	作 河竹黙阿弥
(1) A. 牢番合方・雨の音・大薩摩 (すでに建久)・かけり B. 石段合方・大小・三つ太鼓		297-A (1814 B F)	芝居囃子十二ヶ月(五月)夜討會我
(1) いかに時致承れ* (2) してまた工藤の仮屋まで (3) してまた岡部弥三郎* (4) こりゃ時致これなる首級に		15525-A (〃) 15525-B (〃) 15526-A (1297) 15526-B (1298)	
(1) 遠寄せ・早三つ太鼓・大太鼓入り合方(山姥)・さらし・雷序・どろどろ・大太鼓入り合方(幕外六方)		142-B (1811 B F)	芝居囃子十二ヶ月(二月)鳥居前忠信
(1) 知盛見るよりかっとせき込み (2) 持ったるいらたか知盛の (3) 知盛は御座近く涙を (4) われかく深手を負うたれば		67451 (NE34610) 67451 (NE34611) 67452 (NE34612) 67452 (NE34613)	
(1) 権太郎面を上げい (2) えぐりかくるも心は涙 (3) ふむその根性でなんでまた (4) 災いも三年と		15259-A (〃) 15259-B (〃) 15260-A (〃) 15260-B (〃)	
(1) 聞き及んだいがみの権太という (2) もしほうびの金を忘れちゃ (3) 手負いは顔をうちながめ		13134-A (1882) 13134-B (1883) 13135-A (1884)	

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
		川男女藏・(お里)Ⅲ坂東 竹三郎		B 62A B
89	与話情浮名横櫛 多左衛門内の場	(与三郎)ⅩⅤ市村羽左衛門・ (お富)Ⅵ尾上梅幸・(安 藏)Ⅳ尾上松助・(多左衛 門)Ⅱ尾上幸藏・(藤八) Ⅱ坂東村右衛門	ニポ I b 紫	10—63A B 64A B 65A B 66A B 67A B 68A B 69A B
89	与話情浮名横櫛 多左衛門内の場	(与三郎)ⅩⅤ市村羽左衛門・ (お富)ⅩⅡ片岡仁左衛門・ (安藏)Ⅵ大谷友右衛門・ (多左衛門)Ⅷ沢村訥子・ (藤八)Ⅱ市川荒次郎 (陰) Ⅲ杵屋栄藏社中	ビク Ⅶa 赤	10—70A B 71A B 72A B 73A B 74A B
89	与話情浮名横櫛 多左衛門内の場	(与三郎)ⅩⅤ市村羽左衛門・ (お富)Ⅵ尾上梅幸・(安 藏)ⅩⅡ守田勘弥	ポリ I a 赤	10—75A B
89	与話情浮名横櫛 多左衛門内の場	(与三郎)ⅩⅤ市村羽左衛門・ (お富)Ⅵ尾上梅幸・(安 藏)Ⅳ尾上松助	コロ X a 青	10—76A B
89	与話情浮名横櫛 多左衛門内の場	(与三郎)ⅩⅤ市村羽左衛門・ (お富)Ⅵ尾上梅幸・(安 藏)Ⅳ尾上松助	ニポ I b 紫	10—77A B
89	与話情浮名横櫛 多左衛門内の場	(与三郎)Ⅶ松本幸四郎・ (お富)Ⅵ尾上梅幸・(安 藏)Ⅳ尾上松助	トキ I a 黒	10—78A B

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(4)	母は悲しく手負いに取り付き	13135-B (1885)	
(5)	力み返って弥左衛門*	13136-A (1886)	
(6)	さもそうずさもありません	13136-B (1887)	
(1)	へえええどうかああごゆっくりと	8914(4651)	≡10-77A ≡ B
(2)	おう与三えてめえに話をした	8914(4569)	
(3)	今夜はねあいにくうちのだんなも	8915(4570)	
(4)	ええそれじゃあわしがそのわらじ銭	8915(4571)	
(5)	ええありがとうございますおい	8916(4572)	
(6)	ええ御新造さんえおかみさんえ	8916(4573)	
(7)	まだ木更津にいたころにゃあ	8917(4574)	
(8)	ええちげえねえちげえねえ	8917(4575)	
(9)	なにめんぼくないことはない	8918(4576)	
(10)	へえええわっちはお富の兄で	8918(4577)	
(11)	大きにお待ち遠様でございました	8919(4578)	
(12)	まあなんでもいいからなそりゃ	8919(4579)	
(13)	おう与三えおらもうぐっちょりに	8920(4580)	
(14)	欲張るわけじゃねえがなあ	8920(4581)	
(1)	さあ藤八つあんまあどうぞ	5885(J-2054)	
(2)	ええおっしゃるとおり参られた	5885(J-2055)	
(3)	ええどうかまあ一つおねげえ	5886(J-2056)	
(4)	おっおっおっ安てめえそれで	5886(J-2057)	
(5)	しがねえ恋の情けがあだ	5887(J-2058)	
(6)	こうこう気休めもてえげえに	5887(J-2059)	
(7)	なるほどこの女の身寄りと	5888(J-2060)	
(8)	てめえ安じゃあねえかい	5888(J-2061)	
(9)	よおい与三それじゃどうしても	5889(J-2062)	
(10)	おお安おらあなんにも忘れた物あ	5889(J-2063)	
(1)	おうお兄いえどうだいえ	5044-A (3715 B F)	
(2)	しがねえ恋の情けがあだ	5044-B (3717 B F)	
(1)	おい兄いどうだいええ	35023-A (50001A, 14820)	カビ
(2)	しがねえ恋の情けがあだ	35023-B (50001B, 14821)	
(*)	………		
(5)	ええありがとうございますおい	8916(4572)	≡10-65A ≡ B
(6)	ええ御新造さんえおかみさんえ	8916(4573)	
(*)	………		
(1)	ええもし御新造さんえ*	331(〃)	
(2)	しがねえ恋の情けがあだ	332(〃)	

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
90	若木仇名草 若木屋二階座敷の場	(蘭蝶) 刈守田勘弥・(此糸) 初瀬浪子・(若糸) 村田美弥子 (歌) VII 富士松加賀太夫 (三) 富士松富士三郎	ニポ I b 赤	10-79 A B 80 A B
90	若木仇名草 若木屋此糸部屋の場	(お宮) 村田嘉久子・(此糸) 初瀬浪子 (歌) VII 富士松加賀太夫	ニポ I c 赤	10-81 A B

陰 囃 子

題名番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
(1)	芝居囃子の色々	(対話) <梅屋勝之輔> 他質問者一人 (実演) (歌) <杵屋六八>(三)<小川政之助>	D.C.C. I a 赤	10-82 A 83 A 82 B 83 B
(2)	春の巻上 三人吉三白浪 春の巻下 伊賀越道中双六 夏の巻上 伊勢音頭恋寝刃 夏の巻下 まつり 秋の巻上 島衛月白浪 秋の巻下 籠釣瓶花街酔醒 冬の巻 鞍馬山暗闘(上) (下)	III 杵屋栄蔵社中	ビク V b 黒	10-84 A B 85 A B 86 A B 87 A B

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(1)	名にし負う隅田にそえし	15044-A (9400)	
(2)	あとに蘭蝶不審顔	15044-B ( ? )	
(3)	四谷で初めて会うとき	15045-A (9402)	
(4)	ああもし」引きとむそでを	15045-B (9403)	
(*)	……………		
(7)	蘭蝶殿に身を立てさせ	15878-A (9398)	
(8)	ようようと心を定め	15878-B (9399)	

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(1)	鞠唄(とんとんとん)・琴唄(君の香り)・大小入り合方	1373, 1733(ナン)	題字はペン書き 遠心式 (1)の裏は(3) (2)の裏は(4)
(2)	大小入り合方・雀踊り	1373(ナン)	
(3)	雀踊り・唄入り大太鼓入り (恋すちよう)・幽霊三重	ナン	
(4)	幽霊三重・にんば・しゃぎり	1734(ナン)	
(1)	ゆうべ夢見た唄入り・通り神楽・浪の音・石投げ合方・どん・時の鐘・薩摩さ合方・菖蒲浴衣合方・まごさ・舟は出て行く唄入り・しゃぎり	50538-A (〃)	
(2)	駅路入り馬子唄(箱八)・山おろし・早め合方・三つ太鼓・大小入り合方・ごん・竹笛入り合方(繁蔵)・早双盤合方・つっかけ・かけり・三絃入り早笛・しゃぎり	50538-B (〃)	
(3)	波の音・只合方・唄入り四丁目(赤い物)・早禪の勤め・ごん・忍び三重・竹笛入り合方(木の葉)・駅路入り馬子唄(伊勢は津)・しゃぎり	50539-A (〃)	
(4)	木遣唄入り・聖天・人に立てられ唄入り・木遣くづし合方・四丁目入り合方・三絃入り屋台囃子・屋台囃子・しゃぎり	50539-B (〃)	
(5)	あほだら・新内よう・風の音・新内流し・虫の合方・虫笛・鶏笛・本神楽・新内前弾・しゃぎり	50263-A (〃)	
(6)	唄入り大小太鼓騒ぎ(送りましょかよ)・風の音・本釣鐘・凄み合方・夜番太鼓・金棒・三味線入り騒ぎ・早め合方(梅の栄前弾)・しゃぎり	50263-B (〃)	
(7)	山おろし・早禪合方・大薩摩(それ月も)・せり合方	50264-A (〃)	
(8)	こだま入り合方・唄浄瑠璃(追っかけ行かんと)・修羅囃子合方・夜神楽合方・かけり・大太鼓入り合方	50264-B (〃)	

題名 番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
(3)	歌舞伎合方集	(三) VI 杵屋弥吉 連中 (囃) 住田又三郎	コロ X a 黒	10—88A  B
(4)	長唄芝居之囃子	VI 杵屋弥三郎連中	ビク I a 黒	10—89
(5)	正月 寿會我対面 二月 鳥居前忠信 三月 楼門五三桐 四月 鈴ヶ森 五月 夜討會我 六月 お祭佐七 七月 四谷怪談 (おんぼぼり) 八月 伊勢音頭 九月 菊畑 十月 加賀騒動 (紅葉山) 十一月 暫 十二月 義士討入	(歌) 中村六広 (三) VI 岡安喜三郎・杵屋新三郎 (囃) X 田中伝左衛門・V 田中佐十郎・II 柏扇吉・VIII 田中佐太郎・(笛) 望月太喜一郎	ポリ I b 黒	10—90A  B  91A B  92A  B  93A  B  94A  B  95A B
(6)	忠臣蔵十二月 大序 二段目	常磐津(歌)常磐津和歌太夫・(三)常磐津和歌吉	ニボ I a・I b 赤	10—96A  B



詞	章	音盤番号	備考
しゃぎり			
(1)	三つ太鼓・一つ鉦・お前の袖唄・おかしみ合方・大小入り合方(忠弥)・羯鼓の合方	25539-A (NE31363)	
(2)	唄入り四丁目(赤い物)・ごん・露は尾花唄・狸囃子・大太鼓入り合方(幕外六方)・浪の音・佃唄入り(吹けよ川風)	25539-B (NE31364)	
(1)	唄入り駅路(大坂離れて)・唄入り踊り地(花に遊ばば)	11359 (B11359, E381)	
(1)	管絃・老調・対面三重・岩戸神楽・肥前節・三保神楽	142-A (1810 B F)	
(2)	遠寄せ・早三つ太鼓・大太鼓入り合方(山姥)・さらし・雷序・どろどろ・大太鼓入り合方(幕外六方)	142-B (1811 B F)	
(3)	大薩摩(それ緑林)・三絃入り楽・磬入り・かけり・寺鐘	224-A (1812 B F)	
(4)	駅路入り馬子唄(箱八)・浪の音・早禪の勤め・一つ鉦・本釣鐘・竹笛入り合方(木の葉)・ごん・忍び三重	224-B (1813 B F)	
(5)	A. 牢番合方・雨の音・大薩摩(すでに建久)・かけり B. 石段合方・大小・三つ太鼓	297-A (1814 B F)	
(6)	唄入り聖天(初恋の)・菖蒲浴衣合方・木遣くずし合方・三絃入り屋台囃子	297-B (1815 B F)	
(7)	木魚入り合方・水の音・佃合方・薄どろどろ・寝鳥合方・大どろどろ・一つ鉦・竹笛入り合方(君は春咲く)・狸囃子・本釣鐘	398-A (1816 B F)	
(8)	唄入り踊り地(伊勢に遊ばば)太鼓入り・本釣鐘・竹笛入り音頭唄入り(桜花)	398-B (1817 B F)	
(9)	修羅囃子・調べ入り合方(供奴)・大小入り合方(供奴)・序の舞・恋慕合方・早舞	473-A (1818 B F)	
(10)	こだま入り合方・山おろし・砦・本釣鐘・木の葉落とし合方・虫の合方(謡 よもつじ)・虫笛	473-B (1819 B F)	
(11)	早神楽・時の太鼓・大薩摩(咸宮万里の)・片しゃぎり	533-A (1820 B F)	
(12)	本調子早め合方・四つ太鼓・合方(チレチレチツ)・八千代くずし合方・修羅囃子合方・大小・大小入り合方(忠弥・なぎなた)	533-B (1821 B F)	
(1)	天王立・置鼓・床(かこうありといえども)	3322(〃)	
(2)	調べ・床(わき能過ぎて)・序の舞・	3323(〃)	

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
	三段目 四段目 五段目 六段目 七段目 八段目 九段目 十段目	清 元(歌)清元喜久太夫 (三)清元順三郎 義太夫(歌)竹本重寿太夫 (三)野沢市造 長 唄(歌)Ⅲ中村兵藏 (三)杵屋新右衛門 (囃)Ⅹ田中伝左衛 門		97A B 98A B 99A B 100A B
(7)	十二ヶ月 三月 花色廓夜賑  四月 大名行列 五月 菖蒲鑑誉太刀 風 六月 祭札行事  七月 <船遊> 八月 <大漁祝>	(歌) Ⅲ中村兵藏 (三) 杵屋新右衛門・Ⅹ 杵屋六三郎・杵屋 六一郎 (囃) Ⅹ田中伝左衛門社 中	ニボ I b・I c 赤	10-101A B 102A B 103A B
(8)	正 月 宝船  二 月 梅の御殿  三 月 鳥居前の桜  四 月 両国の賑い	(歌) Ⅱ吉住小三藏・吉 住小四郎 (三) 杵屋彦之助	ライ Ia 赤・橙・緑	10-104A B 105A B

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(3)	早舞 浄瑠璃(やどっこい桜桜と)・大拍子	3460(〃)	
(4)	床(おんから見送り)・本釣鐘・床メリ・愁三重・送り三重	3324(〃)	
(5)	雨の音・早笛・山おろし・床(あわやと見送る)・ごん・忍び三重・床と上下・風の音	3325(〃)	
(6)	床(身の誤りに)・隣柿の木唄・竹笛入り合方(忠六)・本釣鐘・風の音	3326(〃)	
(7)	唄入り踊り地(花に遊ばば)・独吟(父よ母よ)・床(あたり見回し)	3327(〃)	
(8)	山おろし・駅路・浄瑠璃(鐘がな鳴るかよ)	3463(〃)	
(9)	尺八・床(つるのすごもり)・風の音	3328(〃)	
(10)	忘れ貝唄・二人椀久合方・斎藤合方・楽三段目合方	3329(〃)	
(*)	………		
(*)	………		
(3)	唄入り通り神楽(夜桜)・唄入り太鼓騒ぎ(送りましょかよ)・本釣鐘・風の音・更けて合方・火の用心声・新内流し・按摩笛・土手の提灯唄入り跡すががき	750(〃)	
(4)	跡の立場唄入り・山おろし・大小入り行列三重・駅路入り馬子唄(箱八)	751(〃)	
(5)	時の太鼓・修羅囃子・三絃入り修羅囃子・三絃入り中の舞(本調子)	752(〃)	
(6)	唄入り聖天(筑摩祭り)・神輿太鼓・三絃入り屋台囃子・菖蒲浴衣合方・聖天・しゃぎり	753(〃)	
(7)	波の音・佃合方・竹笛入り音頭唄入り(待宵)・佃唄入り(佃佃と)	754(〃)	
(8)	波の音・浜唄(沖はなぎようて)・千鳥合方・沖の大船唄太鼓入り・浜唄(磯のなあ)	755(〃)	
(*)	………		
(1)	長き夜の・通り神楽入り合方・鞠唄(一つとや)・まごさ・三絃入り屋台囃子・ゆうべ夢見た唄入り・波乗り舟の	70530(〃)	杵屋六四郎新作
(2)	琴唄(逢う瀬うれしき)・管絃・本調子合方・只唄(伊予の井桁)・風の音・早め合方(本調子)・しゃぎり	70531(〃)	
(3)	空も弥生唄入り太鼓入り・大拍子合方・早大拍子・初恋の唄入り双盤大拍子・早双盤	70532(〃)	
(4)	深く契りし唄入り・題目太鼓・三絃入り篳弓・早め合方(三下り)・米山唄入り・角力太鼓・三絃入り辻打	70533(〃)	

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
	五 月 菖蒲の間			106A
	六 月 神田祭礼			B
	七 月 船戦			107A
	八 月 夜の廓			B
	九 月 菊見の宴 其一			108A
	其二			B
	十 月 山中の暗闘其一			109A
	其二			B
	十一月 雨夜の鐘			110A
	十二月 雪の一夜			B
(9)	宮嶋だんまり	(歌) 芳村伊久四郎・松 島庄三九 (三) 杵屋栄八郎・杵屋 栄美三郎 (囃) 六郷吉兵衛社中	ニト IVa 赤	10-111A
	御所五郎蔵(格子先)			B
	三人吉三(大川端庚申 堂)			112A
				B
10	十二ヶ月 秋の巻	市村座附長唄囃子連中	オリ VIIa 紫	10-113A
	冬の巻			B
(11)	しゃぎり	?	デンオン Ia 青	10-114

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(5)	調べ・本調子合方・早舞(謡：山河草木)・八千代恋慕合方	70534(＼)	
(6)	唄入り聖天(人に立てられ)・木遣くずし合方・只合方・四丁目入り合方	70535(＼)	
(7)	波の音・浜唄(磯のなあ)・千鳥合方・ほら貝・大小入り合方(修羅囃子)・三絃入りつっかけ・かけり	70536(＼)	
(8)	太鼓入り流行唄(いやと)・太鼓入り踊り地・一人腕久唄入り(じたいわれら)・大小太鼓騒ぎ・波の音・更けて合方・ごん・新内流し・風の音・あれ又唄	70537(＼)	
(9)	修羅囃子・調べ入り合方・序の舞合方・琴唄(夢は巫山)・獅子とら唄入り	70538(＼)	
(10)	二番目しゃぎり	70543(＼)	
(11)	山おろし・大薩摩(それ全山)・大太鼓入りせり合方	70539(＼)	
(12)	山おろし・こだま合方(忍車)・双盤入り竹笛入り合方(繁蔵)・三絃入り大べし夜神楽・かけり	70540(＼)	
(13)	四つ竹唄入り(東上総)キン入り・木魚入り合方・風の音・一つ鉦入りお前の袖唄・雨の音	70541(＼)	
(14)	三絃入り禪の勤め・雪おろし・村でなあ唄・ごん・忍び三重・竹笛入り合方(木の葉)一つ鉦入り・三絃入り早禪	70542(＼)	
(1)	浜唄(沖はなぎようて)・浪の音・大薩摩(それ威宮万里の)・せり合方	4051-A(＼)	
(2)	本釣鐘・こだま入り合方・浪の音・唄浄瑠璃上げ(群れ立つ羽音)・三絃入り大べし夜神楽・かけり・唄入り大太鼓入り(棟に会う夜)・しゃぎり	4051-B(＼)	
(1)	風の音・本釣鐘・竹笛入り待宵唄・八千代獅子合方・大小・竹笛	4147-A(＼)	
(1)	ゆうべ夢見た唄入り・通り神楽・浪の音・石投げ合方・時の鐘・薩摩さ合方・菖蒲浴衣合方・まごさ・舟は出て行く唄入り・しゃぎり	4147-B(＼)	
(*)	.....		
(3)	どろどろ・寝鳥入り合方一つ鉦入り・三絃入り屋台囃子・唄入り聖天(井出の山吹)	60185-A (61009)	
(4)	一声・山おろし・ごん・竹笛入り合方(だんまり)こだま砦入り・唄入り角兵衛(冬は木母)・しゃぎり	60185-B (61010)	
(1)		1480(ナン)	題字はペン書き遠心式

15 新 派

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
1	己 が 罪 A. 房州根本浜の場① B. 房州根本浜の場②	(作兵衛)木下録三郎・ (環)久保田清・(隆弘)朝 霧実 [陰囃子入]	オリ VIa 黒	10-121A B 122A B
2	婦 系 図 湯島天神社の場	(お蔦)喜多村緑郎・(主 税)伊志井寛・(万吉)I 村田正雄・(声色屋)雪岡 光次郎・西脇滋 (歌) 清元延春寿 (三) 清元延光枝 (陰) III 中村兵藏社中	コロ VIIb 紫	10-123A B 124A B 125A B 126A B 127A B 128A B
3	仮名屋小梅 A. うた島の場 B. 酔月の場	(小梅)河合武雄・(一重) 喜多村緑郎・(兼吉・千 助)松本要次郎 (三) 春日とよ晴 [陰囃子入]	キング Ia 赤	17-151A B 152A B
3	仮名屋小梅 浜町河岸の場	(小梅)河合武雄・(兼吉) 河合明石 [陰囃子入]	トキ Ia 黒	10-129A B
4	酒 中 日 記 大河内の場	(大河)井上正夫・(お政) 英太郎・(三輪)児島三郎	ニポ Ib 赤	10-130A B
5	塵 境 A. 水車小屋の場① B. 水車小屋の場②	(お松)花柳章太郎・(仙 吉)梅島昇・(六造)藤村 秀夫 [洋楽入]	ニポ Ic 赤	10-131A B 132A B
6	大 尉 の 娘 A. 慎蔵内の場① B. 慎蔵内の場②	(露子)花柳章太郎・(慎 蔵)藤村秀夫	ニポ Ib 赤	10-133A B 134A B

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(1) A. おとうちゃんおかあちゃん (2) 御前様奥様玉坊はかわいいそうな (3) B. ああ奥様」おお玉坊さん (4) そんなに親切に言ってくれと		2496-A(〃) 2496-B(〃) 2497-A(〃) 2497-B(〃)	
(1) さえ返る春の寒さに (2) 人目を」いい声ね」忍び (3) だってさついぞいっしょに (4) おいおい外の事とは違う (5) ちょうど十二の夏だった (6) 人間ってえやつはなあ (7) あらまたふざいてるのね (8) あたしねえこんな事言うと (9) ですから死ねと言ってくだはい (10) 死んでもかまわんとおっしゃった (11) そしておまえはこれからどうして (12) これが頼みと手を取りて		B 81(M210856) B 81(M210857) B 82(M210858) B 82(M210859) B 83(M210860) B 83(M210861) B 84(M210862) B 84(M210863) B 85(M210864) B 85(M210865) B 86(M210866) B 86(M210867)	原作 泉鏡花
(1) A. あねえさんいけやせん (2) あぶないあぶない小梅さん (3) B. おっお梅何しに帰って来た (4) 何を言やがるおまえの意地も		G-22002(G5) G-22002, G-6(6) G-22003, G-7(7) G-22003(G8)	30cm 原作伊原青々園 脚色真山青果
(1) 淡路島通う千鳥恋のつじうら (2) ? だれです」おい兼吉		1915(〃) 1916(〃)	キズ
(1) あなた」あおまえちょうどいい (2) 奥さん一体どうしたんです		15188-A(〃) 15188-B(〃)	キズ
(1) (序) A. だな様おらあだんな様に* (2) さあ婚礼済んだぞうむ花婿どん* (3) B. 朝は悲しやあの水車* (4) さあみんなこっちはいれ*		15421-A(11548) 15421-B(11549) 15422-A(11550) 15422-B(11551)	作 小山内薫
(1) A. ねえおとう様」あ」あのう* (2) B. 露子露子眠っておるのか (3) 本当ですかおとう様 (4) ねえおとう様いいでしょう		15046-A(10137) 15046-B(10138) 15047-A(〃) 15047-B(10140)	

題名 番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
7	通夜物語 根津権現社の場	(清)山崎長之輔・(丁山) 河原市松・(鉄三)木下録 三郎 〔陰囃子入〕	ニポ I a 赤	10-135A B 136A B
8	流るる星	山崎長之輔・河原市松・ 木下録三郎 〔陰囃子入〕	ニポ I a 赤	10-137A B
9	生さぬ仲 目黒火の番小屋の場	(渥美)井上正夫・(まさ 子)英太郎	ニポ I c 赤	10-138A B
10	春の潮 神楽堂の場	(秀夫)山崎長之輔・(お 葉)河原市松・(お光)木 下録三郎 〔陰囃子入〕	ニポ I a 赤	10-139A B
11	二筋道 A. 髪結内の場 B. そば屋の場	(おすが)河合武雄・(お きよ)喜多村録郎 (歌) 春日とよ喜 (三) 春日とよ晴 〔陰囃子入〕	キング I a 赤	17-153A B 154A B
12	不如帰 逗子浜の場	秋月桂太郎一座 〔陰囃子入〕	オリ III a 灰	10-140A B
12	不如帰 逗子浜の場	(浪子)花柳章太郎・(武 男)藤村秀夫・(お幾)石 川幸三郎 〔陰囃子入〕	ニポ I b 赤	10-141A B 142A B
13	名人長次 A. 清兵衛内の場① B. 長次内の場 C. 清兵衛内の場②	新生新派 <(長次)花柳章太郎・(清 兵衛)大矢市次郎・(お 島)森赫子・(兼松)伊志 井寛・(幸兵衛)柳永二郎 (お柳)喜多村録郎> 〔陰囃子入〕	ニツチク I a 青	17-155A B 156A B 157A B 158A B



詞	章	音盤番号	備考
(1) なべ焼きうどん」おおびっくりした (2) 道が悪いからおまえ (3) おとっつあんもう堪忍して (4) 清さんだっておまえみたいな		824(＼) 825(＼) 826(＼) 827(＼)	
(1) 書生さんこの易で見るとね (2) ○○○なんでそんな顔をするんだ		830(＼) 831(＼)	
(1) おとう様ではわたしは夫の (2) ああもし父をどうなされます		15367-A (10573) 15367-B (10574)	キズ
(1) ああ寒いちょいとおみっつあん (2) あなたがお医者にならなきゃあ		828(＼) 829(＼)	
(1) A. 道は二筋ふたりの心 (2) B. ねえおきよさんおまえさんね (3) いえね芸者が悪いって理屈は (4) だからさおまえさんが本当に		G-12002(G1) G-12002(G2) G-12003(G3) G-12003(G4)	30cm 作 瀬戸英一
(1) あなた大そういい月ですわね (2) 若様どうもお待たせをいたしました		B 964(＼) B 965(＼)	
(1) まあだんな様今夜は (2) 早いもんさすぐ銀婚式に (3) あなたまた合奏が始まってよ (4) 本当うれしいわあたし		10143(＼) 10144(＼) 10145(＼) 10146(＼)	
(1) A. おとっつあん何をするんだよ (2) で何かこの金を持って来たのは (3) B. もうけえって来るだろうと (4) 兼今けえったぞ兼」お帰んなさい (5) さこのお金はさっき両国の親方が (6) おかみさんあなた泣いて泣いて (7) ねえおかみさん仏壇の仕事が (8) C. ええうるせえしゃみせんなんか		155586, H501 (M55586) 255587, H501 (M55587) 155588, H502 (M55588) 255589, H502 (M55589) 155590, H503 (M55590) 255591, H503 (M55591) 155592, H504 (M55592) 255593, H504 (M55593)	30cm 作 川口松太郎 カビ

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
				159A B

## 16 新 劇

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
1	秀吉と淀君	(秀吉)東儀鉄笛・(淀君) 河村菊枝	トキ I a 赤	10-151A B
2	マ ツ	(ガンゾオ)藤村秀夫・(ト ナアミイ)三好栄子・(マ ツオオ)Ⅲ阪東寿三郎・ (チイヨオ)石河薫・(ゲ ンバ)山口俊雄 〔洋楽入〕	コロ X a 黒	10-152A B 153A B

## 18 大衆劇

### 181 軽演劇

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
1	愛の終点	(秋山)曾我廼家五郎・(小 谷)曾我廼家蝶六 〔陰囃子入〕	コロ X a 黒	10-161A B 162A B
2	吾妻草紙 A. 両国船宿の場 B. 徳兵衛内の場	曾我廼家五郎一座 〔陰囃子入〕 〔柝入〕	ニポ I b 赤	10-163A B 164A B
3	アラビヤ夜話 赤太郎内の場	(赤太郎) I 実川延二郎	ニポ I a 赤	9—299B
4	欧洲みやげ	曾我廼家五郎一座	オリ Ⅲ b 灰	10-165A B
5	啞の旅 A. 神戸港の場 B. ロンドン街頭の場	A. (大野) I 沢村宗之助・ (繁勇)村田嘉久子・(お 花)藤間房子・(事務長)森	トキ Ⅰ a 紫	10-166A B

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(9)	なあ親方両国の清兵衛と言やあ	155594, H505 (M55594)	
(10)	親方親方は知ってるはずだ	255595, H505 (M55595)	

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(1)	「 ? 」でもきのうは*	171(〃)	作 松居松葉
(2)	それからこうじゃ流すちの輪の	172(〃)	
(1)	えろはにほはとえろはにほはと	25771-A (NE40248)	原作タケダ・イ ヅモ 翻案エム・シー・ マアカス 脚色田中総一郎
(2)	さあガンゾオわしのこの眼の前で	25771-B (NE40249)	
(3)	新入生の母親でございます	25772-A (NE40250)	
(4)	おおわたしはつれない松の木	25772-B (NE40251)	

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(1)	おいおいおいおいそこへ行くのは	26654-A (NE41508)	作 一堺漁人
(2)	おいおいおいおいぎりんカフェの	26654-B (NE41509)	
(3)	秋山ただ今」小谷君お帰り	26655-A (NE41510)	
(4)	さあこっちははいれ」まああんた	26655-B (NE41511)	
(1)	A. 徳兵衛さんこれからは	5717(〃)	
(2)	徳兵衛さん命にかけてわたしゃ	5718(〃)	
(3)	B. おおおとっつあんこれに	5719(〃)	
(4)	おやっさんおやっさんあんた	5720(〃)	
(1)	困ったねえぼくだって心配	195(〃)	
(1)	ねえ諸君今晚の六時三十分	A922(〃)	
(2)	おいおいおいどうするんだよ	A923(〃)	
(1)	A. ああびっくりした」大野はん	63(〃)	作 太郎冠者
(2)	B. パイパアエキストラスペシャル	64(〃)	

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
		律子・(事務員)河村菊枝・ (豆奴)水野早苗 (陰) X 田中伝左衛門社 中 B. (巡査) VII 松本幸四郎・ (双田) IV 尾上松助・(新 聞売)松本銀杏		
6	乙 女 心	曾我廼家五郎・十郎 〔陰囃子入〕	オリ I a 黒	10-167 A
7	京 人 形	曾我廼家五郎一座 〔陰囃子入〕 〔柝入〕	オリ V b 黒	10-168 A B 169 A B
8	喧嘩友達	(亀吉)曾我廼家五九郎・ (勝太郎)曾我廼家一奴・ (おつね)木村光子・(お 袖)武智桜子 〔陰囃子入〕 〔柝入〕	オリ VII a 紫	10-170 A B 171 A B
9	木 枯 ら し	(泥棒)曾我廼家五郎・(蒲 原)曾我廼家蝶六	ニボ III a 赤	10-172 A B
10	心 の 脱 線 A. 日新亭前の場 B. 栗岡部屋の場	(矢野)曾我廼家五郎・(栗 岡)蝶六・(お静)大磯・ 蝶七・致雄 〔陰囃子入〕 〔柝入〕	ニト I a 赤	10-173 A B 174 A B
11	堺 の 富 蔵	曾我廼家五郎・十郎 〔陰囃子入〕	オリ I a 黒	10-167 B
12	震災の五郎 A. 刹那の巻 B. 食糧の巻 C. 脱出の巻	曾我廼家五郎	オリ VI a 黒	10-175 A B 176 A B
13	短 慮 の 刃 A. 浅草寺の場 B. 江戸城堀の場	曾我廼家五郎一座 〔陰囃子入〕	ニト I a 赤	10-177 A B
14	茶 音 頭 A. 須磨の浦磯馴茶屋の 場	曾我廼家五郎一座 〔陰囃子入〕 〔柝入〕	オリ VI a 黒	10-178 A B

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(1)	?	A 337(337)	
(1)	今そこへ行てごあいさつを	1957-A (〃)	
(2)	やあ松の位の太夫職が	1957-B (〃)	
(3)	?	1958-A (〃)	
(4)	さあ人形見て置けこれ人形よ	1958-B (〃)	
(1)	あああまたけんかを始めたよ	60179-A (60856)	
(2)	おまえさん隣のだれもない処へ*	60179-B (60857)	
(3)	ただ今おとっつあんまた	60180-A (60858)	
(4)	おいおつねどうしたんだい	60180-B (60859)	
(1)	おおおおお裏口が明いていたので	17212-A (NE31313)	(2)キズ
(2)	おお今表へ止まった自動車は	17212-B (NE31314)	
(1)	A. おいおいおい栗岡君今の	456-A (〃)	(3)キズ
(2)	矢野はんあんたまだいなはり	456-B (〃)	
(3)	B. やあおつたさん二階から失礼	457-A (〃)	
(4)	やいおのれ」何さらすのや	457-B (〃)	
(1)	世間を知らぬ悲しさに	A 338(338)	
(1)	A. ああ地震だ地震だ地震だ	2645-A (〃)	
(2)	B. おおおおよくわかったね	2645-B (〃)	
(3)	ああ夜が明けたねきょうは	2646-A (1602)	
(4)	C. なに東京駅へ汽車開通の	2646-B (〃)	
(1)	A. 杉森殿しばらくしばらく	529-A (〃)	
(2)	B. 箕浦殿ただ今御下城で	529-B (〃)	
(1)	A. おう喜六さんとうとう寝て	2001-A (〃)	
(2)	おう喜六さんお目ざめかいな	2001-B (〃)	

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
	B. 相模屋の場			179A B 180A B
15	茶屋 違い A. 八代駅の場 B. 松井内奥座敷の場	(中井)志賀酒家淡海・(駅 長)伊吹・(改札係)美賀 美・(松井)白石・(家令) 浪緑・(古城)曾我酒家十 太郎・(女中)中村綾子 〔陰囃子入〕 〔柝入〕	オリ Vb 黒	10-181A B 182A B
16	日 本 橋 A. 日本橋の場① B. 日本橋の場②	(清水)曾我酒家五郎 (山野)曾我酒家蝶六 〔陰囃子入〕	オリ I a 黒	10-183A B
17	旗行列の歌 A. 清水寺の場 B. 山岡内の場	曾我酒家五郎・蝶六・大 磯・秀蝶一座〔陰囃子入〕 〔柝入〕	コロ X a 黒	10-184A B 185A B
18	晩 餐 会	曾我酒家五九郎一座 〔洋楽入〕	リガ II a 黒	10-186A B
19	百 行 の 基 A. 浅間温泉の場 B. 西川会社焼跡の場	(西川)曾我酒家五郎・大 磯・蝶六・十童・笑将・ 五楽・三郎・小次郎・致 雄 〔陰囃子入〕 〔柝入〕	ニト I a 赤	10-187A B 188A B
20	良 心	曾我酒家五郎一座	オリ Vb 黒	10-189A B 190A B
21	若き日の影	曾我酒家五郎一座 〔陰囃子入〕	ニト I a 赤	10-191A B

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(3)	B. これ座頭さんあすこに見えて	2002-A (〃)	
(4)	ええもう表のおお客様まで忘れて	2002-B (〃)	
(5)	さあさあさ座頭さん	2003-A (〃)	
(6)	里は都のひつじさる」だれじゃ	2003-B (〃)	
(1)	A. 八代」八代」もしももし	3994-A (〃)	
(2)	B. 無礼者どこへ行くか」へい	3994-B (〃)	
(3)	おおた退屈でどもならんな	3995-A (〃)	
(4)	まあおじょうずでございますこと	3995-B (〃)	
(1)	A. 清水さん」え」こんな残念な	A 381 (〃)	
(2)	B. まちがいましたら御免	A 382 (〃)	
(1)	A. やいおのれどうぞ一文と *	25489-A (NE31305)	
(2)	あなたまことに失礼でございますが	25489-B (NE31306)	
(3)	B. どうも皆さん御心配を	25490-A (NE31307)	
(4)	林さんお手かずついでに	25490-B (NE31308)	
(1)	ときに野々山夫婦はどうした *	65749-A (73024)	作 津村京村
(2)	ええ畜生そんなやつだ *	65749-B (73025)	
(1)	A. おい宿屋の番頭さん」へえ	454-A (〃)	
(2)	どうだいあの順礼を買って	454-B (〃)	
(3)	B. おいだれかおらんか帰ったぞ	455-A (〃)	
(4)	おおお有松君か」おお西川	455-B (〃)	
(1)	だれですどなたですか	1959-A (〃)	
(2)	おいおいおい奥様変な事を	1959-B (〃)	
(3)	全くそうだわねえあかの他人の	1960-A (〃)	
(4)	おい今帰ったおい」ああだんな様	1960-B (〃)	
(1)	おかあさんこんにちは」おおおお	612-A (〃)	(1)キズ
(2)	まあ改まったなんじゃいな	612-B (〃)	

182 剣 劇

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
1	会津の小鉄	(小鉄)山口俊雄・(長次郎・佐七)吉田正雄・(お高)三好栄子・(黒川)中田正造・(又五郎)小笠原茂夫外新声劇一座 〔陰囃子入〕 〔柝入〕	オリ 赤 ヲa	10-201A B 202A B
2	清水治郎長 治郎長内の場	(治郎長)栗島狭衣・(おつね)葛城文子・磯川元春・川部五朗〔陰囃子入〕	オリ 赤 ヲb	10-203A B

183 中間演劇

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
1	国定忠治 赤城天神山の場	(忠治)沢田正二郎・(浅太郎)田中介二・(定八)金井謙之助・(惣次)中井哲・(円藏)野村清一郎・(巖鉄)小倉健男	ニト 赤 Ia	10-211A B 212A B
1	国定忠治 A. 赤城天神山の場 B. 山形屋の場	新国劇幹部連 〔陰囃子入〕	オリ 紫 ヲa	10-213A B 214A B
1	国定忠治 山形屋の場	沢田正二郎一座 〔陰囃子入〕	ニト 赤 Iv c	10-215A B 216A B
1	国定忠治 山形屋の場	沢田正二郎一座 〔陰囃子入〕	ニト 赤 Iv c	10-217A B 218A B
2	白野弁十郎 金光院の場	(白野)沢田正二郎・(村瀬)中井哲・(雷藏)南吉太郎・(千種)久松喜世子・(浄栄)二葉早苗 (陰) 音羽幸太郎社中	ビク 黒 Vb	10-219A B 220A B 221A B



詞	章	音 盤 番 号	備 考
(1) おいおい小鉄待て待て		3407-A (〃)	
(2) それでねえ小鉄さん」なんだい		3407-B (〃)	
(3) ばかにするねえ山賊ふぜいに		3408-A (〃)	
(4) 黙れ柏屋長次郎ならびに		3408-B (〃)	
(1) あの安五郎の親分様お客様で		2943-A (〃)	
(2) ほらよさ銭を持って行きな		2943-B (〃)	

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(1) ああ夜露のせいか急にひんやり		821-A (〃)	
(2) 川田屋のとっつぁん年をとり		821-B (〃)	
(3) 忠治どん何を隠そう		822-A (〃)	
(4) 円藏どんだね」さようで		822-B (〃)	
(1) A. 親分日光の円藏兄い今まで		60284-A (61219)	
(2) B. ああこれはまっぴら御免		60284-B (61220)	
(3) はあそうしてやりゃこの喜右衛門		60285-A (61221)	
(4) おれの名めえを手のひらに書き		60285-B (61222)	
(1) ああああ景気のいいのは		59098-A (リ 89)	名優追憶盤
(2) おめっちのような土っぽじりに		59098-B (リ 90)	[10—217] の前
(3) はあそうしてやりゃはあこの		59099-A (91)	編
(4) おれの名めえを手のひらに書き		59099-B (リ 92)	
(1) あああこれで一ついやなこたあ		59100-A (10)	名優追憶盤
(2) なあ藤藏」え」おめえも商売なら		59100-B (カ11)	[10—215] の続
(3) ですがお貸し元それじゃあ		59101-A (カ12)	編
(4) おうわけえ衆客人が呼んでるんだ		59101-B (カ13)	
(1) おお村瀬様大変でござります		50345-A (〃)	原作エドモン・
(2) ああ秋の落ち葉か」あの柔らかい		50345-B (〃)	ロスタン
(3) ほんにわたくし共はお互いに		50346-A (〃)	訳 楠山正雄
(4) 何もかもみんなあなたで		50346-B (〃)	補綴額田六福
(5) 雷蔵そんなに泣くなよおい		50347-A (〃)	
(6) あいはい月だおい村瀬		50347-B (〃)	

題名 番号	題 名	奏 演 者	題 紙	整理番号
3	城山の月 可愛ヶ岳の場	沢田正二郎一座	ニト I a 黒	10-222 A B
3	城山の月 城山洞窟の場	沢田正二郎一座	ニト I a 黒	10-223 A B
4	大菩薩峠 竜之助内の場	沢田正二郎一座	ニト I a 黒	10-224 A B 225 A B 226 A B 227 A B
4	大菩薩峠 庵原村寺の場	沢田正二郎一座	ニト I a 黒	10-228 A B 229 A B
5	月形半平太 A. 嬉し野門外の場 B. 井筒屋の場	沢田正二郎一座 〔陰囃子入〕	ニト I a 黒	10-230 A B 231 A B 232 A B
6	富岡先生 A. 富岡内の場 B. 裏山の場	(富岡) 沢田正二郎・(お種) 久松喜世子・(細川) 野村清一郎・(倉蔵) 根岸若之助・(お梅) 二葉早苗・(関沢) 佐藤一郎・(宇源次) 南吉太郎 (陰) 新国劇音調部員	ビク V b 黒	10-233 A B 234 A B
7	箕輪の心中 お時内の場	沢田正二郎一座 〔陰囃子入〕	ニト I a 黒	10-235 A B 236 A B

詞	章	音 盤 番 号	備 考
(1) ○○○○おはんも死なんか (2) わかりもしたもうこうなったら		1080-A(＼) 1080-B(＼)	
(1) おおい月でごわすの今夜は (2) 承知不承知を言う前にわしゃ		1081-A(＼) 1081-B(＼)	
(1) 豆腐なま揚げがなんもどき豆腐 (2) 尺八が聞こえているな (3) あなたその兵馬がおまえ様を (4) ええなりますともままになるなら (5) ええあのころの事をよく考えて (6) ときに吉田殿貴殿宇津木兵馬と (7) 今のねずみは仏壇の中へ (8) どうしてそんなでできる義理では		458-A(＼) 458-B(＼) 459-A(＼) 459-B(＼) 460-A(＼) 460-B(＼) 461-A(＼) 461-B(＼)	
(1) 机様たいそうお待ち申しました (2) 拙者ゆえにとんだ迷惑をかけて (3) ふぐたい天の兄のかたき (4) おおおまえは七兵衛さん		462-A(＼) 462-B(＼) 463-A(＼) 463-B(＼)	
(1) A. さあ○よ○○しをぬけて (2) もうお帰りでございますか (3) B. ちょうど良い所で会ったな (4) わしにとってはこの上もない (5) 受けてください」 ついでください (6) はかなかった恋の忘れがたみ		891-A(＼) 891-B(＼) 892-A(＼) 892-B(＼) 893-A(＼) 893-B(＼)	(4)キズ
(1) A. お嬢様」ええ」だんな様も (2) きさまわしの娘をねらっとるな (3) おとうさん」梅」はあ」志は (4) B. 先生先生」おとうさん		50360-A(＼) 50360-B(＼) 50361-A(＼) 50361-B(＼)	
(1) (陰)おおいつの間にやら日が (2) もしさっきのふみを見て (3) おもしろいと言えばいつもは (4) ふたりのためには結ぶの神の		537-A(＼) 537-B(＼) 538-A(＼) 538-B(＼)	

## 189 博多ニワカ

題名 番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
1	先祖の抵当	(金兵衛)印野久次郎・(良助) 博多玄海・(良助女房)浜田虎三 〔柀入〕	タイ I a 赤	10-241 A B

## 19 脚本朗読

題名 番号	題名	奏演者	題紙	整理番号
1	ハムレット 王城広間の場	(朗読) 坪内逍遙	コロ Xc 青	10-251 A B 252 A B
2	沓手鳥孤城落月 A. 大阪城奥殿の場 B. 石垣外の場 C. 桜門外の場	(朗読) 坪内逍遙	ポリ I a 赤	10-253 A B 254 A B 255 A B 256 A B 257 A B 258 A B 259 A B

詞	章	音盤番号	備考
(1)	良助さんおんなるな」おおなんごと	56596-A (16282)	作 浜田虎三
(2)	そこで物は相談じゃがなあ	56596-B (16283)	

詞	章	音盤番号	備考
(1)	ハムレット第三幕第一場	35389-A (M38135)	
(2)	世にある世にあらぬそれが	35389-B (M38136)	
(3)	御前おかたみの賜わり物をば	35390-A (M38137)	
(4)	ああ神様お正気にもどして	35390-B (M38138)	
(1)	A. ほととぎす孤城の落月	7501-A (3915 B F)	作 坪内逍遙
(2)	小車今も今とてその事	7501-B (3916 B F)	
(3)	この内常盤木懐刀を抜き	7502-A (3917 B F)	
(4)	なんじゃすがれすがれとは	7502-B (3919 B F)	
(5)	饗庭局このとき顔を上げて	7503-A (3920 B F)	
(6)	淀の方かっとなって淀君	7503-B (3921 B F)	
(7)	正栄尼見かねて正栄尼	7504-A (3922 B F)	
(8)	この途端大野修理亮*	7504-B (3923 B F)	
(9)	B. ほととぎす孤城の落月	7505-A (3924 B F)	
(10)	C. 第二場本丸桜門前	7505-B (3925 B F)	
(11)	市の正市の正いかに老病とは	7506-A (3926 B F)	
(12)	市の正じゅじゅ十兵衛	7506-B (3927 B F)	
(13)	出雲守すりゃいよいよ	7507-A (3928 B F)	
(14)	と大御所うなずき馬をとどめる	7507-B (3929 B F)	



付 録

音 盤 カ ー ド 記 入 規 定





## 音盤カード記入規定

(1965年4月1日制定)  
(1970年4月1日改正)

### 第一部 総 則

(カードの種類)

**第1条** カードの種類および色分けは次のように定める。

1. 基本カード A. 一般用=白色 B. 継ぎ足し用=淡青色
2. 分出カード=黄色
3. 組み物カード=淡赤色

(文字づかい)

**第2条** カードの記入は、漢字ひらがな交じり、現代かなづかいを用い、次の原則に従う。

1. 漢字の字体は当用漢字字体表による字体、またはそれに準ずる字体を用いる。
2. 送りがなはなるべく多く送る。

(分類)

**第3条** 音盤の分類は、別表1に掲げた部門・部類・部属・亜属の段階に分けて行なう。

(重複所蔵)

**第4条** 全く同じ音盤を重複して所蔵している場合は、それぞれについて基本カードを作る。

(二つ以上の演目)

**第5条** 音盤一枚に二つ以上の演目を含む場合は、演目ごとに基本カードを作る。

### 第二部 基本カード

#### 第一章 総 記

(形式および欄名)

**第6条** 基本カードの形式および各欄の名称を次のように定める(次頁掲載)。

(録音部分欄の不足)

**第7条** 一般用カードで録音部分欄が不足する場合は、継ぎ足し用カードを用いる。

(継ぎ足し用カードの記入)

**第8条** 継ぎ足し用カードに記入を要する欄は次のとおりである。

本見出し欄・分類欄・整理番号欄・演奏者欄・面順欄・詞章欄・音盤番号欄・備考欄

見出し欄 (かな見出し欄)	見出し欄 (本見出し欄)	分類欄	整理番号欄
演奏者欄		( )	
録音部分欄	音盤番号欄	方式欄	
(面順欄)	詞章欄		盤名欄
( )			
( )			題紙欄
( )			数欄
( )			発行欄
( )			状態欄
( )			原題欄
( )			備考欄

## 第二章 見出し欄

### 第一節 本見出し欄

(通則)

**第9条** 本見出し欄には演目の題名を記入し、必要な場合は場名・通称および注記を付記する。

(題名1)

**第10条** 題名は、第一字のみ点線の左におく。

(題名2)

**第11条** 題名は、題紙の記載にかかわらず別表2に掲げた名称に統一する。

(小演目)

**第12条** 独立した小演目に分割し得る演目においては、各小演目の題名を用いる。

例

喜 撰		
<		

(「六歌仙容彩」を用いない)

壺 坂 観 音 霊 験 記 <	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="height: 20px;"></td></tr> </table>				<table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="height: 20px;"></td></tr> </table>			

(「三十三所花野山」を用いない)

(種目名と演目名)

**第13条** 別表3に掲げた種目においては、種目名と演目名とを：を隔てて列記する。

例

鹿 踊 : 鉄 砲 <	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="height: 20px;"></td></tr> </table>				<table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="height: 20px;"></td></tr> </table>			

(場名1)

**第14条** 本来二場以上にわたる演目においては、その盤に収められている場の名称を題名の次に小文字で添記する。

例

一 谷 嫩 軍 記 直 実 陣 屋 の 場 <	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="height: 20px;"></td></tr> </table>				<table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="height: 20px;"></td></tr> </table>			

(場名2)

**第15条** 盤に収められている場が二場以上の場合は、A・B等と頭記して並記する。

例

一 谷 嫩 軍 記 A. 須 磨 の 浦 の 場 B. 直 実 陣 屋 の 場 <	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="height: 20px;"></td></tr> </table>				<table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="height: 20px;"></td></tr> </table>			

(場名3)

**第16条** 場の名称は、地名・建物名等を用い、事件名等の通称を用いない。



要とする場合は、題名の下に<< >>に入れて付記する。

例

鉢 木 ↓ <<小話>>		
--------------------	--	--

越 天 楽 ↓ <<盤沙調>>		
-----------------------	--	--

ただし通称をも記入する場合は、通称の右に列記する。

例

壇 浦 兜 軍 記 堀川御所の場 ↓ <<琴責>> <<掛合>>		
--	--	--

## 第二節 かな見出し欄

(通 則)

**第21条** かな見出し欄には、本見出し欄に記入した題名の発音を記入する。

(文字づかい)

**第22条** 記入は第2条にかかわらず次の文字づかいによる。

1. かたかなを用いて発音どおりに記入する。
2. 促音は、ツを用い、小字にはしない。
3. 拗音は、ヤ・ユ・ヨを用い、小字にはしない。
4. 長音は、長音記号を用いず、かなを重ねて記入する。

例

シヨオ ウツシ  生 写 朝 顔 話 ↓ <		
---------------------------------------	--	--

(記入すべき文字)

**第23条** 記入すべき文字が三文字を越える場合は、四文字以下を二行目に記入し、六文字を越える場合は、七文字以下を省略する。

例

フジム スメ	藤 娘		
-----------	-----	--	--

シンジ ユウテ	心 中天網島		
------------	--------	--	--

### 第三章 分類欄

(通 則)

**第24条** 分類欄には、第一段に分類番号、第二段に種目名、第三段に流派名を記入する。

例

111
能
金 春 流

(分類番号)

**第25条** 分類番号は、別表1に掲げたものを用いる。

(種目名)

**第26条** 種目名は、別表1に掲げたものを用いる。

### 第四章 整理番号欄

(通 則)

**第27条** 整理番号欄は、上段に収蔵箱の番号、下段に各箱内の音盤の番号をおのおの洋数字で記入する。

(二枚以上の演目)

**第28条** 一演目が二枚以上にわたる場合は、最初の音盤の番号と、最後の音盤の番号とを～でつなぐ。

(音盤の表裏)

第29条 一枚の音盤の表裏ともに音がはいっている場合は、表面をAとし、裏面をBとする。

## 第五章 奏 演 者 欄

(通 則)

第30条 奏演者欄には、奏演者名を記入し、各奏演者の役割を小字で頭記する。ただし、演劇的な演目における役名は( )に入れる。

例

シコロ ビキ	録 引		
奏 演 者	(景清)市川猿之助<Ⅱ>・(美保谷)市川寿美蔵<Ⅳ> 歌 芳村伊七郎・三 杵屋栄蔵・囃子連中		

ダンノ ウラカ	壇 浦 兜 軍 記 堀川御所の場		
奏 演 者	歌 豊竹つばめ太夫<Ⅱ> 三 豊沢仙糸<Ⅳ>・竹沢団二郎<Ⅲ> 琴 竹沢団二郎<Ⅲ>		

(姓 名)

第31条 奏演者名は、題紙の記載に従ってその姓と名とを列記する。

(冠 称)

第32条 名に花街の地名等を冠する習慣のあるものは、姓に準じて扱う。

例

奏 演 者	歌 南地菊枝
-------	--------

(襲名・改名等)

第33条 襲名・改名等のために、同一人に二つ以上の姓または名がある場合も、題紙に記載してある姓名を記入し、統一は行なわない。

(紛れやすい奏演者名)

第34条 題紙の奏演者名のみでは紛れやすい場合は、代数・屋号等を〈 〉に入れて小字で添記する。代数はローマ数字を用いる。

例

奏 演 者	歌	竹本津太夫<Ⅲ>
	三	鶴沢友次郎<Ⅵ>

奏 演 者	(尾上) 中村福助<Ⅳ><高砂屋>
-------	-------------------

(代 数)

第35条 前条における代数の数え方は、別表4に掲げたものを用い、必ずしも題紙の記載に従わない。

(誤 字)

第36条 題紙の奏演者名に誤りがある場合は、題紙の記載どおり転記し、誤りの次に〈 〉に入れて訂正する。

例

奏 演 者	歌	常盤<磐>津松尾太夫
	三	常盤<磐>津文字兵衛

奏 演 者	(与三郎) 中村<市村>羽左衛門
-------	------------------

(推定による姓名1)

第37条 題紙に奏演者の姓または名の一方が省かれている場合は、その推定が可能ならば、〈 〉に入れて補う。

例

シコロ ビキ	録 引 ↓ <		
奏 演 者	(景清)<市川>猿之助<Ⅱ>・(美保谷)<市川>寿美藏<Ⅵ>		



(推定による姓名<sup>2</sup>)

**第38条** 題紙にない奏演者名を、奏演自体または他の資料等から知り得た場合は、奏演者名を< >に入れて補い、次にその根拠を( )に入れて付記する。

ただし音盤に添えられたパンフレットの記載は、題紙に記載されたものと見なし、記入を行ない、< >( )は用いない。

(集団名)

**第39条** 題紙に奏演者の所属集団名のみが記載されていて、個々の奏演者名が明記されていない場合は、その集団名を記入する。

例

奏 演 者	沢田正二郎一座
-------	---------

(役 割)

**第40条** 役割はなるべく簡単に記入し、下記の場合は略記号を用いる。

歌	= 歌	唱	囃	= 囃	子
三	= 三	味 線	小	= 小	鼓
三(上)	= 三味線の上調子		大	= 大	鼓
胡	= 胡	弓	太	= 太	鼓

例

奏 演 者	歌 都 一 舟
	三 都 一 花

(役 名)

**第41条** 演劇的な演目における役名は、姓・名いずれか通りのよい方を用い、統一は行なわない。

(注 記)

**第42条** 題紙に次の事項が記載してあり、特に必要と認められる場合は、役割の次に小字で記入する。

1. 奏演者の居住地
2. 奏演者の所属集団名
3. 奏演者の肩書

例

奏 演 者	歌 青森 成 田 雲 竹
-------	--------------

奏 演 者	歌 三 宮里春行研究所 照喜納朝一・大城助吉
-------	------------------------

奏 演 者	歌 日本芸術院会員 豊竹山城少掾 三 鶴沢藤藏
-------	----------------------------

(奏演者記入の順序 1)

**第43条** 音楽の場合、奏演者名の記入は、次のように段を変えて行なう。

第一段 歌唱者 第二段 楽器奏者 第三段 その他の者

(奏演者記入の順序 2)

**第44条** 演劇に音楽の伴奏がある場合は、伴奏者の記入は段を変えて行なう。

(掛合演奏)

**第45条** 二種目以上にわたる掛合演奏の場合は、種目ごとに段を変えて記入し、同一種目内で役割が異なるごとに・(中黒丸)を置く。ただし、その演奏に共通の伴奏がある場合は最下段に記入する。

例

奏 演 者	清元 歌 清元延寿太夫・三 清元梅吉
	長唄 歌 大薩摩文太夫・三 杵屋六左衛門
	囃 望月太意之助社中

(掛合の種目順)

**第46条** 前条における各種目の順序は次のとおりである。

	1	2	3
浄 瑠 璃 と 唄 物 の 場 合	浄 瑠 璃	唄 物	
浄 瑠 璃 同 士 の 場 合	常 磐 津	清 元	義 太 夫

(指揮者・演出者等)

**第47条** 指揮者名・演出者名・解説者名等が題紙に記載されている場合は、最下段に指揮・演出・解説等と小字で頭記して記入する。

(奏演者の交替)

第48条 一演目が二面以上にわたり、かつ途中で奏演者が変わる場合は、面順を( )に入れて頭記する。

例

奏 演 者	歌 鈴木兎雀 三 (1～6)野沢松之輔・(7～8)野沢勝之助
-------	-----------------------------------

(欄末注記)

第49条 奏演者に関して、上記以外に記入を必要と認めた場合は、欄末の( )内に記入する。

例

奏 演 者	歌 竹 本 東 広 三 豊 沢 仙 平 (ツレ弾入)
-------	-------------------------------

奏 演 者	歌 佐 藤 松 子 三 藤 本 秀 夫 (解 説 入)
-------	--------------------------------

(継ぎ足し用カードの記入)

第50条 継ぎ足し用カードの奏演者欄は、各役割の筆頭者一名のみを記入する。

## 第六章 録音部分欄

### 第一節 面 順 欄

(通 則)

第51条 面順欄には、面の順序を洋数字で記入する。

(欠 面)

第52条 欠面がある場合は、その部分に一行を設け、\*を記入する。

例

録	音	部	分
(1)	連れて行くわき能過ぎて～もっともじゃがそこをおわび		
(2)	その時はどうやられた～節直めあやまっておるぞ		
(*)			
(5)	御酒下されても飲まいでも～と死にますかのふなが		

(*)	
(8)	御用あらば表へ回れ ~ わっとばかりに泣き沈む
( )	
( )	

## 第二節 詞 章 欄

(通 則)

第53条 詞章欄には、各面の詞章の始めと終わりとを記入して ~ でつなぐ。

例

(1)	いざさらば空行くかりに ~ 送るよすがのありやしやと
-----	----------------------------

(記入の範囲)

第54条 詞章の記入は、始めも終わりも五・七音節分、七・五音節分程度とする。

例

(1)	春がすみたなびきにけり ~ 月も曇らぬ日の本や
-----	-------------------------

(二場面以上の演目)

第55条 二場面以上を収めた演目の場合は、各場面の始めに、本見出し欄と関連づけてA・B等と頭記する。ただし場面の変わり目が盤の途中にある場合も、各面の始めにA・B等と頭記する。

例

イガゴ エドオ	伊 賀 越 道 中 双 六	A. 沼津宿はずれの場 B. 平作内の場
◁ 沼津 ▷		
奏 演 者		
録 音 部 分		
(1)	A. あずま路にここも名高き ~ おかごやろかい参ろうか	
(2)		

(3)	
(4)	
(5)	
(6)	B. 道のときする笑い草 ～ こぼれかかりしわら屋ぶき
( )	
( )	

(二部分以上の演目1)

**第56条** 二つ以上の部分からなる演目の場合は、各部分の始めに、本見出し欄と関連づけて、A・B等と頭記する。ただし、部分の変わり目が盤の途中にある場合も、各面の始めにA・B等と頭記する。

(二部分以上の演目2)

**第57条** 第18条のただし書きによって、詞章欄に部分の名称を記入する場合は、A・B等と書いた次に各部分の名称等を( )に入れて頭記する。

例

ゴセツ ク	五 節 句 ↓ <
奏 演 者	
録	音 部 分
(1)	A. (人日) あらたまの年を迎えて～松のうちこそめでたけれ
(2)	B. (上巳) 草の戸も住みかわる代ぞ～ひなの遊びぞおもしろき
(3)	C. (端午) 矢車のさやかなる音～ゆゆしかりけるしだいなり
(4)	D. (七夕) かじの葉に書く恋文の～影を落して流れ行く
(5)	E. (重陽) 菊酒のかおりゆかしき～千代万歳と祝いける
( )	
( )	
( )	

(奏演の省略)

**第58条** 奏演が、途中一部分を省略した形でなされている場合は + の記号を用いて明示する。

1. 盤の途中に省略がある場合は、～の代りに + を用いる。

例

(1)	むざんやな半七は + ここに移してとどめけり
-----	------------------------

2. 二つの面の間に省略がある場合は、あとの面の詞章の頭に + を置く。

例

(1)	半兵衛宗岸母親も + 月はさゆれど胸のやみ
(2)	+ むざんやな半七は + ここに移してとどめけり

(習慣上の省略)

**第59条** 習慣上常に省略して奏演する部分については前条に従わない。

(聞きとれない詞章)

**第60条** 書き取るべき詞章が全く聞きとれない場合は、その部分に ? と記入する。

一部分だけ不分明で聞きとれない場合は、その音節の数ほど ○ を記入する。

例

(1)	? ～ おん敵退散一切じょうじゅ
-----	------------------

(1)	○○○就じゅ奉る ～ おん敵退散一切じょうじゅ
-----	-------------------------

(役の替わり目)

**第61条** 書き取るべき部分に、せりふの役替わりがある場合は、替わり目に 」を記入する。

例

(1)	道は二筋二人の心 ～ じゃ待ってますよ」ええさよなら
-----	----------------------------

(題・口上・合方・解説等)

**第62条** 書き取るべき部分に詞章以外のものが含まれている場合は、次のように記入する。

1. 始めに題・口上・解説等がはいっている場合は、詞章の前に(序)と記入する。

例

(1)	(序)み代は治まり文明開化の～阿呆陀羅經はこれで預り
-----	----------------------------

2. 一面の始めまたは終わりに長い合方・出囃子・陰囃子がはいっている場合は、詞章の前またはあとに(合)・(囃)・(陰)等と記入する。

例

(1)	そでうち払う軒宿り～とがむる人もあらしにつれ(合)
-----	---------------------------

(1)	(囃)恋と忠義は十 大和路さして
-----	------------------

3. 一面全部が合方の場合は、(合)と記入する。

例

(1)	(合)
-----	-----

4. 笑い声・泣き声等がはいっている場合は、(笑)・(泣)等と記入する。

例

(1)	さあ聞かそうかね～おかみさんにでもなるかね(笑)
-----	--------------------------

(声色・物真似等)

第63条 声色・物真似等の場合は、詞章の代りに役者名・物の名等を記入する。

例

コワイ ロシテ	声 色 七 段 返 し ◀
奏 演 者	
録 音 部 分	
(1)	(幹当)片岡仁左衛門(六段目)市村羽左衛門
(2)	(国性爺)市川左団次
(3)	(山姥)市川中車(先代萩)中村吉右衛門

(解説)

第64条 解説を主とするものは、その内容を要約して記入する。

例

ギダユ ウフシ		義太夫 節と手順 上巻	
奏 演 者		歌 三 豊 沢 広 助<Ⅶ>	
録		音 部 分	
(1)	オクリ		
(2)	小オクリ・ウキオクリ・ギンオクリ		
( )			
( )			
( )			
( )			
( )			
( )			

(器楽等)

第65条 器楽等の演奏で、詞章のまったくないものは、(詞章ナン)と記入する。

### 第七章 音 盤 番 号 欄

(通 則)

第66条 音盤番号欄には、題紙にしるされた番号のうち発行番号を記入し、そのあとに、音盤に打込まれた番号のうち製作番号を( )の中に記入する。

例

12701 (E370)

(発行番号と製作番号との重複)

第67条 発行番号と製作番号とが同じ場合は、製作番号は(〃)と記入する。

例

50139—A(〃)



(二種以上の番号)

**第68条** 二種以上の番号がある場合は、並記する。

例

10437 (14447 56143-A)
--------------------------

(無番号)

**第69条** 発行番号または製作番号がない場合は、ナシと記入する。

例

ナ シ (1270)
------------

1270 (ナ シ)
------------

ナ シ
-----

## 第八章 方式欄

(通則)

**第70条** 方式欄には、音盤の方式・規格等を記入する。記入は、該当する略記号を○で囲んで行なう。

(略記号)

**第71条** 前条の略記号は次のとおりとする。

立 = 立体方式
普 = 普通方式
S = S P 盤
E = E P 盤
L = L P 盤
30 = 30センチ盤

(盤の大きさ)

**第72条** 25センチ盤は、盤の大きさに関する記入を省き、その他の大きさの盤は、その規格を30センチ盤に準じて記入する。

## 第九章 盤名欄

(通則)

**第73条** 盤名欄には、音盤名を記入する。記入は該当する略記号を○で囲んで行なう。

(略記号)

**第74条** 前条の略記号は次のとおりとする。

オリ＝オリエント  
 コロ＝コロンビア  
 タイ＝タイヘイ  
 テイ＝テイチク  
 トキ＝トオキヨオ  
 ニト＝ニツトオ  
 ニボ＝ニツポノホン  
 ビク＝ビクタア  
 ヒコ＝ヒココキ  
 ホガ＝ホオガク  
 ポリ＝ポリドオル  
 ライ＝ライロホン  
 リガ＝リイガル

(略記号を用いない音盤名)

**第75条** 前条に掲げてない音盤の場合は、その音盤名を省略せずに記入する。この場合の文字づかいは第22条に従う。

## 第十章 題 紙 欄

(通 則)

**第76条** 題紙欄には、題紙の地色と様式とを記入する。色の記入は、該当する色名を○で囲んで行なう。様式の記入は別表5(A)に掲げた記号を用いる。

(色 名)

**第77条** 前条の色名は次のとおりとする。

白・赤・橙・緑・青・紫・黒・黄・茶・桃・灰

(表裏色ちがいの盤)

**第78条** 盤の表裏の題紙の地色が異なる場合は、それぞれの色名を、前条・前前条に従って記入する。

例

題	紙	白	⊕	橙	⊕	青	紫	黒	黄	茶	桃	灰	様式
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

(多 色)

**第79条** 地色に二色以上を使用したものは、「多色」と記入する。

## 第十一章 数 欄

(通則1)

**第80条** 数欄には、所蔵の枚数・面数を洋数字で記入し、欠面の有無を付記する。

(通則2)

第81条 そろっているものは( )内の揃の記号を○で囲み、欠面のあるものは欠けている面の数を記入する。

## 第十二章 発行欄

(通則)

第82条 発行欄には、音盤の発行年月が明らかなものについて、その年月を洋数字で記入する。年は西暦を用いる。

## 第十三章 状態欄

(通則)

第83条 状態欄には、音の状態を記入し、必要な場合は、盤の破損状態を( )の中に付記する。

(音の状態の記号)

第84条 音の状態の記入は、良・並・劣の三段階の記号のうち該当するものを○で囲んで行なう。

(良否の判定)

第85条 状態の良否は、音の忠実度・分明度・針音の有無等から総合的に判断する。

(破損状態の略記号)

第86条 盤の破損状態は、次のような略記号を用いて記入する。

ソリ＝盤のそっているもの
ヒビ＝盤にひびのはいつているもの
カケ＝盤の縁の欠けているもの
キズ＝盤面にきずのあるもの
カビ＝盤面のかびの除き得ないもの
スレ＝盤面がすり減っているもの

## 第十四章 原題欄

(通則)

第87条 原題欄には、題紙記載の題名をそのまま転記する。この場合、題紙の誤字は改めない。

(角書・場名等)

第88条 題紙記載の角書・場名等は小字で記入する。

(二演目以上の記載)

第89条 題紙に二演目以上の記載がある場合は、それぞれの題名の間に・を置いて列記する。

## 第十五章 備 考 欄

(通 則)

第90条 備考欄には、上記以外の必要と認められる事項を記入する。

(記入事項)

第91条 備考欄に記入すべきおもな事項は次のとおりである。

1. 題紙に作詞者・作曲者等の記入がある場合は、作詞・作曲等と頭記して姓名を記入する。
2. 裏面の題名が異なるものは、「裏は」と頭記し、次に題紙記載の題名を記入する。
3. 舞踊用に吹き込んであるものは「舞踊用」と記入する。
4. アルバムにはいつているものは「アルバム入」と記入する。
5. 組み物は、組み物の表題を記入し、そのあとに(組)と添記する。

例

日本の民謡 (組)

6. 他に全く同じ音盤を重複して所蔵してあるもの等は、その整理番号を、次のような略記号を頭記して記入する。

≡ 全く同じもの  
= 同原版の異版または異装  
≡ 同音源の別原版  
↔ 同原版の異版または異装同士で欠面を補い得るもの

整理番号は、箱の番号と音盤の番号を—(ハイフン)を隔てて列記する。—演目が二面以上にわたる場合は、最初の盤の番号を〔 〕で囲んで記入し、その演目の代表番号とする。

例

= 2-160

≡ [6-135]

(継ぎ足し用カード)

第92条 継ぎ足し用カードの備考欄には、継ぎ足し用カードの記入内容に関するもののみを記入する。

第三部 分出力ード

(略)

第四部 組み物力ード

(略)

別表1 音盤分類表

(分類番号と分類名は左欄に記した。  
種目名は〔 〕に入れ、注とともに右欄に記した。)

		136 (欠)	
1 演 劇		137 郷土歌舞伎	
		138 素人歌舞伎	
10 演劇一般		139 歌舞伎雑	
11 能		14 人形劇	〔24三味線楽〕に属さないもの。
110 能一般		15 新 派	
111 本流能	〔能〕。新作能・新様式能を含む。	150 新派一般	
112 (欠)		151 本流新派	〔新派〕。
113 (欠)		152 (欠)	
114 (欠)		153 (欠)	
115 (欠)		154 (欠)	
116 (欠)		155 (欠)	
117 郷土能	〔黒川能〕〔能様〕など。	156 (欠)	
118 素人能		157 (欠)	
119 能 雑		158 (欠)	
12 狂 言		159 新派雑	
120 狂言一般		16 新 劇	
121 本流狂言	〔狂言〕。新作狂言・新様式狂言を含む。	160 新劇一般	
122 (欠)		161 本流新劇	〔新劇〕。
123 (欠)		162 (欠)	
124 (欠)		163 (欠)	
125 (欠)		164 (欠)	
126 (欠)		165 児童劇	〔児童劇〕。児童による劇と児童のための劇を含む。
127 郷土狂言	〔黒川能〕〔狂言様〕など。	166 外国語劇	外国人によるその母国語の劇を含む。
128 素人狂言		167 (欠)	
129 狂言雑	〔山口狂言〕など。	168 素人新劇	
13 歌 舞 伎		169 新劇雑	
130 歌舞伎一般		17 民族演劇	〔京劇〕など。
131 本流歌舞伎	〔歌舞伎〕。新歌舞伎を含む。	18 大衆劇	
132 (欠)		180 大衆劇一般	
133 (欠)			
134 (欠)			
135 (欠)			

- 181 輕演劇 [輕演劇]。曾我廼家劇・松竹家庭劇・ムーランルーシェ劇など。
- 182 劍劇 [劍劇]。女劍劇を含む。
- 183 中間演劇 [中間演劇]。新国劇・前進座劇・東宝現代劇など。ただし[歌舞伎]を除く。
- 184 (欠)
- 185 (欠)
- 186 ショー [ショー]。オペレッタ・レビュ・ミュージカル・歌手ショーなど。
- 187 (欠)
- 188 (欠)
- 189 大衆劇雜 [照葉狂言] [博多ワカ]など。
- 19 演劇雜 [脚本朗読] [延年] [組踊]など。
- ## 2 音楽
- ### 20 音楽一般
- ### 21 雅楽
- 210 雅楽一般
- 211 本流雅楽 [舞楽] [管絃] [和舞] [催馬楽] [朗詠] [神楽] [東遊]など。
- 212 (欠)
- 213 (欠)
- 214 (欠)
- 215 (欠)
- 216 (欠)
- 217 郷土雅楽 [舞楽様]など。
- 218 (欠)
- 219 雅楽雜 [歌披講]など。
- ### 22 中世音楽
- 220 中世音楽一般
- 221 声明 [声明]。伽陀・講式・論義・念仏・和讃などを含む。
- 222 平曲 [平曲]。
- 223 幸若舞 [幸若舞]。
- 224 (欠)
- 225 (欠)
- 226 (欠)
- 227 郷土中世音楽 [盲僧琵琶] [筑紫等]など。
- 228 (欠)
- 229 中世音楽雜 [今様] [一節切] [天吹]など。
- ### 23 近世音楽
- 230 近世音楽一般
- 231 三曲楽
- 0 三曲楽一般
- 1 地唄および生田箏 [三味線組唄] [地唄・生田箏]。
- 2 山田箏 [山田箏]。
- 3 その他の箏曲 [京極箏]など。
- 4 尺八曲 [尺八] [普化尺八] [道分尺八]など。
- 5 (欠)
- 6 新三曲楽 [新箏曲]など。
- 7 郷土三曲楽 [琉球箏]など。
- 8 (欠)
- 9 三曲楽雜 [胡弓] [箏長唄]など。
- 232 琵琶楽
- 0 琵琶楽一般
- 1 薩摩琵琶 [薩摩琵琶]。錦心流を含む。
- 2 錦琵琶 [錦琵琶]。
- 3 筑前琵琶 [筑前琵琶]。
- 4 (欠)
- 5 (欠)
- 6 (欠)
- 7 (欠)
- 8 (欠)
- 9 琵琶楽雜
- 233 琴楽
- 0 琴楽一般
- 1 一絃琴 [一絃琴]。
- 2 八雲琴 [八雲琴]。
- 3 東琴 [東琴]。
- 4 (欠)
- 5 (欠)
- 6 (欠)
- 7 (欠)
- 8 (欠)
- 9 琴楽雜

- 234 明清楽 [明清楽]。 —5 (欠)
- 235 (欠) —6 (欠)
- 236 (欠) —7 郷土義太夫節
- 237 (欠) —8 素人義太夫節
- 238 (欠) —9 義太夫節雜
- 239 近世音楽雜
- 24 三味線楽 [地唄]は231三曲楽。
- 240 三味線楽一般
- 241 河東節・一中節
- 0 (欠)
- 1 河東節 [河東節]。
- 2 一中節 [一中節]。
- 3 (欠)
- 4 (欠)
- 5 (欠)
- 6 (欠)
- 7 (欠)
- 8 (欠)
- 9 (欠)
- 242 豊後節
- 0 豊後節一般
- 1 宮園節 [宮園節]。
- 2 新内節 [新内節][新内流し]。
- 3 常磐津節 [常磐津節]。
- 4 富本節 [富本節]。
- 5 清元節 [清元節]。
- 6 (欠)
- 7 (欠)
- 8 (欠)
- 9 豊後節雜
- 243 義太夫節 [義太夫節]。
- 0 義太夫節一般
- 1 本流義太夫節
- 2 女義太夫節
- 3 チヨボ義太夫節
- 4 (欠)
- 5 (欠)
- 6 (欠)
- 7 (欠)
- 8 (欠)
- 9 長唄雜
- 244 長唄
- 0 長唄一般
- 1 本流長唄 [長唄]。
- 2 大薩摩節 [大薩摩節]。
- 3 萩江節 [萩江節]。
- 4 (欠)
- 5 (欠)
- 6 (欠)
- 7 (欠)
- 8 (欠)
- 9 長唄雜
- 245 三味線小曲
- 0 三味線小曲一般
- 1 端唄 [端唄]。
- 2 歌沢 [歌沢]。
- 3 小唄 [小唄]。
- 4 俗曲 [俗曲]。曲弾・浮世節・御座付などを含む。
- 5 (欠)
- 6 (欠)
- 7 (欠)
- 8 (欠)
- 9 三味線小曲雜 [豊本節]など。
- 246 新三味線楽 [新三味線楽][東明節]など。
- 247 郷土三味線楽 [奥浄瑠璃][説経節][文弥節][津軽三味線][奄美三線][琉球三線][俗曲様]など。
- 248 (欠)
- 249 三味線楽雜 [源氏節]など。
- 25 新日本音楽 日本楽器を主奏とした新作曲理念による音楽。現代邦楽を含む。
- 26 西洋音楽 [歌曲]など。歌劇の歌唱を含む。



27 民族音楽

28 大衆音楽

〔和洋合奏〕。洋楽器のみの演奏を含む。  
〔歌謡曲〕。演歌・国民歌謡・新民謡・軍歌・国歌・校歌などを含む。

29 音楽雑

〔詩吟〕〔吉備楽〕など。

### 3 舞踊

30 舞踊一般

31 日本舞踊

32 〔欠〕

33 〔欠〕

34 〔欠〕

35 新日本舞踊

36 西洋舞踊

37 民族舞踊

38 大衆舞踊

39 舞踊雑

### 4 巷間芸能

40 巷間芸能一般

41 話芸

410 話芸一般

411 落語

〔落語〕。人情噺・音曲噺を含む。

412 講談

〔講談〕。

413 浪花節

〔浪花節〕。

414 〔欠〕

415 新話芸

〔漫談〕〔物語〕など。

416 〔欠〕

417 郷土話芸

〔祭文〕〔口寄〕〔オモロ〕など。

418 〔欠〕

419 話芸雑

〔阿呆陀羅経〕など。

42 寄席芸

〈41話芸〉〈43見世物芸〉に属さないもの。

420 寄席芸一般

421 漫才

〔漫才〕。

422 声色・物真似

〔声色〕〔物真似〕。

423 八人芸・百面相

424 〔欠〕

425 寄席噺子

〔寄席噺子〕。噺子のみ取りあげる場合。

426 西洋寄席芸

ストリップショーなど。

427 民族寄席芸

428 〔欠〕

429 寄席芸雑

43 見世物芸

430 見世物芸一般

431 太神楽・曲芸

〔太神楽〕など。

432 奇術・手品

寄席で行なうものを含む。

433 機関・活人形

434 片輪者・珍獣

435 見世物噺子

〔見世物噺子〕。噺子のみ取り上げる場合。

436 西洋見世物

サーカス・アイスショーなど。

437 民族見世物

438 〔欠〕

439 見世物芸雑

44 〔欠〕

45 〔欠〕

46 〔欠〕

47 〔欠〕

48 [欠]

49 巷間芸能雑

### 5 郷土芸能

50 郷土芸能一般

51 神楽芸

宮廷神楽を除く。

510 神楽芸一般

511 採物神楽

[巫女神楽][出雲流神楽][神楽神楽][太々神楽][里神楽][法印神楽]など。

512 湯立神楽

[湯立神楽][花祭][遠山祭][湯立獅子舞]など。

513 獅子神楽

[代神楽][山伏神楽][番楽][能舞]など。

514 (欠)

515 (欠)

516 (欠)

517 (欠)

518 (欠)

519 神楽芸雑

52 風流芸

狂言風流・延年風流を除く。

520 風流芸一般

521 念仏踊

[念仏踊][ホウカ][念仏狂言][剣舞][ジャンガラ念仏][願入踊][歌念仏][天道念仏]など。

522 太鼓踊

[太鼓踊][浮立][染][白太鼓][ザンザカ踊][カンコ踊][雨乞太鼓][曲太鼓]など。

523 獅子踊

[獅子踊][鹿踊][角兵衛獅子][八鹿踊][五鹿踊]など。

524 小歌踊

[小歌踊][抱猪踊][鹿島踊]など。

525 盆踊

[盆踊]。

526 綾踊

[太刀踊][棒踊][銭太鼓][笠踊][傘踊][皿踊][録踊][鯨踊][權踊]など。

527 奴踊

[奴踊][荒踊][台笠]など。

528 練物

[駒踊][八月踊][餅搗踊][唐子踊][巻踊]など。

529 風流芸雑

53 田楽芸

530 田楽芸一般

531 田楽

[田楽]。

532 田遊

[田遊]。

533 田植踊

[田植踊][エンブリ]など。

534 田植神事

[田植神事][囃田]など。

535 (欠)

536 (欠)

537 (欠)

538 (欠)

539 田楽芸雑

54 門付芸

[万歳][春駒][大黒舞][猿回][鳥追]など。

55 [欠]

56 [欠]

57 [欠]

58 [欠]

59 郷土芸能雑

### 6 郷土音楽

60 郷土音楽一般

61 作業唄

610 作業唄一般

611 農業唄

[田唄][畠唄][野山唄][農産加工唄]など。

612 漁業唄

[海上唄][海辺唄][漁産加工唄]など。

613 林業唄

[伐採唄][林産加工唄]など。

614 鉱業唄

[鉱石採取唄][鉱産加工唄]など。

615 牧畜唄

[牧場唄]など。

616 土木建築唄

[建築唄][木遣唄][埋立唄]など。

- 617 往来唄 [馬方唄][牛方唄][荷運唄][船漕唄][物売唄]など。
- 618 (欠)
- 619 作業唄雑
- 62 祭事唄 [祭礼唄][年中行事唄]など。
- 63 祝唄 [祝宴唄]など。
- 64 童唄 [子守唄][遊戯唄]など。
- 65 興唄 [興唄]。
- 66 郷土囃子 [祭囃子]など。
- 67 [欠]
- 68 [欠]
- 66 郷土音楽雑

## 7 その他の芸能

### 70 その他の芸能一般

- 71 映画 [映画]。無声映画をレコード化したものを含む。
- 72 放送芸能 放送専用に使われたもの。
- 73 [欠]
- 74 [欠]
- 75 [欠]
- 76 [欠]
- 77 [欠]

### 78 [欠]

### 79 その他の芸能雑

## 8 その他

### 80 その他一般

- 800 芸能以外の録音一般
- 801 詩文朗読
- 802 祝悼辞・式辞
- 803 講演・講義
- 804 実況描写
- 805 遊覧説明
- 806 (欠)
- 807 (欠)
- 808 実音録音
- 809 芸能以外の録音雑

## 音盤分類表作成要項

- 第 1 条 音盤分類表では、当研究所の所蔵する音盤の整理に便なことを目的として、芸能の種目を分類する。その際、所蔵する他の資料の分類との関連性に注意を払う。
- 第 2 条 前条の目的と注意とに従って、あるいは数個の種目を合わせて一つの分類とし、あるいは一つの種目を分けて数個の分類とする。
- 第 3 条 最上位の分類を部門、次位の分類を部類、さらに次位の分類を部属と呼ぶ。
- 第 4 条 分類番号には 3 ケタの数字を用い、第 1 数字を部門、第 2 数字を部類、第 3 数字を部属に当てる。
- 第 5 条 必要な場合は、一つの部属をさらに小さく細分類する。この細分類を亜属と呼ぶ。
- 第 6 条 前条の細分類には — 印を前に置いた 1 ケタの数字をあてる。
- 第 7 条 部門および部類の番号および名称は、当研究所の所蔵する図書・文献索引・録音テープ・写真・映画・新聞切抜きその他の資料の分類と一致させる。
- 第 8 条 部属および亜属の番号および名称は、当研究所の所蔵する録音テープの分類と一致させる。
- 第 9 条 各段階の分類および細分類を通じ、次の語を次の意味に用いて名称を定める。
- 一般 その分類の中の二つ以上の下位分類に共通する内容をさす。
  - 雑 その分類に属しながら、どの下位分類にも属さない内容をさす。
  - 本流 中央の芸能界における専門の奏演者によって奏演される芸能をさす。
  - 郷土 小地域においてだけ奏演される芸能をさす。
  - 西洋 ヨーロッパ文化圏において成立し、広い範囲に行なわれている芸能をさす。
  - 民族 日本民族以外の特定の民族の中で成立した芸能をさす。
- 第 10 条 各段階の分類および細分類を通じ、数字を意味つけて用いるときは、次の意味に用いる。

0	一般	5	新様式
1	常態	6	西洋
2		7	民族または郷土
3		8	大衆または素人
4		9	雑

第 11 条 音盤分類表の注記、およびこれと関連のある解説・注記等においては、芸能の種目名は〔 〕印でくくり、分類番号および分類名は〈 〉印でくくるものとする。

別表2 題名場名表(演劇)

## 11 能

題名 番号	題名	表音	題名 略号	別名
1	嵐山	アラシヤマ	嵐山	
2	蟻通	アリドオシ	蟻通	
3	杜若	カキツバタ	杜若	
4	加茂	カモ	加茂	賀茂
5	鞍馬天狗	クラマテング	鞍馬	
6	小督	コゴオ	小督	
7	胡蝶	コチヨ	胡蝶	
8	桜川	サクラガワ	桜川	
9	隅田川	スミダガワ	隅田	角田川
10	殺生石	セツシヨオセキ	殺生	
11	高砂	タカサゴ	高砂	
12	竹生島	チクブシマ	竹生	
13	忠霊	チュウレイ	忠霊	
14	鶴亀	ツルカメ	鶴亀	月宮殿
15	天鼓	テンコ	天鼓	
16	融	トオル	融	
17	難波	ナニワ	難波	
18	羽衣	ハゴロモ	羽衣	
19	鉢木	ハチノキ	鉢木	
20	花筐	ハナガタミ	花筐	花形見
21	船弁慶	フナベンケイ	船弁	
22	松風	マツカゼ	松風	
23	松虫	マツムシ	松虫	
24	三井寺	ミイデラ	三井	
25	紅葉狩	モミジガリ	紅葉	

題名 番号	題名	表音	題名 略号	別名
26	山 姥	ヤ マ シ バ	山姥	
27	熊 野	ユ ヤ	熊野	湯谷
28	弱 法 師	ヨ ロ ボ シ	弱法	

## 12 狂言

題名 番号	題名	表音	題名 略号	別名
1	韃 猿	ウ ツ ボ ザ ル	韃猿	
2	柿 山 伏	カ キ ヤ マ ブ シ	柿山	
3	不 聞 座 頭	キ カ ズ ザ ト オ	不聞	不見不聞

### 狂言小謡

題名 番号	題名	表音	題名 略号	別名
1	暁	ア カ ツ キ	暁	暁の明星・暁明星・暁の星・あか月
2	七 つ 子	ナ ナ ツ ゴ	七子	七つに成子・七ツ成子・七ツ子・北嵯峨
3	子 の 日	ネ ノ ヒ	子日	
4	福 の 神	フ ク ノ カ ミ	福神	

### 13 歌舞伎

題名 番号	題 名	表 音	題名 略号	場 名	場名 略号
1	青砥稿花紅彩画	アオトゾオシハナノ ニシキエ	青砥	浜 松 屋 の 場	浜
				稲 瀬 川 の 場	稲
2	明 烏 夢 泡 雪	アケガラスユメノア ワユキ	夢泡	山名屋浦里部屋の場 (山名屋)奥庭の場	
3	赤 穂 義 士 伝	アコオギシデン	赤穂	三 島 藤 家 の 場	藤
				三 島 本 陣 の 場	本
4	伊 賀 越 道 中 双 六	イガゴエドオチュウ スゴロク	伊賀	伊賀上野街道の場	
5	伊 勢 音 頭 恋 寝 刃	イセオンドコイノネ タバ	伊勢	二 見 ケ 浦 の 場	二
				油 屋 の 場	油
6	一 谷 嫩 軍 記	イチノタニフタバグ ンキ	一谷	須 磨 の 浦 の 場	須
				直 実 陣 屋 の 場	直
7	茨 木	イ バ ラ キ	茨木		
8	妹 背 山 婦 女 庭 訓	イモセヤマオンナテ イキン	妹背	入 鹿 館 の 場	
9	いろは仮名四十七訓	イロハガナンジユウ ナナモジ	四十	弥 作 内 の 場① 七 太 夫 内 の 場 弥 作 内 の 場②	
10	江 戸 育 お 祭 佐 七	エドソダチオマツリ サンチ	江戸	菊 本 の 場 菊 本 裏 手 の 場	菊
				小 糸 内 の 場 柳 原 土 手 の 場	小柳
11	絵 本 太 功 記	エホンタイコオキ	絵本	さつき内の場	
12	大 杯 觴 酒 戦 強 者	オオサカズキシユセ ンノツワモノ	大杯	内 藤 館 の 場	
13	近 江 源 氏 先 陣 館	オオミゲンジセンジ ンヤカタ	近江	盛 綱 陣 屋 の 場	
14	大 森 彦 七	オオモリヒコシチ	大森	谷 川 の 場	
15	女 殺 油 地 獄	オンナコロシアブラ ノジゴク	女殺	豊 島 屋 の 場	
16	鏡 山 錦 楓 葉	カガミヤマニシキノ モミジバ	鏡山	鏡 山 の 場	



題名 番号	題 名	表 音	題名 略号	場 名	場名 略号
17	箆釣瓶花街酔醒	カゴツルベサトノヨ イザメ	箆釣	八橋部屋の場	八
				立花屋屋根の場	立
18	梶原平三誉石切	カジワラヘイゾオホ マレノイシキリ	梶原	星合寺の場	
19	復讐談高田馬場	カタキウチタカタノ ババ	復讐	安兵衛内の場	安 高
				高田馬場付近の場 高田馬場の場	
20	敵討檻襖錦	カタキウチツズレノ ニシキ	檻襖	大安寺堤の場	
21	仮名手本忠臣蔵	カナデホンチュウシ ングラ	仮名	鶴ヶ岡八幡社の場	鶴
				足利館長廊下の場	足
				戸塚道行の場	戸
				塩治館の場 (塩治館)門外の場	塩
				山崎街道の場	山
				与市兵衛内の場	与
				一力の場	一
				東海道道行の場	東
				由良之助内の場	由
				楠屋の場	楠
師直館の場	師				
22	鐘もろとも恨敵鞘	カネモロトモウラミ ノサメザヤ	鐘諸	丹波屋の場 坂町裏道の場 千日前墓所の場	丹 坂 千
23	神明恵和合取組	カミノメグミワゴオ ノトリクミ	神明	喜三郎内の場 辰五郎内の場	喜 辰
24	勸進帳	カンジンチヨオ	勸進		
25	勸善懲悪視機関	カンゼンチヨオアク ノゾキガラクリ	勸善	長庵内の場 赤羽根橋の場 平河天神裏門の場	長 赤 平
26	鬼一法眼三略巻	キイチホオゲンサン リヤクノマキ	鬼一	鬼一館の場	

題名 番号	題 名	表 音	題名 略号	場 名	場名 略号
27	木曾街道膝栗毛	キノカイドオヒザク リゲ	木曾	亀 屋 の 場	
28	吉様参由縁音信	キチサママイルユカ リノオトズレ	吉様	釜 屋 の 場	
29	俠 客 春 雨 傘	キョオカクハルサメ ガサ	俠客	吉原仲の町の場	
30	桐 一 葉	キ リ ヒ ト ハ	桐一	大阪城淀君部屋の場	淀
				大阪城黒書院の場	黒
31	極付幡随長兵衛	キワメツキバンズイ チョオベエ	極付	水野内湯殿の場	
32	天衣紛上野初花	クモニマゴオウエノ ノハツハナ	天衣	松江館玄関の場	松
				入 谷 村 の 場	入
				大 口 屋 寮 の 場	大
33	鞍馬山だんまり	クラマヤマダンマリ	鞍暗		
34	黒手組曲輪達引	クロデグミクルワノ タテヒキ	黒手	不 忍 池 の 場	不
				吉原仲の町の場	吉
35	慶安太平記	ケイアンタイヘイキ	慶安	江戸城堀の場	
36	傾城阿波の鳴門	ケイセイアワノナル ト	阿波	どんどろ大師の場	
37	恋女房染分手綱	コイニョオボオソメ ワケタズナ	恋女	由留木館の場	
38	恋飛脚大和往来	コイビキヤクヤマト オオライ	恋飛	井筒屋表座敷の場 (井筒屋)奥座敷の場 (井筒屋)表座敷の場	
39	勾 当 内 侍	コオトオノナイン	勾当		
40	小袖曾我薊色縫	コソデソガアザミノ イロスイ	小袖	稲瀬川百本杭の場	稲
				白 蓮 内 の 場	白
41	寿 曾 我 对 面	コトブキノガノタイ メン	寿曾		
42	西 郷 と 豚 姫	サイゴオトブタヒメ	西郷		
43	三千両黄金蔵入	サンゼンリョオコガ ネノクライリ	三千		
44	三人吉三廓初買	サンニンキチサクル ワノハツガイ	三人	両国橋北河岸の場	
45	楼 門 五 三 桐	サンモンゴサンノキ リ	楼門	南 禅 寺 の 場	
46	鍛 引	シ コ ロ ビ キ	鍛引		

題名 番号	題名	表音	題名 略号	場名	場名 略号
47	実録先代萩	ジツロクセンダイハ ギ	先代	亀千代館の場	
48	忍夜恋曲者	シノビヨルコイワク セモノ	忍夜		
49	暫	シバラク	暫		
50	島衛月白浪	シマチドリツキノシ ラナミ	島衛	招魂社の場	
51	十二時会稽曾我	ジュウニトキカイケ イソガ	会稽	祐経仮屋の場	
52	修禅寺物語	シュゼンジモノガタ リ	修禅	夜叉王内の場	
53	新皿屋舗月雨暈	シンサラヤンキツキ ノアマガサ	新皿	磯部内玄関の場 (磯部内)奥庭の場	
54	心中天網島	シンジュウテンノア ミジマ	天網	河内屋の場 紙屋の場	河 紙
55	水滸伝雪挑	スイコデンユキノダ ンマリ	水滸		
56	菅原伝授手習鑑	スガワラデンジュテ ナライカガミ	菅原	都大路の場	
57	鈴ヶ森	スズガモリ	鈴森		
58	増補桃山譚	ゾオホモモヤマモノ ガタリ	増桃	伏見城奥庭の場	
59	曾我綉俠御所染	ソガモヨオタテシノ ゴシヨゾメ	俠御	五条坂仲の町の場 甲屋の場 五条坂廓の場	仲 甲 廓
60	伊達競曲輪鞘当	ダテクラベクルワノ サヤアテ	曲輪		
61	壇浦兜軍記	ダンノウラカブトダ ンキ	壇浦	堀川御所の場	
62	忠臣いろは実記	チュウシンイロハ ジッキ	実記	丈左衛門内の場	
63	忠臣蔵後日建前	チュウシングラゴニ チノタテマエ	後日	鳥羽暇の場 与市兵衛内の場	鳥 与
64	土蜘蛛	ツチグモ	土蜘蛛		
65	土屋主税	ツチヤチカラ	土屋	土屋館の場	
66	壺坂靈験記	ツボサカレイゲンキ	壺坂	沢市内の場	
67	積恋雪関扉	ツモルコイユキノセ キノト	積恋		
68	梅雨小袖昔八丈	ツユコソデムカシハ チジヲ	梅雨	永代橋の場	永

題名 番号	題 名	表 音	題名 略号	場 名	場名 略号
				新 三 内 の 場	新
				閻 魔 堂 橋 の 場	閻
69	東 海 道 四 谷 怪 談	トオカイドオヨツヤ カイダン	四谷	隠 亡 堀 の 場	
70	藤 十 郎 の 恋	トオジュウロオノコ イ	藤十	宗 清 奥 座 敷 の 場	
71	唐 人 塚	ト オ ジ ン ズ カ	唐人	長 崎 丸 山 揚 屋 の 場	
72	時 今 也 桔 梗 旗 揚	トキワイマキキヨオ ノハタアゲ	時今	本 能 寺 の 場	
73	鳥 辺 山 心 中	トリベヤマシンジュ ウ	鳥辺	四 条 河 原 の 場	
74	博 多 小 女 郎 浪 枕	ハカタコジヨロオナ ミマクラ	博多	船 中 の 場	
75	橋 弁 慶	ハ シ ベ ン ケ イ	橋弁		
76	番 町 皿 屋 敷	バンチヨオサラヤン キ	番町	播 磨 内 の 場	
77	一 つ 家	ヒ ト ツ ヤ	一家		
78	双 蝶 々 曲 輪 日 記	フタツチヨオチヨク ルワニッキ	双蝶	与 兵 衛 内 の 場	
79	二 つ の 櫓	フタツノヤグラ	二櫓	東 の 芝 居 楽 屋 の 場	
80	沓 手 鳥 孤 城 落 月	ホトトギスコジヨオ ノラクゲツ	沓手	大 阪 城 楠 庫 の 場	
81	本 朝 廿 四 孝	ホンチヨオニジュウ シコオ	本朝	謙 信 館 奥 庭 の 場	
82	宮 島 だ ん ま り	ミヤジマダンマリ	宮島		
83	処 女 翫 浮 名 横 櫛	ムスメゴノミウキナ ノヨコグシ	処女	薩 垂 峠 の 場 赤 間 屋 の 場	薩 赤
84	紫 被 布 千 鳥 浮 織	ムラサキヒフチドリ ノウキオリ	紫被	松 井 館 玄 関 の 場	
85	伽 羅 先 代 萩	メイボクセンダイハ ギ	伽羅	鶴 喜 代 館 奥 殿 の 場 (鶴喜代館奥殿)床下 の場	鶴 床
				問 注 所 の 場	問
86	戻 橋	モ ド リ バ シ	戻橋	戻 橋 の 場 二 条 通 り の 場	
87	夜 討 曾 我 狩 場 曙	ヨウチソガカリバノ アケボノ	夜討	祐 経 仮 屋 の 場 松 ヶ 崎 の 場 頼 朝 仮 屋 裏 手 の 場	祐 松 裏
				頼 朝 仮 屋 の 場	頼

題名 番号	題 名	表 音	題名 略号	場 名	場名 略号
88	義 経 千 本 桜	ヨシツネセンボンザ クラ	千本	伏見稲荷社の場	伏
				大物浦の場	大
				釣瓶酢屋の場	釣
89	与話情浮名横櫛	ヨワナサケウキナノ ヨコグシ	与話	多左衛門内の場	
90	若木仇名草	ワカキノアダナグサ	若木	若木屋二階座敷の場 (若木屋)此糸部屋の 場	

## 15 新派

題名 番号	題名	表音	題名 略号	場名	場名 略号
1	己が罪	オノガツミ	己罪	房州根本浜の場	
2	婦系図	オンナケイズ	婦系	湯島天神社の場	
3	仮名屋小梅	カナヤコウメ	仮名	うた島の場	歌
				酔月の場	酔
				浜町河岸の場	浜
4	酒中日記	シュチュウニッキ	酒中	大河内の場	
5	塵境	ジンキョオ	塵境	水車小屋の場	
6	大尉の娘	タイノムスメ	大尉	慎蔵内の場	
7	通夜物語	ツヤモノガタリ	通夜	根津権現社の場	
8	流るる星	ナガルルホシ	流星		
9	生さぬ仲	ナサヌナカ	生仲	日黒火の番小屋の場	
10	春の潮	ハルノウシオ	春潮	神楽堂の場	
11	二筋道	フタスジミチ	二筋	髪結内の場	
				そば屋の場	
12	不如帰	ホトトギス	不如	逗子浜の場	
13	名人長次	メイジンチョオジ	名人	清兵衛内の場①	
				長次内の場	
				清兵衛内の場②	

## 16 新劇

題名 番号	題名	表音	題名 略号	場名	場名 略号
1	秀吉と淀君	ヒデヨントヨドギミ	秀吉		
2	マツ	マツ	マツ		

# 18 大衆劇

## 181 軽演劇

題名 番号	題 名	表 音	題名 略号	場 名	場名 略号
1	愛 の 終 点	アイノシュウテン	愛終		
2	吾 妻 草 紙	アズマソオシ	吾妻	両国船宿の場	
				徳兵衛内の場	
3	アラビヤ夜話	アラビヤヤワ	夜話	赤太郎内の場	
4	欧 洲 み や げ	オオシュウミヤゲ	欧州		
5	啞 の 旅 行	オシノリヨコオ	啞旅	神戸港の場	
				ロンドン街頭の場	
6	乙 女 心	オトメゴコロ	乙女		
7	京 人 形	キョオニンギョオ	京人		
8	喧 嘩 友 達	ケンカトモダチ	喧嘩		
9	木 枯 ら し	コ ガ ラ シ	木枯		
10	心 の 脱 線	ココロノダッセン	心脱	日新亭前の場 栗岡部屋の場	
11	堺 の 富 蔵	サカイノトミゾオ	堺富		
12	震 災 の 五 郎	シンサイノゴロオ	震災		
13	短 慮 の 刃	タンリョノヤイバ	短慮	浅草寺の場	
				江戸城堀の場	
14	茶 音 頭	チャオンド	茶音	須磨の浦磯馴茶屋の場 相模屋の場	
15	茶 屋 違 い	チャヤチガイ	茶屋	八代駅の場 松井内奥座敷の場	
16	日 本 橋	ニホンバン	日本	日本橋の場①	
				日本橋の場②	
17	旗 行 列 の 歌	ハタギョオレツノウタ	旗行	清水寺の場 山岡内の場	

題名 番号	題名	表音	題名 略号	場名	場名 略号
18	晩餐会	バンサンカイ	晩餐		
19	百行の基	ヒャッコオノモト	百行	浅間温泉の場 西川会社焼跡の場	
20	良心	リョウシン	良心		
21	若き日の影	ワカキヒノカゲ	若日		

182 剣劇

題名 番号	題名	表音	題名 略号	場名	場名 略号
1	会津の小鉄	アイズノコテツ	会津		
2	清水治郎長	シミズノジロチヲ	清水	治郎長内の場	

183 中間演劇

題名 番号	題名	表音	題名 略号	場名	場名 略号
1	国定忠治	クニサダチュウジ	国定	赤城天神山の場 山形屋の場	赤 山
2	白野弁十郎	シラノベンジュウロ オ	白野	金光院の場	
3	城山の月	シロヤマノツキ	城山	可愛ヶ岳の場 城山洞窟の場	可 城
4	大菩薩峠	ダイボサツトオゲ	大菩	竜之助内の場 庵原村寺の場	竜 庵
5	月形半平太	ツキガタハンペイタ	月形	嬉し野門外の場 井筒屋の場	
6	富岡先生	トミオカセンセイ	富岡	富岡内の場 裏山の場	
7	箕輪の心中	ミノワノシンジュウ	箕輪	お時内の場	

184 博多ニワカ

題名 番号	題名	表音	題名 略号	場名	場名 略号
1	先祖の抵当	センゾノテイトオ	先祖		



## 19 脚本朗読

題名 番号	題 名	表 音	題名 略号	場 名	場名 略号
1	ハムレット	ハムレット	ハム	王城広間の場	
2	沓手鳥孤城落月	ホトトギスコジョ ノラクゲツ	沓手	大阪城奥殿の場 石垣外の場 桜門外の場	

### 題名場名表作成要項

- 第1条** 音盤カード記入規定（以下「規定」と略称）第11条により、当研究所の所蔵する音盤の整理に便なことを目的として、統一題名を設定する。その際、所蔵する他の資料の題名との関連性に注意を払う。
- 第2条** 規定第12条により、独立した小演目に分割し得る演目においては、各小演目の題名を用いる。
- 第3条** 題名の設定に当たっては、題名の俗称・通称・略称を用いないが、現行題名の普及度を考慮し、必ずしも初演題名に拠らない。
- 第4条** 題名の文字づかいは、規定第2条第1項により、当用漢字字体表による字体、またはそれに準ずる字体を用いる。
- 第5条** 題名は、前条までの目的と注意とに従い、各種目ごとに基準を設けて決定する。
- 第6条** 規定第14条における、本来二場以上にわたる演目においては、場の名称を題名表に添える。
- 第7条** 場の名称は、規定第16条により、地名・建物名等を用い、事件名等の通称を用いない。
- 第8条** 場の名称の決定に際しては、本文を尊重し、従来慣用には従わない。

### 別 表 3

(略)

別表 4 奏演者代数表(歌舞伎)

## 凡 例

1. 本表は、本巻目録で使用した歌舞伎の奏演者名の世代数をローマ数字で示し、襲名した年および前名・後名を付記した。
2. 奏演者名は、歌舞伎俳優とその他の奏演者とを別表にし、それぞれ芸名の五十音順に配列した。
3. 前名欄・後名欄では、姓に変更のない場合、姓を省略した。

代数	奏 演 者 名	襲 名 期	前 名	後 名
Ⅲ	浅尾 大 吉	大 正 7	友吉・関十郎	
Ⅵ	嵐 吉 三 郎	明 治 35	中村雀三郎	
Ⅱ	市川 荒 次 郎	明 治 43	Ⅱ福藏	
Ⅱ	市川 荒 太 郎	明 治 40	保太郎・保之助	
Ⅳ	市川 市 藏	明 治 23	坂東豊作	
Ⅱ	市川 右 団 治	明 治 42	伊藤右之助	
Ⅸ	市川 海 老 藏	昭 和 15	松本金太郎・Ⅸ高麗藏	Ⅹ団十郎
Ⅲ	市川 筵 升	大 正 4	Ⅱぼたん	
Ⅱ	市川 猿 之 助	明 治 43	Ⅰ団子	猿翁
Ⅳ	市川 男 女 藏	大 正 6	Ⅳ男寅	Ⅲ左団次
Ⅳ	市川 九 藏	明 治 41	銀藏・Ⅳ茂々太郎	Ⅷ団藏
Ⅳ	市川 紅 若	明 治 26	中村千代松・中村米太郎・中村源之助	
Ⅱ	市川 小 太 夫	大 正 7	蝙蝠	
Ⅷ	市川 高 麗 藏	明 治 36	金太郎・Ⅳ染五郎	Ⅶ松本幸四郎
Ⅱ	市川 左 升	明 治 39	左升松	
Ⅱ	市川 左 団 次	明 治 39	Ⅰぼたん・Ⅰ小米・Ⅱ筵升	
Ⅱ	市川 寿 猿	昭 和 5	笑猿	
Ⅱ	市川 松 蔦	明 治 45	左喜松・筵若	
Ⅳ	市川 新 升	大 正 5	Ⅱ福之助	
Ⅵ	市川 寿 美 藏	明 治 40	高丸・小満之助・登升	Ⅲ寿海
Ⅴ	市川 染 五 郎	昭 和 5	松本純藏	Ⅷ松本幸四郎
Ⅰ	市川 た か し	昭 和 10		Ⅲ松蔦・Ⅶ門之助
Ⅰ	市川 段 猿	大 正 9	笑猿次	
Ⅲ	市川 段 四 郎	昭 和 5	Ⅱ団子	
Ⅶ	市川 中 車	大 正 7	尾上当次郎・中山鶴五郎・Ⅶ八百藏	

代数	奏 演 者 名	襲 名 期	前 名	後 名
Ⅱ	市川 箱 登 羅	明 治 21	登美六	Ⅷ中車
Ⅷ	市川 八 百 藏	大 正 7	松尾	
XV	市村 羽左衛門	明 治 36	坂東竹松・Ⅵ家橋	
Ⅶ	市村 家 橋	大 正 14	Ⅳ竹松	
Ⅳ	市村 竹 松	明 治 43		
Ⅵ	大谷 友右衛門	大 正 9	中村翫兵衛・中村玩・ 中村おもぢや・中村駒 助・Ⅴ中村東藏	
Ⅱ	尾上 伊 三 郎	明 治 44	菊松	Ⅴ松助
Ⅱ	尾上 卯 三 郎	明 治 9	卯多市	
Ⅰ	尾上 梅 十 郎	明 治 44	朝藏	
Ⅶ	尾上 栄 三 郎	大 正 9	Ⅲ丑之助	
Ⅵ	尾上 菊 五 郎	明 治 36	幸三・Ⅱ丑之助	
Ⅲ	尾上 菊 三 郎	明 治 20	登美松	
Ⅱ	尾上 幸 藏	明 治 4	坂東市之助	
Ⅲ	尾上 多賀之丞	昭 和 2	市川鬼三郎・Ⅴ市川鬼 丸	
Ⅲ	尾上 多 見 藏	大 正 7	Ⅱ坂東鶴之助・多見之 助	
Ⅵ	尾上 梅 幸	明 治 36	西川栄之助・Ⅰ栄之助・ Ⅴ栄三郎	
Ⅳ	尾上 松 助	明 治 14	松本小勘子・市村橋五 郎・梅五郎	
Ⅳ	尾上 紋 三 郎	明 治 41	栄藏・幸之助	
Ⅳ	片岡 愛 之 助	明 治 35	中村霞香	
Ⅳ	片岡 市 藏	明 治 42	Ⅲ亀藏・Ⅳ十藏	
Ⅳ	片岡 我 童	明 治 34	東吉・Ⅱ土之助	
XⅡ	片岡 仁左衛門	昭 和 11	東吉・Ⅱ土之助・Ⅳ我 童	
Ⅱ	河原崎権 十 郎	大 正 8	市川薫・Ⅱ市川権三郎	Ⅶ仁左衛門
Ⅲ	沢村 源 十 郎	明 治 40	多見吉・笑童・正太 郎・喜久三	
Ⅳ	沢村 源 之 助	明 治 15	Ⅱ清子・清三郎・Ⅱ清 十郎	
Ⅶ	沢村 宗 十 郎	明 治 41	Ⅳ源平・Ⅲ訥升	
Ⅰ	沢村 宗 之 助	明 治 22		
Ⅴ	沢村 田 之 助	大 正 9	Ⅲ由次郎	
Ⅶ	沢村 訥 子	明 治 15	市川千之助・中村千之 助	
Ⅷ	沢村 訥 子	昭 和 2	大助・伝次郎	
Ⅳ	沢村 訥 升	大 正 15	Ⅴ源平	

代数	奏 演 者 名	襲 名 期	前 名	後 名
II	実川 延 若	大 正 4	I 延二郎	II 延若
I	実川 延 二 郎	明 治 19		
V	助高屋高 助	大 正 9	高丸	III 仲助
V	中村 歌 右 衛 門	明 治 44	I 児太郎・IV 福助・V 芝翫	
I	中村 歌 門	明 治 44	I 梅丸・II 梅之助	III 雀右衛門
II	中村 翫 右 衛 門	大 正 9	II 梅丸・III 梅之助	
I	中村 鷹 治 郎	明 治 11	実川鷹(雁)二郎・吉田玉太郎	
II	中村 翫 助	明 治 23	芝次郎	III 雀右衛門
I	中村 吉 右 衛 門	明 治 30		
II	中村 芝 鶴	大 正 8	II 由丸・III 歌之助	
IV	中村 芝 雀	明 治 24	嵐笑太郎・笑太郎	
III	中村 雀 右 衛 門	大 正 6	嵐笑太郎・笑太郎・IV 芝雀	
III	中村 時 藏	大 正 5	II 米吉	III 梅玉
V	中村 福 助 〈成駒屋〉	大 正 5	II 児太郎	
IV	中村 福 助 〈高砂屋〉	明 治 40	II 政治郎	XVI 勘三郎 IV 秀調 VII 薪水・VII 彦三郎・ XIII 市村羽左衛門
IV	中村 も し ほ	昭 和 4	III 米吉	
II	坂東 勝 太 郎	大 正 11	かつみ	
III	坂東 亀 三 郎	大 正 10		IV 尾上菊次郎
III	坂東 秀 調	明 治 37	市川升次郎・I 勝太郎	
III	阪東 寿 三 郎	大 正 1	長次郎	VII 三津五郎
III	坂東 竹 三 郎	大 正 8	子鶴	
VI	坂東 彦 三 郎	大 正 4	尾上英造・VII 尾上栄三郎	
VII	坂東 又 太 郎	昭 和 3		VII 三津五郎
VII	坂東 三 津 五 郎	明 治 39	II 八十助	
VI	坂東 襲 助	昭 和 3	III 八十助	VII 三津五郎
II	坂東 村 右 衛 門	明 治 45	秀雄・市勝	
VII	松本 錦 吾	大 正 5	市川錦吾	VII 三津五郎
VII	松本 幸 四 郎	明 治 44	市川金太郎・IV 市川染五郎・VIII 市川高麗藏	
XII	守田 勘 弥	明 治 39	坂東三田八	

代数	奏演者名	襲名期	前名	後名
Ⅵ	岡安喜三郎	大正9	嘉郎	Ⅱ田中涼月
Ⅰ	柏伊三郎			
Ⅱ	柏扇吉	大正8		
Ⅲ	堅田喜三郎		望月喜三郎	
Ⅲ	杵屋栄蔵	明治39	栄二<次>郎	
Ⅵ	杵屋弥吉	明治28		
Ⅵ	杵屋弥三郎	明治45	定元	
ⅩⅣ	杵屋六左衛門	大正5	ⅩⅣ喜三郎	
Ⅹ	杵屋六三郎	大正12	六二郎・Ⅳ六太郎	
Ⅱ	清元喜久太夫	明治41		
Ⅴ	田中佐十郎	大正10	伝治	
Ⅷ	田中佐太郎	大正8		
Ⅹ	田中伝左衛門	明治44	礼三郎・Ⅴ源助・Ⅰ柏扇吉	
Ⅲ	常磐津松尾太夫	明治39	Ⅱ小和登太夫・Ⅱ三登勢太夫	
Ⅲ	常磐津文字兵衛	大正5	Ⅲ八百八	文字翁 伝平
Ⅲ	豊沢力松			
Ⅲ	中村兵蔵			
Ⅲ	野沢吉作	明治41	吉千代・吉兵	
Ⅲ	野沢錦糸	大正7	一弥・Ⅵ吉兵衛門	
Ⅴ	富士田新蔵	大正14	銀五郎・勇蔵	Ⅵ音蔵
Ⅶ	富士田千蔵	昭和14	音三久	
Ⅶ	富士松加賀太夫	明治35	小津賀太夫・津賀太夫・ Ⅱ富本豊紫太夫・Ⅲ富士太夫	
Ⅸ	望月太左衛門	昭和2	Ⅲ長佐久	
Ⅱ	吉住小三蔵			
Ⅵ	芳村伊十郎	明治26	富士田千平・Ⅲ金五郎・ Ⅴ伊四郎	Ⅷ伊三郎・Ⅰ大薩摩 芳英太夫・Ⅳ大薩摩 文太夫・十寸見舁魚
Ⅳ	芳村孝次郎	明治45	杵屋勝造・松永和孝・ 中村瓢二・中村永五郎	Ⅳ松永和楓・和風

### 奏演者代数表作成要項

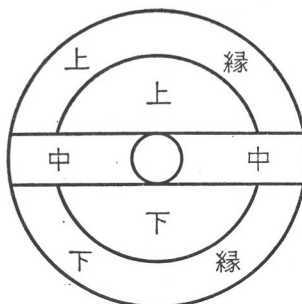
- 第1条 奏演者の代数は、芸能界通行の代数に従い、考証による改訂は行なわない。
- 第2条 奏演者が故人の場合は、信用度の高い文献を根拠とするが、現存する場合は、当人の意見を尊重する。
- 第3条 二種以上の代数が行なわれる場合は、考証により、もっとも適当と思われるものを採用する。

## 別表 5 (A) 音盤題紙識別表

### 凡 例

1. 本表は、東京国立文化財研究所に所蔵する音盤に用いられた題紙の様式を分類整理して決定した様式記号を示し、合わせて各様式の特徴を表示したものである。
2. 盤名の配列に当たっては、合併・吸収等の明らかな五系列、すなわち日本ビクター・日本コロンビア・キング・日本グラモホン・テイチク（注—ここに掲げた名称は、合併・吸収を経て後に用いられたものである）に属す会社から発売されたものは、各系列ごとにまとめて掲げ、その区分を示すために太線を用いた。
3. 前項に掲げた五系列の配列は、各会社の創立年代順とした。
4. 各系列内での盤名の配列順は次のとおりである。（主要レコード会社系列表「音盤目録 I」366ページ参照）
  - イ. 発売会社が主流か傍系かの別が明確な場合は、主流・傍系の順。
    - 例 1 日本コロンビア系——コロンビア(主流)・オリエント(傍系)
    - 例 2 キング系——キング(主流)・ニットオ(傍系)
  - ロ. 主流会社または傍系会社内で、二種以上の盤名を用いた場合は、発売年代順。ただし、同時期に何らかの理由(発売価格・吹込者等)で特殊盤名のものを発売している場合は、一般に用いられたと推定されるものから順次配列した。
    - 例 1 日本ビクター系主流——グラモホンコンサト・ビクター(発売年代による)
    - 例 2 日本ビクター系主流——ビクター・ビクタージュニア(後者は特殊盤名)
    - 例 3 日本コロンビア系主流——ニッポノホン・コロンビア(発売年代による)
    - 例 4 キング系傍系——タイヘイ・コメット(後者は特殊盤名)
  - ハ. 傍系会社が二社以上ある場合は、創立年代順。
    - 例 1 日本コロンビア系傍系——オリエント・ナシ ュナル・ヒコオキ・トオキ ュオ・スタンダアド・メノホン
    - 例 2 キング系傍系——ニットオ・ナイガイ・タイヘイ
5. 第 2 項に掲げた五系列以外の会社の盤名の配列は、各盤名の五十音順とした。ただし、明らかに同系列と思われるものは一括して掲げた。
  - 例 1 トンボ・ニッポン
  - 例 2 ホオガク・ハンブカイ
6. 盤名欄には、題紙の記載にかかわらず、かたかなを用いて発音のとおりに記入した。促音・拗音は小字とし、長音は長音記号を用いずに母音を重ねた。

7. 様式記号は、様式記号決定要項(192ページ)に示すごとく、分類記号と識別呼称の二種から成るが、本表では分類記号のみを示し、他は省略した。したがって各様式の特徴も分類記号決定にかかわるものに限って記入した。
8. 上縁・上・中・下・下縁の区分は、およそ次の図のとおりである。



9. 題紙記載の文字の中で、商号は省略せず、他の文字よりも大きい文字を用いて示した。
10. 商号の欧文字体は、特色の著しいもの(イタリック・ドイツ文字等)を除き、すべて一種類に統一した。ただし、大文字・小文字の別は原文のとおりである。
11. 商号以外の文字は、書き出しの文字の、分類上必要な部分のみを記し、他は…を用いて省略を示した。ただし、分類に全く無関係と思われるものは、…を用いずに省略した場合もある。
12. 商号以外の欧文字体は、大文字・小文字の別以外すべて一種類に統一した。
13. 題紙記載の文字以外に注記を必要とする場合は、( )内に小字で記入した。  
例1 (3)=記載が3行にわたっている。  
例2 (縦右)=たて書きで右側に記載されている。
14. 分類上特記すべき記載のない部分は、\*を付した。
15. 商標番号欄の番号は、下段の商標図の番号と対応するものである。
16. 商標図のないものは、商標番号欄に\*を付した。
17. 下段の商標図には、番号のほか、商標呼称をも記入した。

盤名	様式 記号	上 縁	上
グラモホンコン サート	I a	GRAMOPHONE CO NCERT RECORD	Manufactured by The Gramophone...(3)
ビクタア	I a	VICTOR RECORD	*
//	I b	VICTOR RECORD	*
//	I c	VICTOR RECORD	*
//	II a	AWARDED FIRST...	*
//	III a	*	Victor
//	III b	*	Victor
//	IV a	*	VICTOR
//	IV b	*	VICTOR
//	IV c	*	VICTOR
//	V a	Orthophonic Recording	VICTOR
//	V b	*	VICTOR
//	V c	*	VICTOR
//	V d	Orthophonic Recording	VICTOR
//	VI a	RCA Victor...	VICTOR
//	VII a	*	VICTOR



中	下	下 緑	商標 番号
*	*	*	1
*	*	VICTOR TALKI NG...	2
*	*	THIS RECORD IS SOLD...(3)	2
*	*	*	2
VICTOR RECORD	*	VICTOR TALKI NG...(4)	2
*	*	VICTOR TALKI NG...(2)	2
*	*	VICTOR TALKI NG...(2)	2
*	VICTOR TALKI...	*	2
*	日本ビクター ...	*	2
*	VICTOR TALKI NG...(2)	*	2
*	VICTOR TALKI NG...(3)	*	2
Orthophonic Recording(左)	VICTOR TALKI NG...(2)	*	2
Orthophonic Recording(左)	日本ビクター ...	*	2
*	日本ビクター ...	*	2
*	日本ビクター ...	*	2
*	*	著作権者日本ビクタ ー...	2

1 テンシ

2 イヌ



盤名	様式記号	上	縁	上
ビクタア	VII b		*	VICTOR
//	VII c		*	VICTOR
//	VII d		*	VICTOR
ビクタアジュニア	I a		*	VICTOR JUNIOR
//	I b		*	VICTOR JUNIOR
ビクトロオラ	I a		*	Victrola
//	II a	Orthophonic Recording		VICTROLA
スタア	I a	STAR		*
コロンビアデスク	I a	天賞堂		東京尾張町 大阪心齋橋 ころんびやデスクレコード COLUMBIA...
コロンビア	I a	(判読不能の文字あり)		パリス ロンドン バーリン ニューヨーク... (縦右)
//	II a	PAT. NOV. 25. 1902		西暦一千九百四年皇明治三十七年米国聖路易世 (縦右・下ニ続ク)
//	III a	COLUMBIA RECORD		GRAND PRIZE HIGHEST ... (4~5)
//	III b	COLUMBIA RECORD		GRAND PRIZE HIGHEST ... (5)

中	下	下 緑	商標 番号
*	*	MANUFACTURE D BY...	2
*	*	VICTOR COMPAN Y OF...	2
*	*	VICTOR COMPAN Y OF...	2
Orthophonic Recording(左)	VICTOR TALKI NG...	*	2
Orthophonic Recording(左)	日本ビクター...	*	2
*	*	VICTOR TALKI NG...(2)	2
Orthophonic Recording(左)	RCA Victor Comp any...(2)	*	2
*	*	著作権者日本ビク ター...	2 92
蓄音器類及びレコードは千九百 年の巴里世界大博覧会ニ於て... (縦)	*	PATENTED MA Y 4. 1886 AND...	*
ころんびや蓄音器会社(縦) COLUMBIA PHONO GRAPH CO. (右)	ころんびや蓄音器類 及レコードは千九百 年の...(縦右)	PATENTED MA Y 4. 1886 AND...	*
コロンビヤ蓄音器製造会 社(縦) COLUMBIA PHO NOGRAPH CO. (右)	界大博覧会ニ於テ最 高之金牌受領 (縦右・ 上ヨリ縦ク)	NEW YORK ~ SA N FRANCISCO...	*
*	*	NEW YORK COL UMBIA...	*
*	*	最寄發明・高声精亮・ 最新式...	*

2 イ ス

92 ス タ フ



盤名	様式 記号	上 縁	上
コロンビア	Ⅳ a	COLUMBIA PHON OGRAPH CO.	*
//	Ⅳ b	COLUMBIA PHON OGRAPH CO.	*
//	V a	COLUMBIA PHON OGRAPH CO. Gen 1	CONDITION OF SALE …(7)
• //	V b	COLUMBIA PHON OGRAPH CO.	CONDITION OF SALE …(7)
//	Ⅵ a	*	COLUMBIA
//	Ⅶ a	COLUMBIA RECO RD	*
//	Ⅶ b	COLUMBIA RECO RD	M. de F. MARCA IN DUSTRIAL REGISTRA DA(右4)
//	Ⅷ a	*	Columbia
ユニバアサル	I a	THE UNIVERSAL RECORD	*
//	I b	THE UNIVERSAL RECORD	*

中	下	下 緑	商標 番号
*	*	*	3
*	*	U. S. LETTERS PAT. DEC. 10...	3
GRAND PRIZE PARIS 1909...	*	PATENTED DEC EMBER 10 1904	*
GRAND PRIZE PARIS, 1909	*	最寄發明・高声精亮・ 最新式...	*
*	*	COLUMBIA GRA PHOPHONE...(3)	4
*	*	THIS RECORD IS SOLD...(3)	5
*	*	PATENTADO PATENTES...(3)	5
*	COLUMBIA PHO NOGRAPH...	*	6
*	*	MADE EXCLUSI VELY FOR...	3
*	*	*	3

3 ヒカリ



5 オンブ B



4 オンブ A



6 オンブ C



盤名	様式記号	上 緑	上
ロ オ ヤ ル	I a	THE ROYAL RECORD	*
〃	I b	THE ROYAL RECORD	*
〃	II a	ROYAL RECORD	*
〃	III a	ROYAL RECORD	*
ア メ リ カ ン	I a	THE AMERICAN RECORD	*
〃	I b	THE AMERICAN RECORD	*
〃	I c	THE AMERICAN RECORD	*
シ ン ホ ニ イ	I a	SYMPHONY RECORD	*
〃	I b	SYMPHONY RECORD	*
グ ロ オ ブ	I a	THE GLOBE RECORD	*
ニ ッ ポ ノ ホ ン	I a	NIPPONOPHONE	*

中	下	下 縁	商標 番号
*	*	THE JAPAN AMERICAN...	7
*	*	MADE EXCLUSIVELY FOR...	7
NIPPONOPHONE	*	MADE EXCLUSIVELY FOR...	8
NIPPONOPHONE	*	MADE EXCLUSIVELY FOR...	93
*	*	THE JAPAN-AMERICAN...	9
*	*	MADE EXCLUSIVELY FOR...	9
*	*	MADE EXCLUSIVELY BY...	9
*	*	THE JAPAN AMERICAN...	10
*	*	MADE EXCLUSIVELY BY...	10
*	*	THE JAPAN AMERICAN...	11
ニッポノホン	*	MADE EXCLUSIVELY BY...	8

7 シンワシ



8 ワシ A



93 ワシ C



9 タテワシ



10 ラッパ



11 チキュウ



盤名	様式記号	上 緑	上
ニッポノホン	I b	NIPPONOPHONE	*
//	I c	NIPPONOPHONE	*
ライジングサン	I a	RISING SUN RECORD	*
ニッポノホン	II a	*	NIPPONOPHONE
//	III a	*	電気吹込 NIPPONOPHONE
//	III b	*	電気吹込 NIPPONOPHONE
//	III c	*	電気吹込 NIPPONOPHONE
//	IV a	NIPPONOPHONE	*
//	V a	NIPPONOPHONE	*
//	VI a	NIPPONOPHONE	*
コロンビア	IX a	*	Viva-tonal Recording Columbia



中	下	下 縁	商標 番号
ニッポノホン	*	MADE IN JAPAN...	8
ニッポノホン	*	*	8
*	*	MADE BY THE RISING SUN...	12
ニッポノホン	*	MADE IN JAPAN	13
ニッポノホン	*	MADE IN JAPAN	13
ニッポノホン	*	コロムビア製ワシ印レコード	13
ニッポノホン	*	コロムビア製イーグルレコード	13
ニッポノホン	*	神奈川県 川崎町 株式会社日本...	94
ニッポノホン	東京メ治レコード	MADE EXCLUSIVELY BY...	95
ニッポノホン	京山小円レコード	MADE EXCLUSIVELY BY...	96
*	*	*	14

8 ワシ A



12 ヒノデ



13 ワシ B



94 サガリアジ



95 シメジ



96 コエン



14 オンパ D



盤名	様式 記号	上	縁	上
コロンビア	IX b		*	Viva-tonal Recording Columbia
//	X a		*	ニュー・プロセス レコード Columbia
//	XI a		*	ニュー・プロセス レコード Columbia
//	XII a	コロムビア至宝レ コード		Columbia
//	XIII a		*	Columbia
//	XIII b		*	Columbia
//	XIV a		*	Viva-tonal Recording Columbia
//	XV a		*	Viva-tonal Recording Columbia
//	XV b		*	Viva-tonal Recording Columbia
//	XVI a		*	Viva-tonal Recording Columbia
//	XVII a		*	Viva-tonal Recording PUBLISHED BY COLUMBIA GRAPHOP HONE CO OF JAPAN LTD. ... (4)
リイガル	I a		*	REGAL MADE BY NIPPONO...

中	下	下 縁	商標 番号
*	*	MADE BY NIPP ONOPHONE...	14
ELECTRICAL PROCESS 電気吹込	*	MADE IN JAPA N	14
*	*	MADE IN JAPA N	14
*	*	MADE BY NIPP ON COLUMBIA...	14
*	*	MADE BY NIPP ON COLUM... (2)	14
*	*	MADE BY NIPP ON COLUMBIA...	14
予約限定盤(左)	*	MADE BY NIPP ONOPHONE...	6
*	*	MADE BY NIPP ONOPHONE...	6
*	*	川崎市 日蓄工業株 式会社製造	6
ELECTRICAL PROCESS(左)	*	*	14
ELECTRICAL PROCESS	*	*	14
*	*	*	14

14 オンブ D

6 オンブ C



盤名	様式記号	上	縁	上
リイガル	I b		*	REGAL
//	II a		*	REGAL
//	III a		*	REGAL
ニッチク	I a		*	ニッチク
ライロホン	I a	LYROPHONE REC	ORD	STARKTON
//	II a	LYROPHONE REC	ORD	*
スタアクトン	I a		*	STARKTON
//	II a	STARKTON-RECO	RD	STARKTON
//	III a	STARKTON-RECO	RD	STARKTON
//	IV a	STARKTON-RECO	RD	STARKTON
//	V a	STARKTON-RECO	RD	*
ライオン	I a	LION-RECORD		*

中	下	下 縁	商標 番号
*	*	MADE IN JAPAN	14
New Electrical Recording Process	*	MADE IN JAPAN	14
*	*	MADE BY NIPPONOPHONE...	6
*	*	川崎市・日蓄工業...	97
*	*	*	15
*	*	*	16
*	*	*	15
*	*	*	15
スタークトン	*	MADE EXCLUSIVELY SANKO...	15
スタークトンレコード	*	MADE EXCLUSIVELY SANKO...	15
スタークトンレコード	*	MADE EXCLUSIVELY SANKO...	98
ライオンレコード	*	THE GŌDŌ PHONOGRAPH...	98

14 オンブ D



6 オンブ C



97 オンブ E



15 ソ オ



16 チキウギ



98 パンジン



盤名	様式記号	上縁	上
オリエント	I a	ORIENT RECORD	*
〃	I b	ORIENT RECORD	*
〃	II a	ORIENT RECORD	*
〃	III a	オリエントレコード	*
〃	III b	オリエントレコード	*
〃	IV a	オリエントレコード	*
メリイ	I a	MERRY RECORD	*
〃	I b	MERRY RECORD	*
〃	I c	MERRY RECORD	*
ウグイス	I a	UGUISU RECORD	*
〃	II a	*	Uguisu
オリエント	IV b	オリエントレコード	*

中	下	下 縁	商標 番号
RECORDED IN JAPAN	*	THE ORIENTAL PHONOGRAPH...	17
RECORDED IN JAPAN	*	THE ORIENTAL PHONOGRAPH...	17
RECORDED IN JAPAN	*	THE ORIENTAL PHONOGRAPH...	18
ORIENT RECORD	*	東洋蓄音器合資会社 製	18
ORIENT RECORD	*	東洋蓄音器株式会社 製	18
ORIENT RECORD	*	東洋蓄音器合資会社 製	19
RECORDED IN JAPAN	*	THE ORIENTAL PHONOGRAPH...	20
*	*	THE ORIENTAL RECORD...	20
*	*	IMPERIAL GRAP HOPHONE...	20
RECORDED IN JAPAN	*	THIS RECORD...	21
*	*	THIS RECORD...	99
ORIENT RECORD	*	株式会社日本蓄音器 商会	19

17 ラクダ A



18 ラクダ B



19 ラクダ C



20 ハナイカリ



21 ウグイス A



99 ウグイス B



盤名	様式記号	上	縁	上
オリエント	V a		*	ORIENT RECORD オリエントレコード
//	V b		*	ORIENT RECORD オリエントレコード
//	VI a		*	ORIENT RECORD オリエントレコード
//	VI b		*	ORIENT RECORD オリエントレコード
//	VI c		*	ORIENT RECORD オリエントレコード
//	VII a		*	電気吹込 ORIENT
//	VII b		*	電気吹込 ORIENT
//	VIII a	ORIENT RECORD		*
ナショナル	I a	NATIONAL RECO RD		*



中	下	下 緑	商標 番号
*	*	ORIENT FACTORY OF NIPPONOPHONE CO.	22
*	*	ORIENT FACTORY NIPPONOPHONE CO. LTD.	22
*	*	ORIENT FACTORY, NIPPONOPHONE CO., LTD.	23
*	*	NIPPONOPHONE CO., LTD.	23
*	*	NIPPONOPHONE CO., LTD. ...	23
オリエントレコード	*	MADE IN JAPAN	24
オリエントレコード	*	コロムビア蓄音器株式会社製造	24
RECORDED IN JAPAN	*	THE ORIENTAL PHONOGRAPH...	136
*	*	MANUFACTURED BY OSAKA...	25

22 ラクダ D



23 ラクダ E



24 ラクダ F



136 ラクダ G



25 クマ A



盤名	様式記号	上縁	上
ナショナル	Ⅱ a	NATIONAL RECORD	*
〃	Ⅲ a	NATIONAL RECORD	*
ヒコオキ	I a	HIKOKI RECORD	*
〃	Ⅱ a	ヒコーキレコード	*
〃	Ⅱ b	ヒコーキレコード	*
〃	Ⅱ c	ヒコーキレコード	*
〃	Ⅲ a	*	ヒコーキ
〃	Ⅲ b	*	ヒコーキ
〃	Ⅳ a	*	HIKOKI
〃	V a	*	ヒコーキ
スピックス	I a	スピックスレコード	*
〃	Ⅱ a	スピックスレコード	*

中	下	下 縁	商標 番号
*	*	*	26
*	*	MANUFACTURE D BY OSAKA...	100
MADE IN JAPAN	*	IMPERIAL GRA PHOPHONE...	27
MADE IN JAPAN 肉声原盤(縦)	*	IMPERIAL GRA PHOPHONE...	28
*	*	IMPERIAL PHO NOGRAPH...	28
MADE IN JAPAN	*	IMPERIAL PHO NOGRAPH...	28
*	*	IMPERIAL PHO NOGRAPH...	29
*	*	THE GODO PHO NOGRAPH...	29
電気吹込	*	コロムビア蓄音器...	30
*	*	*	30
*	*	東京帝国蓄音器商会 製	31
松村式音譜盤	*	IMPERIAL GRA PHOPHONE...	32

26 クマ B



100 ペンギン



27 ヒコオキA



28 ヒコオキB



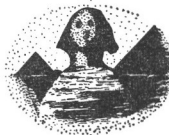
29 ヒコオキC



30 ヒコオキD



31 スフィンクスA



32 スフィンクスB



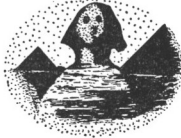
盤名	様式 記号	上 録	上
スピックス	II b	スピックスレコード	*
//	III a	*	*
//	IV a	スピックスレコード	*
ジイエス	I a	ジーエスレコード	*
トオキョオ	I a	東京れこをど	*
//	II a	TOKYO RECORD	*
フジサン	I a	*	Fujisan Record
スタンダアド	I a	*	VOICE TONIC SYSTEM STANDARD
//	II a	*	純国産レコード Standard
メノホン	I a	MENOPHONE REC ORD	*
オデオ	I a	ELECTRICAL PROCESS	ODEON

中	下	下 縁	商標 番号
MADE IN JAPAN	*	IMPERIAL GRA PHOPHONE...	32
SPHINX RECORD	古曲保存会 帝蓄委 託製	*	*
MADE IN JAPAN	*	IMPERIAL GRA PHOPHONE...	32
*	*	東京帝国蓄音器商会 製	31
*	*	東京蓄音器株式会社 製	33
*	*	東京蓄音器株式会社	34
*	*	THE GODO PHO NOGRAPH...	35
*	STANDARD TA L KING MACHIN E...	*	36
ELECTRO PROCESS 電気吹込	*	MADE IN JAPAN	36
*	*	MADE EXCLUSI VELY SANKO...	37
*	*	MADE IN JAPAN	38

32 スフィンクスB



31 スフィンクスA



33 オオヤマ



34 ハヤマ



35 クモヤマ



36 リ ラ



37 クジャク



38 オデオン



盤名	様式 記号	上	縁	上
パアロホン	I a		*	<i>Parlophone</i>
//	II a		*	<i>Parlophone</i>
//	III a	PARLOPHONE		*
ベカグラント	I a	BEKA - GRAND - RE CORD		*
パテエ	I a		*	*
//	II a		*	DISQUE PATHE
ポリドオル	I a		*	POLYFAR RECORDING POLYDOR
//	I b		*	POLYFAR RECORDING POLYDOR
//	II a	POLYDOR		TEST RECORD 非売品
//	III a		*	Polydor
キング	I a	KING RECORD TELEFUNKEN RECO RDING		*

中	下	下 緑	商標 番号
*	*	MADE IN JAPAN	39
ELECTRICAL PROCESS	*	MADE IN JAPAN	39
ELECTRICAL PROCESS(左)	*	MADE IN JAPAN	101
*	*	*	40
仏国巴黎市パテー会社製	*	DISQUE PATHE	*
仏国巴黎市パテー会社製	*	*	*
*	*	MANUFACTURE D BY...	41
PRESSED IN JAPAN UNDER LICENSE...(2)	*	MANUFACTURE D BY...	41
*	*	*	41
*	*	MANUFACTURE D BY...	102
キング(左)	*	NIPPON 大日本雄 弁会講談社 TOKI O	42

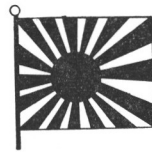
39 チクオンキA



101 チクオンキB



40 ハ タ



41 バケ A



102 バケ B



42 シ シ



盤 名	様式 記号	上 縁	上
キ ン グ	I b	KING RECORD TELEFUNKEN RECO RDING	*
フジオンパン	I a	富士音盤	*
ニッポンロクオ ンコオギョオ	I a	NIPPON ROKUON KOGYO	*
キングレコオ ディングディス ク	I a	KING RECORDING DISC	*
//	I b	KING RECORDING DISC	*
//	II a	KING RECORDING DISC	*
キングレコオ ディングスタジ オ	I a	KING RECORDING STUDIO	KOBE, JAPAN
ニ ッ ト オ	I a	NITTO RECORD	*
//	I b	NITTO RECORD	*
//	II a	NITTO RECORD	*



中	下	下 緑	商標 番号
*	*	NIPPON 大日本雄 弁会講談社…	42
*	*	日本・東京・大日本 雄弁会講談社	43
*	*	日本録音工業株式会 社・製造	44
Start Inside out outside in…	*	東京 キング音響株 式会社 尾久	42
*	*	キング音響株式会社 …(2)	42
Start Inside out outside in…	東京 キング音響株 式会社	MADE IN JAPAN	45 42
Play from outside in…	*	キング・ストア. 神 戸	42
*	*	大日本日東蓄音器…	46
*	鴻池家御依嘱 (又ハ 大阪日日新聞社音譜 競技会)	大日本日東蓄音器…	46
*	*	日本. 大阪. 日東蓄 音器…	47

42 シ シ



43 フ ジ



44 デンバ



45 ラ ジ オ



46 ツバメ A



47 ツバメ B



盤名	様式記号	上 縁	上
ニ ッ ト オ	Ⅱ b	NITTO RECORD	*
//	Ⅲ a	NITTO RECORD	*
//	Ⅳ a	*	ニッターレコード NITTO
//	Ⅳ b	*	ニッターレコード NITTO
//	Ⅳ c	*	ニッターレコード NITTO
//	V a	*	NITTO
//	Ⅵ a	NITTO 長時間 RECORD	*
ナ イ ガ イ	I a	NAIGAI RECORD	内外レコード
//	Ⅱ a	*	NAIGAI
//	Ⅲ a	*	Electrical Process Naigai
//	Ⅳ a	内外レコード	*

中	下	下 緑	商標 番号
*	*	日本・日東蓄音器…	47
*	*	日本・日東蓄音器…	47
ELECTRIC RECORDING	*	日東蓄音器株式会社	48
ELECTRIC RECORDING	*	大阪日東蓄音器…	48
ELECTRIC RECORDING	*	西宮大日本蓄音器…	48
Electric Recording (左)	*	MADE IN JAPAN DAINIPPON…	49
*	*	大日本大阪日東蓄音 器…	47
*	*	THE NAIGAI…	50
DYNAPHONE 電気吹込	*	MANUFACTURE D BY…	50
電気吹込 SHELL BRAND	*	THE NAIGAI GR AMOPHONE…	50
*	*	THE NAIGAI GR AMOPHONE…	103

47 ツバメ B



48 ツバメ C



49 ツバメ D



50 カ イ



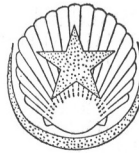
103 オ キ ナ



盤名	様式記号	上	縁	上
タイヘイ	I a	*		Taihei
//	II a	*		TAIHEI
//	II b	*		TAIHEI
//	III a	*		TAIHEI
//	III b	*		TAIHEI
//	IV a	*		Electric Recording (斜) TAIHEI (斜)
コメット	I a	*		Comet
タイヘイ	V a	*		Taihei
//	V b	*		Taihei
//	VI a	*		タイヘイレコード 観世左近謡曲
ニッポンマア キュリイ	I a	*		nippon Мелоду

中	下	下 縁	商標 番号
ELECTRIC RECORDING タイヘイレコード	*	MADE IN JAPAN TAIHEI...	51
ELECTRIC RECORDING タイヘイレコード	*	MADE IN JAPAN TAIHEI...	51
ELECTRICAL PROCESS SHELL BRAND RECORD	*	MADE IN JAPAN TAIHEI...	51
Electric Recording (左)	*	MADE IN JAPAN MANUFA...	49
Electric Recording (左)	*	MANUFACTURE D BY...	49
*	*	MADE IN JAPAN MANUFA...	52
ELECTRIC RECORDING コメットレコード	*	MADE IN JAPAN DAINIPPON...	51
*	*	TAIHEI ONKYO CO., LTD. ...	49
*	*	MADE BY TAIH EI...	49
Electric Recording (左)	*	MADE IN JAPAN MANUFA...	49
*	*	NIPPON MERC URY...	53

51 カイボシ



49 ツバメ D



52 ツバメ E



53 カ オ



盤名	様式 記号	上 縁	上
テイチク	I a	TEITIKU	*
//	I b	TEITIKU	*
//	II a	*	TEICHIKU
//	III a	*	電気吹込 TEICHIKU
//	IV a	*	ELECTRICAL PROCE SS TEICHIKU
//	IV b	*	ELECTRICAL PROCE SS TEICHIKU
//	V a	*	ELECTRICAL PROCE SS TEICHIKU
テイチク家庭盤	I a	*	ELECTRICAL PROCE SS テイチク家庭盤
テイチク大衆盤	I a	*	ELECTRICAL PROCE SS テイチク大衆盤
スタンダード	I a	Standard MAGNAPHONIC RECO RDING	*
//	I b	Standard MAGNAPHONIC RECO RDING	*

中	下	下 緑	商標 番号
*	*	MADE IN NIPP ON TEIKOKU...	54
*	*	MADE IN NIPP ON TEIKOKU...	54
テイチレコード	*	ELECTRICAL PR OCESS...	55
テイチレコード	*	ELECTRICAL PR OCESS...	55
*	*	MADE IN JAPAN TEIKOKU...	56
*	*	NARA-SHI TEIK OKU...	56
*	*	MADE IN JAPAN TEIKOKU...	56
*	*	MADE IN JAPAN TEIKOKU...	56
*	*	MADE IN JAPAN TEIKOKU...	56
スタンダード (左)	*	MADE IN JAPAN TEIKOKU...	57
スタンダード (左)	*	MADE BY STAN DARD...	57

54 ウマ A



55 ウマ B



56 ウマ C



57 ハアブ



盤名	様式記号	上	縁	上
アサヒ	I a		*	アサヒ
//	II a		*	アサヒレコード
サロン	I a		*	Salon
ハルダンジ	I a		*	春団治レコード
センターア	I a		*	センターレコード(縦2)
//	II a		*	Magnophonic Recording CENTER
ツル	I a		*	ツルレコード TSURU
ツルジルシ	I a		*	ツル印
//	II a		*	ツル印
ワールド	I a		*	*
エジソン	I a		*	EDISON

58 ツル A





中	下	下 縁	商標 番号
*	*	大日本大和蓄音器商 会	58
ELECTRICAL PROCESS RE CORDING...	*	THE ASAHI GRA MOPHONE...	104
ELECTRICAL PROCESS (左)	*	THE ASAHI GRA MOPHONE...	105
*	*	THE ASAHI GRA MOPHONE...	105
ELECTRICAL RECORDING (左)	*	MANUFACTURE D BY-ASAHI...	106
*	*	MADE IN JAPAN	107
ELECTRICAL PROCESS (左)	*	株式会社アサヒ蓄音 器商会	59
*	*	株式会社アサヒ蓄音 器商会	58
電気吹込	*	株式会社アサヒ蓄音 器商会	60
高級レコード	*	ウオールドレコード株 式会社	61
H. W. M. ELECTRICAL PROCESS RECORDING	*	MADE BY NIPP ON EDISON...	62

104 アサヒ



105 サロン



106 エデン



107 センター



59 ツル B



60 ツル C



61 メン



62 アケボノ



盤名	様式 記号	上	縁	上
エジソン	Ⅱ a		*	EDISON
エトワアル	I a		*	ÉTOILE
//	Ⅱ a		*	ÉTOILE
エンゼル	I a	HER SWEET VOICE (右) ANGEL (右)		*
カスガ	I a	KASUGA RECORD		*
コオラン	I a	CORAN RECORD		*
ヨシノ	I a	YOSHINO RECORD		*
キリン	I a		*	KIRIN
キング	I a	KING-RECORD		*
ヤヨイ	I a		*	Yayoi Record 弥生
//	Ⅱ a		*	Yayoi Record

62 アケボノ



110 ツズミ



中	下	下 緑	商標 番号
H. W. M. ELECTRICAL PROCESS RECORDING	*	MADE BY NIPP ON EDISON...	62
*	*	ÉDITEUR FRP...	63
エトワールレコード NEW ELECTRICAL PROCE SS	Éditeur F. R. P. ... (2)	*	63
GRAND PRIZE LONDON 1904...	*	MADE BY THE ANGEL...	64
*	*	PATENTED & RE GISTERED JUNE 1913...	108
*	*	PATENTED & RE GISTERED JUNE 1913...	109
*	*	PATENTED & RE GISTERED JUNE 1913...	110
DYNAPHONE RECORDING 優良国産	*	MADE IN NIPPO N	65
*	*	MADE EXCLUSIV ELY BY...	111
ELECTRICAL RECORDING (左)	*	TOKYO RECORD M. F. CO.	112
ELECTRICAL RECORDING (左)	*	MANUFACTURE D BY TOKYO...	113

63 ド セ イ



64 テンニヨ



108 シ カ



109 タンチョオ



65 キ リ ン



111 オ オ ム



112 オ ン サ



113 サ ク ラ



盤名	様式 記号	上 縁	上
キンシ	I a	KINSHI RECORD	*
ギンザ	I a	*	東京芸術協会特製 銀座レコード
キンチョオ	I a	Kincho Record	*
トッキョ	I a	*	金鳥印
タカシマヤ	I a	*	タカシマヤレコード
〃	II a	*	専売特許 電気吹込 タカシマヤレコード
グンカン	I a	GUNKAN RECORD	*
ゴールドコイン	I a	GOLD COIN RECORD	*
コッカ	I a	*	電気吹込 KOKKA
コロナ	I a	CORONA	*
コンパル	I a	*	Compal Recording COMPAL

66 クンシヨオ



114 グンカン



中	下	下 緑	商標 番号
*	*	THIS IS THE...(3)	66
GINZA RECORD	*	銀座 東京芸術協会 吹込 三ノ三	67
金鳥レコード	*	専売特許 PATENT RECORD...	68
特許レコード	*	*	69
*	*	TAKASHIMAYA RECORD	70
ELECTRIC RECORDING	特許レコード製作所	*	70
MADE IN JAPAN	*	THE MOST STRO NG...	114
MADE IN JAPAN	*	THIS IS THE...(2) CENTAUR RECO RD	115
ELECTRICAL PROCESS... コッカレコード	*	MADE IN JAPAN KOKKA...	116
コロナ・レコード株式会社製・ 川崎 (左)	*	*	117
SPECIAL SELECTION	*	COMPAL RECOR D...	118

67 ウ メ



68 インコ A



69 インコ B



70 マルタカ



115 コイン



116 ケイリラ



117 カラス



118 コンパル

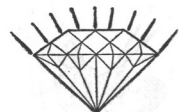


盤 名	様式 記号	上 縁	上
シ ョ オ ワ	I a	Showa Record	シヨウワレコード
//	II a	*	電気吹込 ELECTRIC... SHOWA
J. O.	I a	*	J. O. Record
ス ワ ン	I a	SWAN RECORD	*
//	II a	SWAN RECORD	*
D. C. C.	I a	DAINIPPON-CELLULO ID CO., LTD.	D. C. C.
//	II a	*	D. C. C.
ダイヤモンド	I a	*	ダイヤモンド
タ イ ヨ オ	I a	*	太陽
ダ ン ス	I a	DANCE RECORD	*
チャンピオン	I a	*	CHAMPION
デ ン オ ン	I a	DENON	*
ト オ ア	I a	TOA-RECORD TOA PHONE CO., LTD.,	*

71 ショオワ



73 ダイヤ



中	下	下 緑	商標 番号
電気吹込	*	昭和レコード製作所	71
シヨウワレコード	*	*	72
*	*	MADE BY J. O. RECORD...	119
*	*	THE MOST...	120
*	*	THE MOST...	121
*	*	*	*
*	*	DAINIPPON-CELL ULOID...	*
最新電気吹込 日満独米仏特許 出願済	*	大阪・日本録音株式 会社・東京	73
G. E. S. 電気吹込 (左)	*	太陽蓄音器株式会社	122
LOUDEST & STRONGEST	*	MADE EXCLUSIV ELY FOR...	74
ELECTRIC RECORDING	*	*	75
*	*	NIPPON DENKI ONKYO...	*
ハト印レコード	*	RECORDED IN... 大日本東亜蓄音器...	76

72 ショオワB



119 J.O.



120 スワンA



121 スワンB



122 タイヨオ



74 ダンス



75 ホシ



76 ハト



盤名	様式 記号	上 縁	上
ト オ ア	II a	TŌA-RECORD TOA PHONE CO., LTD.,	*
ピ ジ ョ ン	I a	PIGEON-RECORD	*
ゴ シ キ	I a	*	GOSHIKI RECORD 五色レコード
ト オ ゴ オ	I a	TOGO RECORD	*
//	I b	TOGO RECORD	*
ト ン ボ	I a	*	トンボレコード TOMBO
//	II a	*	トンボレコード TOMBO
ニ ッ ポ ン	I a	*	Electric Recording (右) NIPPON RECORD トンボ印ニッポンレコード (縦左)
//	II a	*	Electric Recording TOMBO トンボ印 NIPPON RECORD ニッポンレコード
//	III a	NIPPON RECORD	Electric Recording



中	下	下 縁	商標 番号
*	*	RECORDED IN... 大日本東亜蓄音器...	76
ハト印レコード	*	クラブ化学工業研究 所	76
*	*	KURABU KAGAK U KOGYO...	123
*	*	Made by Meiji...	77
*	*	Made by Union...	77
Magnaphonic Recording	*	オーゴンレコード会 社製	78
MAGNAPHONIC RECORDI NG	*	東京オーゴンレコー ド株式会社...	124
*	電気吹込 (縦左)	*	79
電気吹込	*	MADE IN JAPAN	80
電気吹込	*	TOKYO THE NIP PON RECORD...	81

76 ハ ト



123 コ ト リ



77 ト オ ゴ オ



78 ト ン ボ A



124 ト ン ボ E



79 ト ン ボ B



80 ト ン ボ C



81 ト ン ボ D



盤名	様式 記号	上	縁	上
オオゴン	I a		*	Magnophonic Recording AUGON
ユーモア	I a		*	ユーモアレコード ELECTRIC RECORDING (左)
N H R	I a	日本放送録音		NHR
ノオマル	I a		*	<b>n</b> ORMAL
パイオニヤ	I a	PIONEER		パイオニヤ
ハッピー	I a		*	<i>Happy</i>
ポピュラア	I a		*	Popular
バタフライ	I a		*	BUTTERFLY REC ORD 蝶印肉声レコード
ピース	I a	PEACE RECORD		*
ヒロオベスト	I a	THE HERO BEST RECORD		*
ビューティ	I a	BEAUTY RECORD		*

125 オオゴン



129 ポピュラア



中	下	下 緑	商標 番号
オーゴンレコード	*	MADE IN JAPAN 東京オーゴン…(2)	125
*	*	オーゴンレコード会 社製…	125 126
*	昭和二十八年十月十 三日放送	NIPPON HOSO R OKUON…	*
国産優秀	*	MANUFACTURD BY NIPPON…	127
*	*	*	82
*	*	MANUFACTURD BY LUCKY…	128
*	*	MADE BY LUCKY …	129
*	*	大阪酒井公声堂製	130
*	*	PEACE RECORD…	131
SONGS & MUSICS.	*	MADE EXCLUSIV ELY BY…	83
MADE IN JAPAN	*	THE MOST…	84

126 ビエロ



127 クロンボ



82 イカリ



128 ハッピー



130 チヨオ



131 ヤギ



83 シシウマ



84 ウタヒメ



盤名	様式記号	上	縁	上
フ タ ミ	I a		*	Futami 電気吹込 (縦)
〃	II a		*	Futami 電気吹込
ホ オ オ オ	I a		*	Magnophonic Recording HO-OH RECORD
ホ オ ガ ク	I a	ほうがくレコード		著作権吹込者所有 電気吹込
〃	II a	ほうがくレコード		邦楽同好会製 電気吹込
〃	II b	ほうがくレコード		邦楽同好会製 大阪
ハ ン プ カ イ	I a		*	松葉家音譜頒布会発行
〃	II a		*	鶴沢叶レコード頒布会
〃	III a		*	茂山千五郎師古稀記念吹込 大蔵流 狂言名曲音譜 頒布会発行
ミ カ ド	I a	MIKADO RECORD		*
〃	I b	MIKADO RECORD		*
ミ リ オ ン	I a		*	PANTONIC RECORDING <i>Million Record</i>

中	下	下 緑	商標 番号
フタミレコード	*	*	85
フタミレコード	*	*	85
ホーオーレコード	*	*	132
*	邦楽同好会…試供盤	邦楽同好会製	86
*	*	*	86
電気吹込	*	*	86
電気吹込	*	大阪市 邦楽同好会製	87
電気吹込	*	邦楽同好会製 大阪	88
電気吹込	*	邦楽同好会製	133
JAP. PAT. OFF (右)	*	MIKADO PHONO GRAPH...	89
*	*	MIKADO PHONO GRAPH...	89
*	*	MANUFACTURE D BY MILLION...	90

85 フタミ



132 ホオオオ



86 タイコ



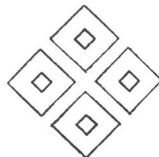
87 マツバ



88 タチバナ



133 ヨツメ



89 ネコ



90 スズメ



盤 名	様式 記号	上 縁	上
モモタロオ	I a	MOMOTARO RECO RD	*
ヤチヨ	I a	*	YACHIYO
ライオン	I a	LION RECORD	*
フィルモンエン ドレスサウンド ベルト	I a	(フィルム状レコード)	

中	下	下 縁	商標 番号
*	*	*	91
ELECTRICAL PROCESS (左)	*	MADE BY YACHI YO...	134
*	*	MADE BY THE LION...	135
			*

91 モモタロオ



134 ヤチヨ



135 ライオン



## 音盤題紙様式記号決定要項

第1条 音盤題紙様式記号は、東京国立文化財研究所に所蔵する音盤を分類整理するために決定するものである。

第2条 様式記号は、分類記号及び識別呼称の組み合わせによって表わす。

第3条 分類記号は、盤名を同じくする題紙ごとに、次の各号の形状及び位置を準拠として決定する。

準拠イ. 商号。

例1 Victor

例2 COLUMBIA PHONOGRAPH CO.

準拠ロ. 商標。

テ ソ シ

例1



カイボシ

例2

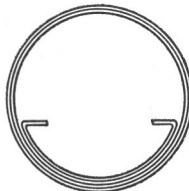


準拠ハ. 商号・商標等を囲む外わく。

例1



例2





準拠ニ．吹込形式の記載。

例 1 電気吹込

例 2 Orthophonic Recording

準拠ホ．その他の主要記載。

例 1 製作会社名等を示す記載

例 2 特許取得を示す記載

**第 4 条** 前条の準拠イ・ロ・ハ・ニを同じくするものごとを一括して大分類とし、分類記号にはローマ数字を用いる。同一盤名の題紙の中が、二種以上に分類される場合の番号は、おおむね発売年代順とする。

**第 5 条** 大分類の準拠に加え、更に準拠ホをも同じくするものごとを一括して小分類とし、分類記号には、アルファベット小文字を用いる。同一大分類記号の題紙の中が、二種以上に分類される場合のアルファベットの順位は、おおむね発売年代順とする。

**第 6 条** 識別呼称は、商標呼称・形状呼称の二種とし、相互に関連づけて命名するのを原則とする。ただし無商標の題紙は形状呼称のみを命名する。

**第 7 条** 商標呼称は、商標の図柄の視覚的特色により、かたかな五文字以内で命名し、必要な場合は、A B C 順にアルファベットの大文字を添えて呼称とする。

例 1 イヌ

例 2 ツバメ A (他にツバメ B・C・D・E がある)

例 3 オンパ B (他にオンパ A・C・D がある)

**第 8 条** 形状呼称は、題紙に記された商標・装飾・わく形などの視覚的特色によって命名し、かたかな七文字以内とする。

例 1 インコ

例 2 ワクナシ・イヌ

例 3 ナカ・ラクダ (ラクダの商標が題紙中央部にある)

例 4 テン・ツバメ (ツバメの商標が題紙天頂部にある)

**第 9 条** 同一の形状呼称が、二種以上の盤名のものに付されるために区別する必要がある場合は、二つめ以降のものには、盤名のローマ字書き頭文字等をアルファベット大文字で小さく添えて呼称とする。

例 1 ナカ・ワシ R (盤名ロオヤル。他にニッポノホンのナカ・ワシがある)

例 2 テンシ C (盤名グラモホンコンサート。他にグラモホンのテンシがある)

例 3 ガク・イヌ L (盤名ビクトロオラ。他にビクタアのガク・イ

スがある)

第10条 同一形状呼称の題紙のうち、異なる分類記号に属するため、その他微視的差異があるために区別する必要がある場合は、形状呼称に算用数字を添えて示す。

- 例1 マツバ (分類記号Ⅰa・商標呼称マツバ)
- 例2 テン・ワシ1 (分類記号Ⅱa・商標呼称ワシB)
- 例3 テン・ワシ4 (分類記号Ⅲc・商標呼称ワシB)
- 例4 ガク・オンブR2 (分類記号Ⅰb・商標呼称オンブD)
- 例5 ワクナシ・イヌ7 (分類記号Ⅰb・商標呼称イヌであるが、種類が多いため他の特色によって呼称としたもの)
- 例6 フチ・ナガジ2 (分類記号Ⅲa・無商標)

別表 5 (B)

(略)

# 索引

- 1 題名索引  
(歌舞伎)
- 2 奏演者索引
- 3 詞章索引  
(能) (歌舞伎)

## 索引1 題名索引(歌舞伎)

### 凡 例

- 1 この索引は、本書に収めた演目の名称について、題名・場名の、通称・俗称・略称・別称などより、本書に用いた題名・場名を知ることができるように作成した。
- 2 項目名を五十音順に配列し、それぞれについて、本書に用いた題名番号と題名・場名の略号を列記した。
- 3 本書に用いた題名の初めの二文字以上による略称は省いた。

例 伊賀越・伊勢音頭

- 4 場名は末尾の「の場」を省略して項目名とした。
- 5 題名の発音が同じでも文字づかいの異なるものは、それぞれを項目名としたが、同じ語を頭に置いた二つ以上の項目は、( ) を用いて一項目にまとめた。

例 阿古屋(琴責・三曲)は「阿古屋」「阿古屋琴責」

「阿古屋三曲」の三項目を一項目にまとめたもの。ただし、「〇〇内」と「〇〇住家」等は、適宜に一つだけ挙げた。

- 6 題名・場名略号は、「音盤カード記入規定 別表2」(128ページ)によった。

## 〔ア〕

愛想づかし	10江戸小・17箆釣八
	59俠御甲
青葉時浮名横櫛	83処女
青山播磨邸	76番町
明石の島蔵	50島衛
赤羽根橋	25勦善赤
赤間屋	83処女赤
明智光秀	11絵本・72時今
阿古屋(琴責・三曲)	61壇浦
浅茅ヶ原	77一家
足利家奥御殿	85伽羅鶴
足利館	85伽羅鶴
足利館(殿中・長廊下)	21仮名足
仇討	4伊賀
安宅(新関・関)	24勦進
仇情浮名諷	90若木
油地獄	15女殺
油屋(大座敷・店先)	5伊勢油
尼ヶ崎	11絵本
天下知桔梗旗上	72時今
荒木又右衛門	4伊賀
阿波の鳴門	36阿波

## 〔イ〕

伊賀上野の仇討	4伊賀
いがみの権太	88千本釣
碓知盛	88千本大
十六夜清心	40小袖
石川五右衛門	45楼門
石切梶原	18梶原
井筒屋(表座敷・奥座敷)	38恋飛
磯部邸(玄関・奥庭)	53新皿
一条戻橋	86戻橋
一の谷組討	6一谷須
一の谷陣屋	6一谷直
一力(茶屋)	21仮名一
稲妻表紙	60曲輪
稲瀬川(勢揃)	1青砥稻

稲瀬川百本杭	40小袖稻
伊予松山谷間	14大森
入谷村	32天衣入
入鹿御殿	8妹背
入鹿館	8妹背
入墨新三	68梅雨

## 〔ウ〕

浮世柄比翼稻妻	60曲輪
討入	21仮名節・87夜討祐
移籠仇名草	90若木
馬切り	43三千
梅王松王桜丸	56菅原
梅川忠兵衛	38恋飛
梅忠	38恋飛
梅春俠客御所染	59俠御
浦里時次郎	2夢泡
怨みの鮫鞘	22鐘諸

## 〔エ〕

絵合太功記	11絵本
永代橋(橋詰)	68梅雨永
江戸桜清水清玄	34黒手
江戸城堀	35慶安
江島育根生児菊	1青砥
縁切り	10江戸小・17箆釣八・59俠御甲
閻魔堂橋	68梅雨閻
塩冶(判官)館(門外)	21仮名塩

## 〔オ〕

大川端(庚申塚・出会)	44三人
扇ヶ谷(上屋敷)	21仮名塩
大口屋暁雨	29俠客
大口屋寮	32天衣大
大阪城黒書院	30桐一黒
大阪城糶庫	80杵手
大阪城淀君寝所	30桐一淀
逢坂山新関	67積恋
逢州殺し	59俠御廓
大土蜘蛛	64土蜘蛛

大星閑居 21仮名 由  
 お軽勘平 21仮名 戸  
 おかる身売り 21仮名 与  
 奥座敷 38恋飛  
 奥庭 2夢泡・58増桃・81本朝  
 お里沢市 66壺坂  
 お嬢吉三 44三人  
 お染半九郎 73鳥辺  
 落人 21仮名 戸  
 お妻八郎兵衛 22鐘諸  
 俠客春雨傘 29俠客  
 男成島女定九郎 63後日  
 音菊弁天小僧 1青砥  
 お富与三郎 83処女・89与話  
 鬼薊廓色縫 40小袖  
 鬼薊清吉 40小袖  
 お祭佐七 10江戸  
 お三輪 8妹背  
 親譲御所五郎藏 59俠御  
 女河内山 84紫被  
 女定九郎 63後日  
 隠亡堀 69四谷

〔力〕

会稽曾我 51会稽  
 加賀騒動 16鏡山  
 瓦鐘寺(のだんまり) 55水滸  
 霞ヶ関 21仮名 塩  
 形見草四谷怪談 69四谷  
 加藤清正 58増桃  
 兜あらため 21仮名 鶴  
 兜軍記 61壇浦  
 甲屋(縁切り) 59俠御 甲  
 鎌倉河岸 10江戸 菊  
 鎌腹 9四十  
 釜屋 28吉様  
 紙治 54天網  
 紙屋(治兵衛)内 54天網 紙  
 紙屋治兵衛 54天網  
 髪結新三 68梅雨

亀千代館 47先代  
 亀屋 27木曾  
 烏 2夢泡  
 河庄 54天網 河  
 河内屋 54天網 河  
 神崎(与五郎)東下り 3赤穂  
 観音靈験記 66壺坂  
 勘平切腹 21仮名 与

〔キ〕

祇園一力 21仮名 一  
 菊畑 26鬼一  
 菊本(裏手) 10江戸 菊  
 喜三郎内 23神明 喜  
 義士討入 21仮名 師  
 義士外伝 9四十・19復讐  
 義士銘々伝 3赤穂・9四十・19復讐  
 北河岸庚申塚 44三人  
 北の新地河庄 54天網 河  
 狐忠信 88千本 伏  
 狐火 81本朝  
 木村長門守 30桐一 黒  
 暁雨 29俠客  
 俠客御所五郎藏 59俠御  
 切られお富 83処女  
 切られ与三 89与話  
 近八 13近江  
 金門五三桐 45楼門

〔ク〕

楠屋 21仮名 楠  
 樟紀流花見慕張 35慶安  
 九段目 21仮名 由  
 工藤仮屋 51会稽・87夜討 祐  
 工藤祐経館 41寿曾  
 工藤館討入 87夜討 祐  
 熊谷陣屋 6一谷 直  
 熊谷呼び返し 6一谷 須  
 組打 6一谷 須  
 車場 56菅原

車引 56菅原  
 廓の鞆当 60曲輪  
 黒手組の助六 34黒手

〔ケ〕

けいせい阿波鳴門 36阿波  
 契情阿波の鳴門 36阿波  
 傾城恋飛脚 38恋飛  
 けいせい青陽鶴 43三千  
 毛剃(九右衛門) 74博多  
 喧嘩場 21仮名 足  
 源氏店(妾宅・強請) 89与話  
 謙信館奥庭 81本朝  
 玄治店 89与話

〔コ〕

恋歌(の意趣) 21仮名 足  
 恋十 37恋女  
 小糸内 10江戸 小  
 小糸佐七 10江戸  
 恋湊博多諷 74博多  
 格子先 59俠御 廓  
 麴町村井長庵宅 25勸善 長  
 講釈場 3赤穂 本  
 庚申塚 44三人  
 河内山(宗俊) 32天衣  
 河内山と直侍 32天衣  
 五三桐 45楼門  
 五条坂(出合・仲の町) 59俠御 仲  
 孤城の落月 80杓手  
 御所五郎蔵 59俠御  
 御所模様扇重縫 59俠御  
 御存鈴ヶ森 57鈴森  
 往古模様扇重縫 59俠御  
 炬燵 54天網 紙  
 五段目 21仮名 山  
 御殿 8妹背・85伽羅 鶴  
 御殿場 85伽羅 鶴  
 琴唄 61壇浦  
 琴責め 61壇浦

五人男 1青砥  
 此糸部屋 90若木  
 此糸蘭蝶 90若木  
 小春治兵衛 54天網  
 小堀政談 28吉祥  
 子別れ 36阿波・37恋女  
 権九郎 34黒手 不  
 権太 88千本 鈎  
 権八 57鈴森

〔サ〕

魚屋宗五郎 53新皿  
 坂町裏道 22鐘諸 坂  
 嵯峨や御室 48忍夜  
 さつき内 11絵本  
 薩睡峠 83処女 薩  
 座頭沢市住居 66壺坂  
 廓花対編笠 60曲輪  
 柳巷晴着薊色縫 40小袖  
 花街模様薊色縫 40小袖  
 廓模様比翼稲妻 60曲輪  
 佐野次郎左衛門 17箆鈎  
 佐野八橋 17箆鈎  
 鞆当 60曲輪  
 皿屋敷 53新皿・76番町  
 沢市内 66壺坂  
 三吉(子)別れ 37恋女  
 三曲 61壇浦  
 三拾三所花野山 66壺坂  
 三段目 21仮名 足  
 三人吉三巴白浪 44三人  
 三幅对上野風景 32天衣  
 山門 45楼門

〔シ〕

敷皮の五郎 87夜討 頼  
 時雨雲村井破傘 25勸善  
 時雨の炬燵 54天網 紙  
 重の井(子別れ) 37恋女  
 四十七刺忠箭計 21仮名 楠

四十七訓 9四十  
 四条河原 73鳥辺  
 地震加藤 58増桃  
 七太夫内 9四十  
 七段目 21仮名一  
 実録伊達 47先代  
 実録忠臣蔵 65土屋  
 実録の助六 29俠客  
 不忍池 34黒手不  
 忍夜孝事寄 48忍夜  
 清水一角 62実記  
 十段目 11絵本  
 重重人重小町桜 67積恋  
 十人斬 5伊勢油  
 十番斬 87夜討祐  
 十兵衛殺し 25勸善赤  
 酒戦の強者 12大杯  
 巡礼唄 36阿波  
 招魂社(鳥居前) 50鳥衛  
 丈左衛門内 62実記  
 倡女誠長田忠孝 33鞍暗  
 白井権八 57鈴森  
 白浪五人男 1青砥  
 城(明)渡し 21仮名塩  
 新三内 68梅雨新  
 新皿屋敷朧月影 53新皿  
 心中紙屋治兵衛 54天網  
 新関(所) 24勸進  
 新地茶屋 54天網河  
 陣屋 6一谷直・13近江  
  
 【ス】  
 祐経仮屋 51会稽・87夜討祐  
 助六 34黒手  
 鮎屋 88千本釣  
 鈴森对霨杭 57鈴森  
 裾野の対面 51会稽  
 須磨の浦(組打) 6一谷須  
  
 【セ】  
 勢揃い 1青砥稲

関の扉 67積恋  
 切腹 21仮名塩与  
 先陣館 13近江  
 先代萩 47先代・85伽羅  
 千太島蔵 50鳥衛  
 船中 74博多  
 千日前墓所 22鐘諸  
 千本桜 88千本  
  
 【ソ】  
 相馬の古御所 48忍夜  
 曾我討入 87夜討  
 曾我会稽山 51会稽  
 曾我十番斬 87夜討祐  
 曾我的対面 41寿曾  
 曾我問答 87夜討頼  
 其面影稲妻草紙 60曲輪  
 其俤对編笠 60曲輪  
 蕎麦屋 21仮名楠  
 染分手綱 37恋女  
  
 【タ】  
 大晏寺(堤) 20檻褌  
 対決 85伽羅間  
 太功記 11絵本  
 太十 11絵本  
 大序 21仮名鶴  
 大尽の鍔刀 21仮名一  
 対面 74寿曾・51会稽  
 題目石前 57鈴森  
 大物の浦 88千本大  
 高田の馬場(の仇討) 19復讐  
 焚出し喜三郎内 23神明喜  
 滝夜叉(姫) 48忍夜  
 多左衛門内 89与話  
 立花屋屋根 17篋釣立  
 辰五郎内 23神明辰  
 伊達家奥殿 47先代  
 伊達騒動 47先代・85伽羅  
 伊達館 47先代・85伽羅鶴  
 谷川 14大森



丹波屋 22鐘諸丹  
丹波与作 37恋女  
だんまり 33鞍暗・55水滸・82宮島

〔チ〕

主税内 65土屋  
茶屋 38恋飛・54天網河  
茶屋裏手堀端 10江戸菊  
茶屋場 21仮名一  
忠九 21仮名由  
忠七 21仮名一  
忠臣蔵 3赤穂・9四十・21仮名

62実記・63後日・65土屋  
忠弥 35慶安  
忠六 21仮名与  
長庵内 25勸善長  
千代田城本丸外堀端 35慶安  
寿亀荒木新舞台 82宮島

〔ツ〕

杖の折檻 24勸進  
つづれの錦 20檻褌  
綱館 7茨木  
壺坂観音靈驗記 66壺坂  
妻八 22鐘諸  
鶴ヶ岡(八幡社) 21仮名鶴  
鶴喜代館 85伽羅鶴  
釣瓶鮓屋 88千本釣

〔テ〕

豊島屋(店先) 15女殺  
鉄砲渡し 21仮名山  
手習鑑 56菅原  
殿中(刃傷) 21仮名足  
天人お七 28吉様  
天人香 28吉様  
天網島(時雨炬燵) 54天網  
天保六花撰 32天衣

〔ト〕

戸板返し 69四谷

東海道道行 21仮名東  
道中双六 4伊賀  
時桔梗出世請状 72時今  
時今天下知阜哉 72時今  
戸塚山中 21仮名戸  
鳥羽暇 63後日鳥  
知盛 88千本大  
鳥居前 88千本伏  
どんどろ(大師) 36阿波

〔ナ〕

内藤館 12大杯  
直実陣屋 6一谷直  
直侍 32天衣入大  
長崎丸山揚屋 71唐人  
長門守諫言 30桐一黒  
仲の町 29俠客・34黒手吉  
59俠御仲・60曲輪

長廊下 21仮名山  
名古屋帯雲稲妻 60曲輪  
七草若菜切 90若木  
七つ目 21仮名一  
名橋誉石切 18梶原  
鳴門 36阿波  
南禅寺(山門) 45楼門  
南与兵衛住家 78双蝶

〔ニ〕

廿四孝 81本朝  
二条通り 86戻橋  
二度曠着昔八丈 68梅雨  
刃傷 21仮名山

〔ヌ〕

ぬれ合羽 21仮名山  
濡乙鳥比翼稲妻 60曲輪

〔ハ〕

白蓮内 40小袖白  
馬鹽(の光秀) 72時今  
八段目 21仮名東

花菖蒲慶安実記 35慶安  
 桜花吹雪月横櫛 83処女  
 浜松町辰五郎内 23神明 辰  
 浜松屋(店先) 1青砥 浜  
 播磨内 76番町  
 春雨傘 29侠客  
 曠小袖往昔八丈 68梅雨  
 判官切腹 21仮名 塩  
 幡隨長兵衛 31極付・57鈴森

〔ヒ〕

東の芝居楽屋 79二櫓  
 引恋 78双蝶  
 膝栗毛 27木曾  
 非人の仇討 20襦袢  
 百本杭 40小袖 稻  
 平河天神裏門 25勸善 平

〔フ〕

封印切 38恋飛  
 封文梅吉様 28吉様  
 深川閻魔堂橋 68梅雨 閻  
 武士と馬士 3赤穂  
 伏見稻荷社 88千本 伏  
 伏見街道雨宿 63後日 鳥  
 伏見城奥庭 58増桃  
 二つ玉 21仮名 山  
 二見ヶ浦 5伊勢 二  
 不破名古屋 60曲輪

〔ヘ〕

弁天小僧 1青砥  
 弁天娘女男白浪 1青砥

〔ホ〕

星合寺 18梶原  
 繻庫 80杓手  
 時鳥侠客御所染 59俠御  
 早苗鳥伊達聞書 47先代  
 堀川御所 61壇浦

堀端 35慶安  
 堀部安兵衛 19復讐  
 本能寺 72時今

〔マ〕

牧山邸 62実記  
 政岡忠義 85伽羅 鶴  
 将門 48忍夜  
 またかのお関 84紫被  
 松井家玄関先 84紫被  
 松江邸玄関先 32天衣 松  
 松ヶ崎 87夜討 松  
 松坂町土屋邸 65土屋  
 松島千大 50島衛  
 松平長七郎 43三千  
 松の間 21仮名 足  
 摩耶山 46鋳引  
 丸橋忠弥 35慶安

〔ミ〕

三浦大助紅梅鞆 18梶原  
 身売り 21仮名 与  
 三保浦松月横櫛 83処女  
 三笠山御殿 8妹背  
 三島藤家 3赤穂 藤  
 三島本陣 3赤穂 本  
 水野邸(湯殿) 31極付  
 三千歳 32天衣 大  
 道行旅路の花舞 21仮名 戸  
 道行旅路の嫁入 21仮名 東  
 光秀母内 11絵本  
 都大路 56菅原

〔ム〕

昔織織本場八丈 68梅雨  
 宗清離れ座敷 70藤十  
 村井長庵(巧破傘) 25勸善

〔メ〕

冥途の飛脚 38恋飛

め組の喧嘩

23神明

由良之助内  
由留木館

21仮名 由  
37恋女

〔モ〕

文字ヶ関

74博多

〔ヨ〕

元船

74博多

与市兵衛内

21仮名 与・63後日 与

求女殺し

40小袖 稲

吉田社頭

56菅原

戻橋恋の角文字

86戻橋

吉原仲の町

29俠客・34黒手 吉

物語

6一谷 直

吉原百人斬

60曲輪

紅葉山

16鏡山

四段目

17籠釣

桃山御殿奥庭

58増桃

四谷怪談

21仮名 塩

桃山譚

58増桃

淀君寝所

69四谷

盛綱陣屋

13近江

世善知相馬旧殿

30桐一 淀

師直館

21仮名 師

与兵衛内

48忍夜

問注所(対決)

85伽羅 問

頼朝飯屋

78双蝶

〔ヤ〕

頼光館

87夜討 頼

八重垣姫

81本朝

〔ラ〕

弥左衛門内

88千本 釣

頼光館

64土蜘蛛

弥作内

9四十

蘭蝶

90若木

弥作の鎌腹

9四十

〔リ〕

弥次喜多

27木曾

両国橋北河岸

44三人

夜叉王住家

52修禅

〔レ〕

安兵衛内

19復讐

靈験曾我籬

57鈴森

八橋部屋

17籠釣 八

恋慕の倭歌

21仮名 足

柳原土手(仕返し)

10江戸 柳

〔ロ〕

屋根上捕物

17籠釣 立

六段目

21仮名 与

山崎街道

21仮名山・63後日 鳥

六波羅琴責

61壇浦

山科閑居

21仮名 由

〔ワ〕

大和橋

43三千

若木屋(此糸部屋・二階座敷)

90若木

山名屋(奥庭・二階)

2夢泡

若葉梅浮名横櫛

83処女

山伏問答

24勸進

渡辺綱館

7茨木

八幡里(引窓)

78双蝶

〔ユ〕

床下

85伽羅 床

ゆかりの色紫頭巾

90若木

雪責

2夢泡

雪のだんまり

55水滸

雪暮夜入谷畦道

32天衣 入 大

湯殿の長兵衛

31極付

## 索引2 奏演者索引

### 凡 例

- 1 この索引は、本書の目録に記載された全奏演者について、奏演の演目の題名・場名を知ることができるように作成した。
- 2 奏演者名を種目別に五十音順に配列し、その下に題名番号と題名・場名略号を列記した。
- 3 必要な場合は奏演者の代数をローマ数字で頭記し、雅号・屋号等をくくりに入れて添記した。
- 4 襲名・改名等のために、同一人に二つ以上の名がある時は、それぞれの位置にそれぞれの名による奏演の演目を掲げたが、たがいに参照できるように、→印を付して他の名を示すことにした。
- 5 題名・場名略号は、「音盤カード記入規定 別表2」(126ページ)によった。ただし、題名番号のないものは、題名番号の代りに…印を置いた。また、同一種目で題名番号の重複するものは、区別し得る文字を頭記した。
- 6 同一人の奏演に同一演目(同題名で同場名)の音盤が二つ以上ある場合も、この索引には一回だけ出すことにした。この場合に、音盤によって演目中の異なる部分が収められていることもあるが、それは目録の詞章欄によって知ることができる。

11 能

〔ア〕

浅井真健  
13 忠霊  
栗谷益二郎  
8 桜川  
11 高砂

〔イ〕

石田清吉  
3 杜若  
9 隅田  
18 羽衣  
22 松風  
28 弱法  
一噌鏝二  
13 忠霊  
一噌又六郎  
… 早舞  
一噌要三郎  
3 杜若  
28 弱法

〔ウ〕

〔梅若万三郎〕  
1 嵐山  
3 杜若  
9 隅田  
13 忠霊  
20 花筐  
26 山姥  
28 弱法  
梅若六郎〈景昭〉  
1 嵐山  
9 隅田  
15 天鼓

〔オ〕

大倉喜太郎  
12 竹生  
大倉宜利  
15 天鼓  
大槻十三  
13 忠霊

〔カ〕

金子亀五郎  
6 小督  
12 竹生  
川崎利吉  
12 竹生  
… 早舞  
観世織雄  
13 忠霊  
観世清廉  
22 松風  
観世左近〈元滋〉  
6 小督  
17 難波  
18 羽衣  
22 松風  
観世鏡之丞〈華雪〉  
13 忠霊  
観世元規  
12 竹生  
観世元正  
13 忠霊  
〔観世喜之〕  
22 松風

〔キ〕

北村一郎

13 忠霊

喜多六平太〈能心〉  
5 鞍馬  
12 竹生  
15 天鼓  
18 羽衣  
27 熊野

〔ク〕

幸 五郎  
18 羽衣  
幸 悟朗  
… 早舞  
金春惣右衛門〈国泰〉  
13 忠霊  
… 早舞

〔サ〕

斎田喜一郎  
15 天鼓  
坂井音次郎  
13 忠霊  
桜間金太郎  
4 加茂  
5 鞍馬  
16 融  
19 鉢木  
25 紅葉  
… 四季小謡集

〔ス〕

杉山立枝  
15 天鼓

〔タ〕

高安道喜

13 忠靈 〔又〕	18 羽衣 22 松風 〔木〕	宝生新 2 蟻通 10 殺生 〔マ〕
沼 艸雨 … 名人のおもかげ 〔ノ〕	宝生九郎〈重英〉 18 羽衣 宝生九郎〈知栄〉 7 胡蝶 9 隅田 14 鶴亀 18 羽衣 19 鉢木 21 船弁 22 松風 23 松虫 24 三井 26 山姥	増見仙太郎 3 杜若 18 羽衣 〔ミ〕
野口政吉 9 隅田 18 羽衣 21 船弁 22 松風 〔フ〕		Ⅰ 三須錦吾〈錦掌〉 9 隅田 22 松風
藤田多賀造 9 隅田 12 竹生		三須平司 3 杜若 28 弱法

12 狂 言 〔小ハ狂言小謡〕

〔オ〕	小3 子日 小4 福神 〔夕〕	藤江又喜 2 柿山 〔ム〕
岡田紫男 3 不聞 〔シ〕	田中保清 1 靱猿 〔ノ〕	武藤達三 1 靱猿 〔ヤ〕
茂山真一 1 靱猿 小2 七子	野村万斎 小1 咄 小2 七子 〔フ〕	Ⅱ 山本東次郎〈則忠〉 3 不聞
茂山政次 1 靱猿 X 茂山千五郎〈I千作〉 1 靱猿		山脇和泉〈元照〉 2 柿山

13 歌 舞 伎

〔ア〕	22 鐘諸 78 双蝶 嵐巖右衛門 19 復讐	Ⅵ 嵐吉三郎 6 一谷直 20 襤褸 56 菅原
Ⅲ 浅尾大吉 12 大杯		

- 嵐 小笑  
 19 復讐  
 嵐 立花  
 17 籠釣八  
 嵐 璃徳  
 19 復讐

〔イ〕

- 市川荒司  
 24 勸進  
 II 市川荒次郎  
 24 勸進  
 32 天衣 松  
 35 慶安  
 51 会稽  
 76 番町  
 88 千本 大  
 89 与話  
 II 市川荒太郎  
 12 大杯  
 22 鐘諸  
 38 恋飛  
 42 西郷  
 54 天網 紙  
 IV 市川市蔵  
 38 恋飛  
 65 土屋  
 II 市川右団治  
 8 妹背  
 38 恋飛  
 IX 市川海老蔵  
 24 勸進  
 市川莚女  
 5 伊勢 油  
 III 市川莚升  
 12 大杯  
 52 修禪  
 II 市川猿之助  
 15 女殺  
 25 勸善

- 27 木曾  
 31 極付  
 46 鋳引  
 50 島衛  
 51 会稽  
 71 唐人  
 75 橋弁  
 87 夜討  
 88 千本 大  
 IV 市川男女蔵  
 1 青砥 浜  
 53 新皿  
 68 梅雨 永  
 88 千本 釣  
 市川河十郎  
 19 復讐  
 IV 市川九蔵  
 29 俠客  
 IV 市川紅若  
 6 一谷 須  
 13 近江  
 32 天衣 松  
 58 増桃  
 63 後日  
 II 市川小太夫  
 25 勸善  
 31 極付  
 50 島衛  
 60 曲輪  
 VIII 市川高麗蔵  
 → VII 松本幸四郎  
 24 勸進  
 30 桐一 黒  
 市川才十郎  
 19 復讐  
 市川左近  
 52 修禪  
 II 市川左升  
 10 江戸 柳

- 15 女殺  
 18 梶原  
 52 修禪  
 76 番町  
 87 夜討  
 II 市川左団次  
 12 大杯  
 35 慶安  
 52 修禪  
 73 鳥辺  
 76 番町  
 II 市川寿猿  
 87 夜討  
 市川松蓮  
 52 修禪  
 II 市川松蔦  
 6 一谷 直  
 52 修禪  
 73 鳥辺  
 76 番町  
 IV 市川新升  
 8 妹背  
 VI 市川寿美蔵  
 12 大杯  
 35 慶安  
 46 鋳引  
 52 修禪  
 75 橋弁  
 V 市川染五郎  
 → 松本純蔵  
 24 勸進  
 I 市川たかし  
 21 仮名 足  
 I 市川段猿  
 31 極付  
 III 市川段四郎  
 25 勸善  
 51 会稽  
 87 夜討

- 88 千本大  
**Ⅶ市川中車**  
 6 一谷直  
 35 慶安  
 47 先代  
 57 鈴森  
 80 沓手  
**市川時子**  
 2 夢泡  
**Ⅱ市川箱登羅**  
 5 伊勢油  
 38 恋飛  
 65 土屋  
**市川松三郎**  
 21 仮名与  
**Ⅷ市川八百蔵**  
 25 勧善  
 46 鋳引  
 50 島衛  
 51 会稽  
 71 唐人  
 75 橋弁  
**XV市村羽左衛門**  
 1 青砥浜  
 " 稲  
 5 伊勢油  
 10 江戸  
 18 梶原  
 21 仮名鶴  
 " 足  
 " 塩  
 " 山  
 " 与  
 " 一  
 23 神明辰  
 24 勧進  
 28 吉祥  
 30 桐一黒  
 32 天衣松

- 32 天衣入  
 " 大  
 34 黒手  
 39 勾当  
 40 小袖稲  
 " 白  
 44 三人  
 45 楼門  
 46 鋳引  
 50 島衛  
 56 菅原  
 57 鈴森  
 59 俠御甲  
 60 曲輪  
 62 実記  
 68 梅雨新  
 " 閩  
 72 時今  
 77 一家  
 80 沓手  
 85 伽羅問  
 87 夜討  
 88 千本釣  
 89 与話  
**Ⅶ市村家橋**  
 →Ⅳ竹松  
 1 青砥稲  
 18 梶原  
 21 仮名塩  
 " 山  
 " 与  
 24 勧進  
 39 勾当  
 56 菅原  
 59 俠御甲

**市村座付長唄囃子連中**  
 … 芝居囃子十二ヶ月

**Ⅳ市村竹松**  
 →Ⅶ家橋

- 40 小袖稲  
 56 菅原  
 [ウ]  
**梅屋勝之輔**  
 … 芝居囃子の色々  
 [オ]  
**Ⅵ大谷友右衛門**  
 1 青砥浜  
 21 仮名鶴  
 " 足  
 " 塩  
 23 神明喜  
 27 木曾  
 39 勾当  
 59 俠御五  
 68 梅雨新  
 89 与話  
**Ⅵ岡安喜三郎**  
 5 伊勢油  
 10 江戸菊  
 16 鏡山  
 21 仮名師  
 26 鬼一  
 41 寿曾  
 45 楼門  
 49 暫  
 57 鈴森  
 69 四谷  
 87 夜討  
 88 千本伏  
 … 芝居囃子十二ヶ月  
**小川源次**  
 21 仮名一  
**小川政之助**  
 … 芝居囃子の色々  
**Ⅱ尾上伊三郎**  
 68 梅雨新



II 尾上卯三郎

- 3 赤穂 藤
- "    本
- 9 四十
- 54 天網 河
- "    紙

尾上卯十郎

- 3 赤穂 藤
- 9 四十

尾上卯多次

- 3 赤穂 本

I 尾上梅十郎

- 1 青砥 浜

VII 尾上栄三郎

- 32 天衣 大
- 44 三人
- 77 一家
- 87 夜討

尾上華幸

- 88 千本 鈞

尾上蟹十郎

- 53 新皿

VI 尾上菊五郎

- 1 青砥 浜
- 23 神明 喜
- 53 新皿
- 59 俠御 五
- 68 梅雨 永
- "    新
- 88 千本 鈞

III 尾上菊三郎

- 1 青砥 浜
- 23 神明 喜
- 59 俠御 五
- 68 梅雨 新
- 88 千本 鈞

尾上喜久太郎

- 3 赤穂 藤
- "    本

9 四十

尾上岐三郎

- 3 赤穂 本

II 尾上幸蔵

- 1 青砥 浜
- 10 江戸
- 21 仮名 与
- 30 桐一 黒
- 32 天衣 松
- 40 小袖 白
- 56 菅原
- 59 俠御 甲
- 85 伽羅 問
- 88 千本 鈞
- 89 与話

尾上昇鶴

- 3 赤穂 本

III 尾上多賀之丞

- 21 仮名 与
- 53 新皿

III 尾上多見蔵

- 20 襤褸
- 79 二樽

VI 尾上梅幸

- 1 青砥 稻
- 5 伊勢 油
- 7 茨木
- 10 江戸
- 14 大森
- 21 仮名 一
- 23 神明 辰
- 24 勧進
- 28 吉様
- 30 桐一 淀
- "    黒
- 32 天衣 大
- 40 小袖 白
- 45 楼門
- 48 忍夜

59 俠御 甲

- 60 曲輪
- 62 実記
- 64 土蜘蛛
- 67 積恋
- 77 一家
- 85 伽羅 鶴
- "    床

86 戻橋

- 87 夜討
- 89 与話

IV 尾上松助

- 5 伊勢 油
- 10 江戸
- 30 桐一 淀
- 32 天衣 入
- 56 菅原
- 68 梅雨 新
- 85 伽羅 問
- 88 千本 鈞
- 89 与話

IV 尾上紋三郎

- 88 千本 鈞

[力]

I 柏伊三郎

- 1 青砥 浜
- 24 勧進
- 53 新皿
- 68 梅雨 永

II 柏扇吉

- 5 伊勢 油
- 10 江戸 菊
- 16 鏡山
- 21 仮名 師
- 26 鬼一
- 41 寿曾
- 45 楼門
- 49 誓

57 鈴森  
 69 四谷  
 87 夜討  
 88 千本伏  
 … 芝居囃子十二ヶ月  
**柏扇十郎**  
 24 勸進  
**Ⅳ片岡愛之助**  
 9 四十  
**Ⅳ片岡市蔵**  
 10 江戸  
 32 天衣入  
**片岡卯左衛門**  
 17 箆釣八  
**Ⅳ片岡我童**  
 →Ⅻ仁左衛門  
 43 三千  
 61 壇浦  
**片岡当次郎**  
 3 赤穂藤  
**Ⅻ片岡仁左衛門**  
 →Ⅳ我童  
 21 仮名鶴  
 " 塩  
 " 与  
 " 一  
 24 勸進  
 89 与話  
**片岡門童**  
 19 復讐  
**Ⅲ堅田喜三郎**  
 24 勸進  
**河村菊江**  
 5 伊勢油  
**Ⅱ河原崎権十郎**  
 21 仮名与  
 〔キ〕  
**Ⅲ杵屋栄蔵**

4 伊賀  
 5 伊勢二  
 17 箆釣立  
 18 梶原  
 29 俠客  
 33 鞍暗  
 39 勾当  
 44 三人  
 45 楼門  
 46 鏢引  
 47 先代  
 49 暫  
 50 島衛  
 75 橋弁  
 81 本朝  
 89 与話  
 … 芝居囃子  
 … まつり  
**杵屋栄八郎**  
 44 三人  
 59 俠御仲  
 82 宮島  
**杵屋栄美三郎**  
 44 三人  
 59 俠御仲  
 82 宮島  
**杵屋勝志郎**  
 24 勸進  
**杵屋十作**  
 17 箆釣八  
**杵屋新右衛門**  
 21 仮名山  
 " 楠  
 … 忠臣蔵十二ヶ月  
 … 芝居囃子十二ヶ月  
**杵屋新三郎**  
 5 伊勢油  
 10 江戸菊  
 16 鏡山

21 仮名師  
 26 鬼一  
 41 寿曾  
 45 楼門  
 49 暫  
 57 鈴森  
 69 四谷  
 87 夜討  
 88 千本伏  
 … 芝居囃子十二ヶ月  
**杵屋彦之助**  
 … 芝居囃子  
**Ⅵ杵屋弥吉**  
 … 歌舞伎合方集  
**Ⅵ杵屋弥三郎**  
 … 長唄芝居之囃子  
**杵屋六一郎**  
 44 三人  
 … 芝居囃子十二ヶ月  
**Ⅻ杵屋六左衛門**  
 45 楼門  
**Ⅺ杵屋六三郎**  
 … 芝居囃子十二ヶ月  
**杵屋六八**  
 … 芝居囃子の色々  
**清元梅次**  
 2 夢泡  
**Ⅱ清元喜久太夫**  
 2 夢泡  
 21 仮名戸  
 … 忠臣蔵十二ヶ月  
**清元順三郎**  
 21 仮名戸  
 … 忠臣蔵十二ヶ月  
**清元東三郎**  
 2 夢泡  
 〔ク〕  
**栗島狹衣**

24 勸進  
〔サ〕  
沢村其答  
55 水滸  
Ⅲ 沢村源十郎  
15 女殺  
83 処女 赤  
84 紫被  
Ⅳ 沢村源之助  
60 曲輪  
63 後日  
80 沓手  
83 処女 薩  
" 赤  
84 紫被  
Ⅶ 沢村宗十郎  
5 伊勢 油  
6 一谷 直  
21 仮名 鶴  
" 足  
" 塩  
29 俠客  
44 三人  
45 楼門  
56 菅原  
57 鈴森  
60 曲輪  
66 壺坂  
74 博多  
Ⅰ 沢村宗之助  
29 俠客  
Ⅴ 沢村田之助  
55 水滸  
66 壺坂  
沢村千鳥  
21 仮名 鶴  
" 足  
Ⅶ 沢村訥子

17 籠釣 八  
Ⅷ 沢村訥子  
89 与話  
Ⅳ 沢村訥升  
6 一谷 直  
沢村連舎  
55 水滸  
〔シ〕  
Ⅱ 実川延若  
→ Ⅰ 延二郎  
5 伊勢 油  
12 大杯  
21 仮名 一  
22 鐘詣  
38 恋飛  
42 西郷  
45 楼門  
56 菅原  
78 双蝶  
Ⅰ 実川延二郎  
→ Ⅱ 延若  
21 仮名 一  
41 寿曾  
54 天網 河  
〔ス〕  
Ⅴ 助高屋高助  
21 仮名 足  
" 塩  
55 水滸  
住田又三郎  
… 歌舞伎合方集  
〔夕〕  
竹沢仲造  
21 仮名 塩  
" 一  
81 本朝

竹本一登太夫  
18 梶原  
54 天網 河  
" 紙  
竹本井菱太夫  
21 仮名 与  
78 双蝶  
竹本音女太夫  
85 伽羅 鶴  
竹本鏡太夫  
21 仮名 鶴  
" 与  
竹本岸太夫  
21 仮名 一  
竹本琴路太夫  
12 大杯  
15 女殺  
71 唐人  
竹本小松太夫  
21 仮名 一  
54 天網 河  
竹本重寿太夫  
6 一谷 直  
11 絵本  
14 大森  
21 仮名 鶴  
" 足  
" 山  
" 与  
" 一  
" 由  
32 天衣 大  
56 菅原  
85 伽羅 鶴  
" 床  
… 忠臣蔵十二ヶ月  
竹本松葉太夫  
61 壇浦  
Ⅰ 竹本米太夫

21 仮名 塩  
" 一  
V 田中佐十郎  
5 伊勢 油  
10 江戸 菊  
16 鏡山  
21 仮名 師  
26 鬼一  
41 寿曾  
45 楼門  
49 暫  
57 鈴森  
69 四谷  
87 夜討  
88 千本 伏  
… 芝居囃子十二ヶ月

VIII 田中佐太郎  
5 伊勢 油  
10 江戸 菊  
16 鏡山  
21 仮名 師  
26 鬼一  
41 寿曾  
45 楼門  
49 暫  
57 鈴森  
69 四谷  
87 夜討  
88 千本 伏  
… 芝居囃子十二ヶ月

X 田中伝左衛門  
5 伊勢 油  
7 茨木  
10 江戸 菊  
16 鏡山  
21 仮名 鶴  
" 足  
" 戸  
" 塩

21 仮名 山  
" 与  
" 一  
" 東  
" 由  
" 桶  
" 師  
23 神明 辰  
26 鬼一  
28 吉祥  
29 俠客  
32 天衣 松  
41 寿曾  
45 楼門  
49 暫  
50 鳥衛  
57 鈴森  
59 俠御 甲  
60 曲輪  
64 土蜘蛛  
67 積恋  
69 四谷  
86 戻橋  
87 夜討  
88 千本 伏  
… 芝居囃子十二ヶ月  
… 忠臣蔵十二ヶ月  
… 芝居囃子十二ヶ月

田中伝次

66 壺坂

〔ツ〕

鶴沢市作

21 仮名 鶴  
" 与

鶴沢小次郎

14 大森

鶴沢才二郎

85 伽羅 鶴

85 伽羅 床  
鶴沢友太郎  
54 天網 河  
" 紙  
65 土屋  
鶴沢八重蔵  
85 伽羅 鶴  
鶴沢勇七  
78 双蝶

〔卜〕

常磐津菊三郎

86 戻橋

III 常磐津松尾太夫

48 忍夜

67 積恋

86 戻橋

III 常磐津文字兵衛

48 忍夜

67 積恋

86 戻橋

常磐津和歌吉

21 仮名 東

… 忠臣蔵十二ヶ月

常磐津和歌太夫

21 仮名 東

… 忠臣蔵十二ヶ月

豊沢才三郎

6 一谷 直

11 絵本

豊沢重次郎

12 大杯

豊沢扇之助

21 仮名 足

豊沢団信

21 仮名 一

III 豊沢力松

61 壇浦

豊竹巖太夫

- 21 仮名 足  
 " 山  
 " 与  
 81 本朝  
 豊竹越太夫  
 65 土屋

〔十〕

V 中村歌右衛門

- 39 勾当  
 45 楼門  
 47 先代  
 80 沓手  
 81 本朝

中村歌十郎

- 41 寿曾

中村 扇

- 5 伊勢 油

中村魁車

- 5 伊勢 油  
 38 恋飛  
 65 土屋  
 78 双蝶

中村歌扇

- 37 恋女  
 44 三人  
 85 伽羅 鶴

I 中村歌門

- 17 箆釣 八

II 中村翫右衛門

- 31 極付  
 87 夜討

I 中村鷹治郎

- 5 伊勢 油  
 6 一谷 直  
 20 襤褸  
 21 仮名 与  
 " 一  
 24 勸進

- 38 恋飛  
 54 天網 河  
 " 紙  
 56 菅原  
 57 鈴森  
 65 土屋  
 70 藤十  
 78 双蝶

II 中村翫助

- 68 梅雨 新

中村雁童

- 56 菅原

中村鷹之助

- 5 伊勢 油

I 中村吉右衛門

- 6 一谷 須  
 13 近江  
 21 仮名 一  
 29 俠客  
 32 天衣 松  
 58 増桃

中村吉之丞

- 6 一谷 須  
 29 俠客  
 32 天衣 松

II 中村芝鶴

- 40 小袖 白

IV 中村芝雀

→ III 雀右衛門

- 21 仮名 一  
 41 寿曾  
 54 天網 河

中村芝十郎

- 3 赤穂 藤

III 中村雀右衛門

→ IV 芝雀

- 21 仮名 一  
 38 恋飛  
 54 天網 河

- 79 二櫓

中村新三郎

- 5 伊勢 油  
 21 仮名 一  
 61 壇浦  
 65 土屋

中村辰之丞

- 32 天衣 松  
 83 処女 赤  
 84 紫被

III 中村時藏

- 6 一谷 須  
 29 俠客  
 39 勾当  
 58 増桃  
 80 沓手

中村成三

- 5 伊勢 油

III 中村兵藏

- 21 仮名 与  
 " 一  
 " 桶  
 44 三人  
 … 忠臣藏十二ヶ月  
 … 芝居囃子十二ヶ月

IV 中村福助 <高砂屋>

- 5 伊勢 油  
 6 一谷 直  
 21 仮名 一  
 38 恋飛  
 54 天網 紙  
 56 菅原  
 65 土屋  
 70 藤十  
 79 二櫓

V 中村福助 <成駒屋>

- 18 梶原

IV 中村もしほ

- 29 俠客

中村六広  
5 伊勢油  
10 江戸菊  
45 楼門  
49 暫  
57 鈴森  
87 夜討  
… 芝居囃子十二ヶ月

中村露香  
24 勸進  
〔ノ〕

野沢市造  
21 仮名由  
… 忠臣蔵十二ヶ月

Ⅲ野沢吉作  
18 梶原

野沢清登  
61 壇浦

Ⅲ野沢錦糸  
15 女殺  
71 唐人

〔ハ〕

初瀬浪子  
2 夢泡  
90 若木

林長三郎  
5 伊勢油  
65 土屋

Ⅱ坂東勝太郎  
87 夜討  
88 千本大

Ⅲ坂東亀三郎  
64 土蜘蛛

Ⅲ坂東秀調  
6 一谷直  
10 江戸柳  
11 絵本

15 女殺  
21 仮名鶴  
36 阿波  
71 唐人  
80 杵手

Ⅲ坂東寿三郎

12 大杯  
22 鐘諸  
42 西郷  
45 楼門  
83 処女

Ⅲ坂東竹三郎

88 千本釣

阪東徳三郎

5 伊勢油  
61 壇浦  
65 土屋

Ⅵ坂東彦三郎

1 青砥  
53 新皿  
68 梅雨永  
88 千本釣

Ⅶ坂東又太郎

36 阿波

Ⅶ坂東三津五郎

21 仮名鶴  
" 与  
32 天衣入

64 土蜘蛛  
80 杵手

阪東三津児

2 夢泡

Ⅵ坂東養助

60 曲輪  
83 処女赤  
84 紫被

Ⅱ坂東村右衛門

10 江戸  
30 桐一黒

32 天衣入  
" 大  
68 梅雨新  
88 千本釣  
89 与話

坂東録三郎

21 仮名与  
24 勸進

〔フ〕

富士田音松

24 勸進

Ⅴ富士田新蔵

24 勸進

Ⅶ富士田千蔵

24 勸進

富士田徳松

24 勸進

富士田勇吉

24 勸進

Ⅶ富士松加賀太夫

90 若木

富士松富士三郎

90 若木

藤間房子

2 夢泡

〔マ〕

松島寿三郎

24 勸進

松島庄三九

44 三人

59 俠御仲

82 宮島

Ⅶ松本錦吾

27 木曾

71 唐人

松本錦四郎

1 青砥浜

6 一谷 直  
 11 絵本  
 21 仮名 塩  
     " 与  
 24 勧進  
 31 極付  
**Ⅶ松本幸四郎**  
   →Ⅷ市川高麗蔵  
 1 青砥 浜  
     " 稻  
 6 一谷 直  
 7 茨木  
 11 絵本  
 14 大森  
 21 仮名 鶴  
     " 足  
     " 塩  
     " 与  
     " 一  
 24 勧進  
 31 極付  
 32 天衣 松  
     " 大  
 40 小袖 白  
 44 三人  
 45 楼門  
 46 鍔引  
 48 忍夜  
 49 暫  
 56 菅原  
 57 鈴森  
 59 俠御 甲  
 60 曲輪  
 64 土蜘蛛  
 67 積恋  
 68 梅雨 閩  
 72 時今  
 74 博多  
 85 伽羅 鶴

85 伽羅 床  
     " 間  
 86 戻橋  
 87 夜討  
 89 与話  
**松本純蔵**  
   →Ⅴ市川染五郎  
 21 仮名 鶴

〔△〕

**村田嘉久子**  
 90 若木  
**村田美弥子**  
 90 若木

〔毛〕

**望月太喜一郎**  
 5 伊勢 油  
 10 江戸 菊  
 16 鏡山  
 21 仮名 師  
 26 鬼一  
 41 寿曾  
 45 楼門  
 49 暫  
 57 鈴森  
 69 四谷  
 87 夜討  
 88 千本 伏  
   … 芝居囃子十二ヶ月

**Ⅸ望月太左衛門**

24 勧進  
 46 鍔引  
 75 橋弁

**Ⅹ守田勘弥**

1 青砥 浜  
     " 稻  
 2 夢泡  
 6 一谷 直

11 絵本  
 18 梶原  
 21 仮名 鶴  
     " 足  
     " 与  
 23 神明 辰  
 28 吉祥  
 31 極付  
 32 天衣 松  
 44 三人  
 45 楼門  
 49 暫  
 50 鳥衛  
 60 曲輪  
 89 与話  
 90 若木

〔三〕

**Ⅱ吉住小三蔵**  
   … 芝居囃子

**吉住小四郎**  
   … 芝居囃子

**吉住小扇次**  
 17 箆釣 八

**芳村伊久四郎**  
 44 三人  
 59 俠御 仲  
 82 宮島

**Ⅵ芳村伊十郎**

7 茨木  
 29 俠客  
 45 楼門  
 46 鍔引  
 49 暫  
 60 曲輪  
 64 土蜘蛛  
 75 橋弁

**芳村喜三郎**  
 21 仮名 一

Ⅳ 芳村孝次郎

24 勸進

〔ア〕

〔ア〕

秋月桂太郎一座

12 不如

朝霧 実

1 己罪

〔イ〕

伊志井寛

2 婦系

13 名人

石川幸三郎

12 不如

井上正夫

4 酒中

9 生仲

〔ウ〕

梅島 昇

5 塵境

〔オ〕

大矢市次郎

13 名人

〔カ〕

春日とよ喜

11 二筋

春日とよ晴

3 仮名歌

11 二筋

河合明石

3 仮名浜

六郷吉兵衛

44 三人

59 俠御仲

82 宮島

15 新 派

河合武雄

3 仮名歌

" 醉

" 浜

11 二筋

河原市松

7 通夜

8 流星

10 春潮

〔キ〕

喜多村緑郎

2 婦系

3 仮名歌

11 二筋

13 名人

木下録三郎

1 己罪

7 通夜

8 流星

10 春潮

清元延春寿

2 婦系

清元延光枝

2 婦系

〔ク〕

久保田清

1 己罪

〔コ〕

児島三郎

六郷新右衛門

24 勸進

4 酒中

〔ナ〕

Ⅲ 中村兵蔵社中

2 婦系

〔ニ〕

西脇 滋

2 婦系

〔ハ〕

英 太郎

4 酒中

9 生仲

花柳章太郎

5 塵境

6 大尉

12 不如

13 名人

〔フ〕

藤村秀夫

5 塵境

6 大尉

12 不如

〔マ〕

松本要次郎

3 仮名歌

" 醉

〔ム〕

Ⅰ 村田正雄



2 婦系  
〔モ〕  
森 赫子  
13 名人

〔ヤ〕  
柳永二郎  
13 名人  
山崎長之輔  
7 通夜

8 流星  
10 春潮  
〔ユ〕  
雪岡光次郎  
2 婦系

16 新 劇

〔イ〕  
石河 薫  
2 マツ  
〔カ〕  
河村菊江  
1 秀吉  
〔ト〕

東儀鉄笛  
1 秀吉  
〔ハ〕  
Ⅲ 阪東寿三郎  
2 マツ  
〔フ〕  
藤村秀夫  
2 マツ

〔ミ〕  
三好栄子  
2 マツ  
〔ヤ〕  
山口俊雄  
2 マツ

181 軽 演 劇

〔オ〕  
Ⅳ 尾上松助  
5 啞旅  
〔カ〕  
河村菊江  
5 啞旅  
〔キ〕  
木村光子  
8 喧嘩  
〔サ〕  
Ⅰ 沢村宗之助  
5 啞旅

〔シ〕  
志賀酒家伊吹  
15 茶屋  
志賀酒家淡海  
15 茶屋  
志賀酒家浪緑  
15 茶屋  
志賀酒家白石  
15 茶屋  
志賀酒家美賀見  
15 茶屋  
Ⅰ 実川延二郎  
3 夜話  
〔ソ〕  
曾我酒家一奴

8 喧嘩  
曾我酒家大磯  
10 心脱  
17 旗行  
19 百行  
曾我酒家五九郎  
8 喧嘩  
18 晩餐  
曾我酒家小次郎  
19 百行  
曾我酒家五楽  
19 百行  
曾我酒家五郎  
1 愛終  
2 吾妻  
4 欧州  
6 乙女

7 京人  
 9 木枯  
 10 心脱  
 11 堺富  
 12 震災  
 13 短慮  
 14 茶音  
 16 日本  
 17 旗行  
 19 百行  
 20 良心  
 21 若日  
 曾我廻家三郎  
 19 百行  
 曾我廻家十太郎  
 15 茶屋  
 曾我廻家十童  
 19 百行  
 曾我廻家十郎  
 6 乙女  
 11 堺富  
 曾我廻家笑将  
 19 百行

曾我廻家蝶七

10 心脱

曾我廻家蝶六

1 愛終

9 木枯

10 心脱

16 日本

17 旗行

19 百行

曾我廻家秀蝶

17 旗行

曾我廻家致雄

10 心脱

19 百行

〔夕〕

武智桜子

8 喧嘩

X 田中伝左衛門

5 啞旅

〔ナ〕

中村綾子

15 茶屋

〔フ〕

藤間房子

5 啞旅

〔マ〕

松本銀杏

5 啞旅

VII 松本幸四郎

5 啞旅

〔ミ〕

水野早苗

5 啞旅

〔ム〕

村田嘉久子

5 啞旅

〔モ〕

森 律子

5 啞旅

182 劍 劇

〔イ〕

磯川元春

2 清水

〔オ〕

小笠原茂夫

1 会津

〔カ〕

葛城文子

2 清水

川部五郎

2 清水

〔ク〕

栗島狭衣

2 清水

〔ナ〕

中田正造

1 会津

〔ミ〕

三好栄子

1 会津

〔ヤ〕

山口俊雄

1 会津

〔ヨ〕

吉田正雄

1 会津

183 中間演劇

[オ]

小倉健男

1 国定 赤

音羽幸太郎

2 白野

[カ]

金井謹之助

1 国定 赤

[サ]

佐藤一郎

6 富岡

沢田正二郎

1 国定 赤

〃 山

2 白野

3 城山 可

〃 城

4 大菩 竜

〃 庵

5 月形

6 富岡

7 箕輪

[タ]

田中介二

1 国定 赤

[ナ]

中井 哲

1 国定 赤

2 白野

[ネ]

根岸若之助

6 富岡

[ノ]

野村清一郎

1 国定 赤

6 富岡

[ヒ]

久松喜世子

2 白野

6 富岡

[フ]

二葉早苗

2 白野

6 富岡

[ミ]

南吉太郎

2 白野

6 富岡

189 博多ニワカ

[イ]

印野久次郎

1 先祖

[ハ]

博多玄海

1 先祖

浜田虎三

1 先祖

19 脚本朗読

[ツ]

坪内逍遙

1 ハム

2 沓手

### 索引3 詞章索引

#### 凡 例

- 1 この索引は、本書に収めた演目のうち、〔能〕と〔歌舞伎〕の音盤録音部分の詞章について作成した。
- 2 索引に掲げる詞章は次の範囲に限り、五・七音節分、七・五音節分程度を記した。
  - a 一曲を戯曲的・音楽的構造に基づいて分解した時の、各区分の初めの詞章。
  - b 挿入歌的な歌・謡などの初めの詞章。
  - c クドキ(サワリ)・物がタリその他、部分演奏が可能な個所の初めの詞章。
- 3 詞章は、付表(230ページ)の資料によったが、流派による詞章の相違は、付表に掲げた資料のうち、第2行以下の資料による詞章を( )に入れて示した。
- 4 「やあ」「おお」「あいや」などの間投詞その他で始まる詞章は、それを除いた詞章をも、別に掲げた。
- 5 詞章の記載には、現代かなづかいを用いた。
- 6 詞章の配列は、平易な発音の五十音順により、演奏上のヨミクセには従わなかった。

京	——	キョオ	慕う	——	シタウ
思う	——	オモウ	これは	——	コレワ
藤八さん(とうはっつあん)	——	トウハチサン			
肝胆を(かんたんの)	——	カンタンヲ			

なお「言う」は「イウ」、「落ち人」は「オチウド」と見た。
- 7 演目の題名・場名は、付表(230ページ)に掲げた略号(音盤カード記入規定 別表2と同じ)で示した。

[能]

ア

東遊びの数数に	羽衣
東遊びの駿河舞	羽衣
あたら桜のあたら桜の	桜川
あまの原ふりさけ見れば	羽衣
天が下家となさばや大君の	忠霊
あら痛わしやおん身と申すは	鞍馬
あらおもしろのおりからやな	小督
あらおもしろの音楽や	難波
あらしふけ行く秋の夜の	融
あら笑止やにわかには暮れ	蟻通
あら珍しやいかに義経	船弁
ありがたのようごうや	高砂
あるいはあまつみ空の	羽衣
あれこそ夕ざれば野辺の秋風	融
あわれいにしえを思いいずれば	松風

イ

いざいざさらば琴の音に	小督
いざいざ潮を汲まんとして	松風
石川や瀬見の小川の清ければ	加茂
一河の流れをくむ酒を	紅葉
一門のげっけいうんかのごとく	船弁
いとま申して帰る山の	山姥
いなばの山の峰におうる	松風
今は何をか包むべき	鞍馬

ウ

打ち鳴らすその声の	天鼓
-----------	----

オ

大神に告げ奉るわが心	忠霊
おしか鳴くこの山里とながめける	小督
おとめは衣を着しつつ	羽衣
おもしろや千草にすたく	松虫
おもしろや時もげに	天鼓
おもしろや慣れても須磨の	松風

カ

かくばかり経がたく見ゆる	松風
影恥ずかしきわが姿	松風
かけまくも大君のみことのりに	忠霊
かぎ早の三保の浦わを	羽衣
風向こう雲の浮き波	羽衣
かほどの聖人なりしだに	三井
かように申せばかように申せば	花筐
かりょうびんがの慣れ慣れし	羽衣
変わらぬ影は雲居より	小督
肝胆を砕き祈りしかば	殺生

キ

君が代のみ影を仰ぐ	忠霊
きりはたりちょう	松虫

ケ

月宮殿のはくえのたもと	鶴亀
げにさまざまの舞姫の	高砂
げに頼もしき神遊び	忠霊
げにや一樹の陰に宿り	小督
げにやとわれてぞ身に白玉の	小督

コ

恋い草の露も思いも乱れつつ	松風
---------------	----

声を知るべにいで舟の  
 こがらしに吹き合わすめる  
 心づくしの秋風に  
 言の葉もなき君のみ心  
 この上は何をかさのみ  
 これまでなりやさらばとて  
 これは諸国一見の僧にてそうろう  
 これは高倉の院に仕え奉る  
 これは天鼓が亡霊なるが  
 これは三保の松原に  
 木幡山伏見の竹田

船弁  
 小督  
 松風  
 小督  
 松風  
 小督  
 松風  
 小督  
 天鼓  
 羽衣  
 融

サ

嵯峨野の方の秋の空  
 さて難波の浦の致景の数数  
 さて松はさしもげに  
 さてもこのほどお供して  
 さてはこの松はいにしえ  
 ざるにてもいかなる人に

小督  
 弱法  
 鉢木  
 鞍馬  
 松風  
 鞍馬

シ

潮くみ車わずかなる  
 四海波静かにて  
 しかるに月宮殿のありさま  
 しずが家居の仮なれど  
 松嵐花の跡といて

松風  
 高砂  
 羽衣  
 小督  
 鞍馬

ス

住み慣れし空にいつしか  
 すわや難波の鐘も明け方の

羽衣  
 松虫

セ

せめてやしばし慰むと  
 千秋楽は民をなで

小督  
 高砂

ソ

そもそも山んばは生所も知らず  
 それ久方の天といっぱ  
 それは稲葉の遠山松

山姥  
 羽衣  
 松風

タ

たとえを知るも数ならぬ

小督

テ

寺は桂の橋柱

熊野

ト

唐帝のいにしえも  
 処を知るも嵯峨の山

小督  
 小督

ナ

なお執心のえんぶの涙とは  
 ながめやるそなたの空は白雲の  
 涙の露の玉かずら  
 南無帰命月天子

松風  
 融  
 羽衣  
 羽衣

ノ

のうその衣はこなたのにて

羽衣

ハ

運ぶは遠きみちのくの  
 花咲かば告げんと言ひし  
 春がすみたなびきにけり  
 春夏秋の花も尽きて  
 万里の好山に雲たちまちに起こり羽衣

松風  
 鞍馬  
 羽衣  
 胡蝶

ヒ							
ひそかに伝え申せとの	小督			ヤ		やがていずるや秋の夜の	小督
マ				ユ			
まず冬木より咲きそむる	鉢木			夢に寝てうつつにいずる旅枕	蟻通		
松風も村雨も袖のみぬれて	松風			許し給えや人人よ	三井		
松島や雄島のあまの	松風			ヨ			
松に吹き来る風も狂じて	松風			寄せては帰る片男波	松風		
松の群立ちかすむ日に	松風			夜もふけ過ぎてしのめや	忠靈		
松はもとより煙(ときわ)にて	鉢木			リ			
ミ							
三つ瀬川絶えぬ涙の	松風			りゅうじん湖しょうに出現して	竹生		
見る人もなき山里の	鞍馬			ワ			
ム							
昔男の名を留めて	杜若			わが日のもとに生まれ来て	忠靈		
昔の人の申ししは	高砂			和光利物のおん姿	嵐山		
モ				忘れめや山路をわけて	羽衣		
もとより衆生済度の誓い	竹生			われ三保の松原に上がり	羽衣		
				われもまたいざこと問わん	隅田		

〔歌 舞 伎〕

ア							
あああひどい目に会わしおった	黒手 不			悪に強きは善にもと	天衣 松		
ああいや来るには及ばない	小袖 白			浅ましや母上には	杵手		
ああ怪しやなあ今荒獅子男之介伽羅床	伽羅 床			あたり見回し平三景時	梶原		
会いそめてからちょうど七年	鐘諸 丹			あたり見回し由良の助	仮名一		
あいやお侍ちょっと待って	青砥 浜			あとに顔世は継ぎ穂なく	仮名鶴		
あいやちょっと待ってもらいたい	狭御 仲			あとに清正吐息をつき	増桃		
悪事をいちいち言い立てられ	天衣 大			あとに蘭蝶不審顔	若木		
				あとには姉がかこち言	実記		
				あとにはひとり政岡が	伽羅 鶴		
				あと見送って熊谷は	一谷 直		

あとは手じゃくのひとり酒  
 兄いどうだいええ  
 あの歌は鳥辺山  
 雨を幸い大川へ  
 怪しやな今荒獅子男之介照秀が  
 ありゃ角の芝居の果て太鼓  
 会わぬといえど会いたさに  
 あわやと見やる表口  
 哀れ数うる暮れの鐘

イ

言いつつ立って一思案  
 いいやのかれぬふたりの衆  
 言うに老婆は歯がみをなし  
 言うほどそばへにじりより  
 いえいえ恋しいととさんや  
 いかなればこそ勘平は  
 いかに好める道ゆえに  
 いかに曾我の若殿ばら  
 いかに時致承れ  
 いかにも命は差し上げやしょう  
 いかに頼光おん心地は  
 いかに渡辺源次綱  
 幾たび打ち直しても  
 いざ語らんと座を構え  
 いざ通らんと旅衣  
 石川や浜のまさごは  
 いずくともなく見馴れぬ女  
 いそに伏したる玉織姫  
 五つや三つのころなれば  
 いつまでこうしていたととも  
 偽りならぬ証拠これ御覧  
 いでお物語仕らん  
 今打ちしは後夜の鐘  
 今打ちしはもはや入相  
 いまさら言うも過ぎし秋  
 今しばらくと声を掛け  
 今そばを食いにへあって来たのは天衣入

積恋  
 与話  
 恋飛  
 梅雨 閩  
 伽羅 床  
 鐘諸 坂  
 茨木  
 絵本  
 双蝶

双蝶  
 三人  
 一家  
 女殺  
 阿波  
 仮名 与  
 実記  
 会稽  
 夜討 頼  
 極付  
 土蜘蛛  
 茨木  
 修禅  
 茨木  
 勧進  
 楼門  
 積恋  
 一谷 須  
 夜討 祐  
 夢泡  
 修禅  
 大杯  
 小袖 稲  
 処女 薩  
 若木  
 暫  
 天衣入

今は何をか包むべき  
 いやお富が口から聞こうより  
 いや粗相とは言わせませぬ  
 いらたかのじゅう携えて  
 言わしておけば不敵の雑言  
 岩にせかれて散る浪の

ウ

浮き川竹の勤めの身では  
 浮き世の夢のえいざめに  
 浦里あとをうちながめ  
 うわさに聞いた暁雨というのは

エ

ええおのれそれほどまでにして  
 ええ御新造さんえおかみさんえ  
 ええもし御新造さんえ  
 淮南子にいわく水余りあって

オ

おい兄いどうだいええ  
 おいらんそりゃつれないと  
 おおいかか今もどったぞよ  
 おおそうじゃこれを知っている者  
 おお待ちかねしぞふたりの者  
 おおもっともじゃあやまった  
 大宅の太郎は目をさまし  
 おおわけえの待ちなせえ  
 おがくずも言えは言わるる  
 おかるはしじゅうせき上げ  
 お聞き及びあらざるか  
 起き直って涙を押え  
 奥より走って千松が  
 お待ちよと待ってくだされ  
 おじ上にはもはや御最期  
 恐るるは関東の勢いならず

橋弁  
 与話  
 番町  
 土蜘蛛  
 紫被  
 梅雨 永

箆釣  
 神明 辰  
 夢泡  
 俠客

番町  
 与話  
 与話  
 暫

与話  
 箆釣  
 四十  
 者鳥辺  
 桐一 淀  
 天網 紙  
 忍夜  
 梅雨 永  
 伊勢  
 仮名一  
 茨木  
 阿波  
 伽羅 鶴  
 青砥 浜  
 復讐 高  
 桐一 黒



恐ろしい眼力じゃなあ  
 お乳の人は大高に  
 お乳ははっど気も乱れ  
 夫の最期を聞くからは  
 お富が口から聞こうより  
 お情け深きお心に  
 おはやはあとを見送りで  
 おまえはもろこしわたしは日本  
 思いだせばおおそれよ  
 思いがけなき縁切りに  
 思いがけなく丈賀に出会い  
 思いにや焦がれて燃ゆる  
 おもしろや心あらん  
 お物語仕らん  
 およしさんお仕舞かえ  
 折から聞こゆる剣撃の音  
 折から聞こゆる太鼓の音  
 折から聞こゆる呼び子の笛  
 折しも聞こゆる陣太鼓  
 折にいでおう平右衛門  
 折に二階へ勘平が  
 お瑠璃様お久しゅうござります  
 おれの名が聞きたくば  
 おわけえの待たっしゃりませ  
 おんから見送り奉り  
 音頭の始まり始まり  
 女は手負いに取り付いて

カ

懐中より御書取りいだし  
 かか今もどったぞよ  
 かかりける所に後ろより  
 かかる所へ鎌倉の権五郎景政  
 書き送るふみもしどなき  
 書き残す一書の事  
 隠さっしゃるな知っております  
 かげというも月の縁  
 かこうありといえども

一谷直  
 恋女  
 恋女  
 勾当  
 与話  
 戻橋  
 双蝶  
 唐人  
 寿曾  
 神明 辰  
 天衣 入  
 本朝  
 三千  
 大杯  
 女殺  
 土屋  
 赤穂 本  
 土屋  
 絵本  
 仮名一  
 仮名一  
 二樽  
 黒手 吉  
 鈴森  
 仮名 壺  
 伊勢  
 唐人

かごにゆられてとろとろと  
 貸さぬ金なら借りもしめえ  
 梶原源太はおれかしらんで  
 刀のこじり捕えしおん方  
 勝元心得のためその方に  
 かど送りさえそこそこに  
 金が言わする追しょうとは  
 鐘もろともに忍びいで  
 髪飾りにけわいして  
 かようにそろう者は加賀の国  
 からくれないの花の名も  
 から衣着つつ馴れにし  
 かわいいお方ができたによって  
 勧進帳聴もんの上は

三人  
 三人  
 恋飛  
 曲輪  
 伽羅 間  
 天網 紙  
 仮名 足  
 鐘諸 坂  
 仮名一  
 勧進  
 唐人  
 唐人  
 鐘諸 丹  
 勧進

キ

きかれてなんのなにがしと  
 聞き及んだいがみの権太という  
 聞くにお里は身も世もあられず  
 起請誓紙はみんなあだ  
 北八てめえ驚くなよ  
 きうの花はきょうの夢  
 君へ仕えてこの年月  
 御意を心得幸蔵主  
 きょうはたんとも飲まねえが

鈴森  
 千本 釣  
 壺坂  
 夢泡  
 木曾  
 夢泡  
 先代  
 増桃  
 慶安

ク

九右衛門顔色うち解けて  
 来るには及ばない  
 車やらぬと立ちふさがり

博多  
 小袖 白  
 菅原

ケ

げに秋しかの妻こうごとく  
 げにげにこれは心得たり  
 げにやおん身たれなれば  
 げにや三千年に一度花咲き

妹背  
 勧進  
 橋弁  
 夜討 祐

コ

こいつはわっちが悪かった	神明 喜
恋と意気地の二筋に	江戸 小
御会得ありしか千早姫	大森
志はかたじけなけれど	四十
ここは矢走の渡しであろうな	勾当
御使僧のお立ち	天衣 松
御親切なるそのおことば	鈴森
御新造さんえおかみさんえ	与話
御丁寧なるおもてなし	紫被
ことばをかけんと思えども	橋弁
こなたは源氏わしは平家	鋳引
此糸ようよう心を定め	若木
この節越すに越されぬ	女殺
この世のなごりに今一度	夢泡
御不興を被りしその日より	時今
こよいは藤十郎のざんげを	藤十
こりゃ菊それほどもでにして	番町
これおいらんそりゃつれないと	籠釣
これ千松よう死んでくれた	伽羅 鶴
これぞ兄弟弓矢の情け	近江
これぞ世に伝えたる	勾当
これ見たまえ光秀殿	絵本
これやこの行くも帰るも	勸進
これよく聞けよふだんは	梅雨 永
これは西塔のかたわらに住む	橋弁
これは津の国渡辺の	茨木
これはまた思い寄らぬ	壇浦
これはよくこそその御入来	土屋
ころは建武二年五月	大森
こはうれしやと山伏も	勸進
こんな事も言いたくねえが	江戸 菊
こんなわたしをそのように	江戸 菊

サ

さあさあ音頭の始まり始まり 伊勢

さあ藤八さんまあどうぞ	与話
嵯峨や御室の花盛り	忍夜
咲き乱れたる山ゆりの	桐一 淀
さずがは大家の御家老職	紫被
さっき別れて帰ったばかりで	江戸 小
さてその次は江の島の	青砥 緋
さてどんじりにひけえしは	青砥 緋
さても牛若は母の仰せの	橋弁
さてもこよい夜わのころ	土蜘蛛
さてもさんぬる六日の夜	一谷 直
さては女と思いのほか	青砥 兵
さとせど娘は聞き入れず	阿波
さなきだに重きが上のさよ衣	仮名 足
佐野さん待ち遠でありんした	籠釣
三郎兵衛は威儀を改め	大杯
さらばさらばと兩人は	仮名 山
ざりとははかない御運の末	勾当
さればおん顔よく見奉れば	一谷 直
さればその儀につき	四十
騒げば夫も敗もうし	天網 紙

シ

しかし待てよきょう十六夜が	小袖 緋
しがねえ恋の情けがあだ	与話
しからば改め物申さん	三千
重忠耳をそばだてたまい	壇浦
時刻もふけて三更の	一家
して御最期のありさまは	勾当
してその願いと言やるのは	近江
してまた工藤の仮屋まで	夜討 緋
治兵衛大地に手をつかえ	天網 河
將軍家の威光に恐れて	修禅
燭は暗し数行虞氏の涙	唐人
知らざあ言って聞かせやしょう	青砥 兵
知らずば事を聞いたまえ	暫
知らぬ事とは言いながら	江戸 小
白雪の積もるも恋にたくらべて	夢泡

ス

すい帳紅けいに  
委心も荒々しく  
すでに建久四つの年  
すでに夜を待つ時も来て  
すりゃこの器を光秀へ

壇浦  
妹背  
夜討 祐  
橋弁  
時今

セ

絶景かな絶景かな  
せっぱ詰まりて是非に及ばず  
せめてあの世は迷わぬよう

楼門  
修禪  
小袖 船

ソ

そう言われると面ばくもない  
そう潔白には言われまい  
そうじゃこれを知っている者  
そう知られし上からは  
粗相とは言わせませぬ  
そでに涙の雨降りし  
その相ずりのしり押しは  
その日のいくさのあらましを  
その訳語らんよっく聞け  
そもそも九字の真言とは  
そもそも祐経和殿らが祖父  
空もかすみて八重一重  
そりゃあこちで言うこった  
そりゃもうおまはんが足を近う  
それを申そうとて参ったり  
それ計策をいばくの内に  
それじゃあ親分この金で  
それつらつらおもんみれば  
それでのおおかた子細は読めた  
それにはなにか子細があるう  
それほど手詰めの金ならば  
それ山伏といっぱ

三人  
伊勢  
鳥辺  
大森  
番町  
茨木  
青砥 浜  
大森  
妹背  
勧進  
会稽  
戻橋  
江戸 菊  
箆釣  
勾当  
鏝引  
梅雨 新  
勧進  
番町  
番町  
伊勢  
勧進

それよう気満ち満ちて  
それ緑林白浪の  
それ楼門にせいたいを帯び  
そんならもう行きやるか

茨木  
楼門  
水滸  
阿波

タ

たかは死しても穂は摘まず  
たくみしかたりがあらわれても  
直義仰せいださるは  
たとえふるなの弁舌にて  
たどる大路に人影も  
種を明かしあ上野から  
旅の衣はすずかけの  
魂抜けてとぼとぼうかうか  
短気は損気と気をいる忠兵衛

仮名山  
青砥 浜  
仮名 鶴  
会稽  
戻橋  
紫被  
勧進  
天網 河  
恋飛

チ

父母の恵みも深き  
父よ母よと泣く声聞けば  
血に染まる切っ先を  
ちょうど時刻も寅の刻  
ちょっと待ってもらいたい  
ちりの浮き世をのがれては

阿波  
仮名一  
仮名 塩  
勧善 赤  
俠御 仲  
土蜘蛛

ツ

ついに泣かぬ弁慶も  
月清きよわとも見えず  
月もおぼろに白魚の  
月夜もやみもこの里へ  
筑波なれえを吹きけえす  
続いてあとに連なるは  
続いてあとにひけえしは  
綱は小陰を立ちいでて  
妻は涙にむせ返り

勧進  
土蜘蛛  
三人  
積恋  
俠御 仲  
青砥 船  
青砥 船  
戻橋  
絵本

テ

手負いは顔をうちながめ 千本 釣  
 手負いは苦しき顔を上げ 妹背  
 照る月影にすかして見て 大森  
 ではまたおさよさんが来たかな 木曾  
 天人香の看板に 吉様

ト

とうから茶屋衆に断わろうと 箆釣  
 遠からん者は音にも聞け 曲輪  
 遠からん者は音にも聞け 夜討 祐  
 どうした縁でかの人に 夢泡  
 藤八さんまあどうぞ 与話  
 時こそよしとかどを明け 一家  
 時しもころはきさらぎの 勸進  
 とったと掛かるを身をかまし 襦袢  
 ととさんやかかさんに 壺坂  
 知盛見るよりかっせき込み 千本 大  
 知盛は御座近く 千本 大  
 鳥の声鐘の音さえ 壺坂  
 問われて名乗るもおこがましいが青砥 稲  
 問われて名乗るもおこがましいが三人  
 問われてなんのなにがしと 鈴森  
 問われてはっと才助は 大杯

ナ

直孝うち驚き 大杯  
 長門の秋の夕暮れは 博多  
 長のなじみと言うてはなし 鐘諸 丹  
 泣く泣く別れ行くあとを 阿波  
 名にし負う隅田にそえし 若木  
 何やつなれば盛長を 大森  
 七日の内はからひつの 茨木  
 名のらずともおん身の素性 大森  
 鳴るは滝の水 勸進

なんにもせよとし火これへ 桐一 旋

ネ

ねぐらさまよう浦千鳥 夜討 祐

ハ

伯州の城主塩治判官高貞を 仮名 足  
 八右衛門したり顔 恋飛  
 初雷も早すぎる 三人  
 はて勇ましき和殿の手柄 茨木  
 はて恐ろしい眼力じゃなあ 一谷 直  
 はて心得ぬあのかか 楼門  
 はて心得ぬこよいもはや 実記  
 はて心得ぬ春もようやく 鍛引  
 花の雨ぬれにくるわの 曲輪  
 ははあ鳥辺山を歌うておる 恋飛  
 母は跡を見送りに 仮名 与  
 母は悲しく手負いに取り付き 千本 釣  
 母は涙のひまよりも 仮名 与  
 はや御上使のおん入り 仮名 塩  
 はやふけわたる子の刻の 実記  
 ばらばら降るを幸いに 吉様  
 播磨がきょうの無念さは 番町  
 春雨になかばつぼめし 俠客  
 判官腹にすえかねて 仮名 足

ヒ

引かれ者の小歌とやら 天衣 松  
 ひきょうなりと言わば言え 会稽  
 非業に死んだ十六夜が 小袖 稲  
 ひどい目に会わしおった 黒手 不  
 人立ちすけば侍立ち寄って 天網 河  
 一筆しめし参らせそろ 江戸 柳  
 兵庫助がそでのしずく 勾当  
 日は暮れて野には伏すとも 一家  
 琵琶の湖浅瀬を渡るよ 勾当

フ  
 深編みがさの侍二人 仮名与  
 ぶびんに思い気を取り直し 鳥衛  
 無礼呼ばわり片腹いてえ 俠客

ホ  
 判官おん手を取りたまい 勧進  
 ほどもあらせず塩治判官 仮名足  
 ほほうあの歌は鳥辺山 恋飛  
 ほんに思えばこの身ほど 絵本

マ  
 まああれほど御苦勞のある中で 西郷  
 まあわたしが言うことも 与話  
 誠や当国諏訪明神は 本朝  
 まことや人間は有為転変 三千  
 まだ駈け出しの遊び人 梅雨 閨  
 まだ其角は参らぬか 土屋  
 まだ木更津にいたころにゃあ 与話  
 またむら立ちし雨雲の 戻橋  
 待ちかねしぞふたりの者 桐一 淀  
 待とうぞ待とうぞ 伽羅 間  
 まぼろしかみ雪に積もる桜かげ 積恋  
 万呼べ万呼べ万野呼べ 伊勢

ミ  
 店出しのよいからおまえの 鳥辺  
 御台所は正体なく 仮名 塩  
 身の誤りに勘弁は 仮名 与  
 身不肖なれども福岡貢 伊勢  
 都の踊りには引き替えて 勾当

ム  
 向こうの山より平山が 一谷 須

娘心のうわ気から 処女 薩

メ  
 珍しや工藤祐経 会稽  
 目早き与兵衛が水鏡 双蝶

モ  
 申し上げんと座を構え 一谷 直  
 もうしもうし光国様 忍夜  
 もう日が暮るるか 唐人  
 もし御新造さんえ 与話  
 もしちょっと待っておくんなせえ 後日 鳥  
 もったいなくもこの金は 三千  
 もっともじゃあやまった 天網 紙  
 もとより勧進帳のあらばこそ 勧進  
 もとより弁慶は三塔の 勧進  
 物語らんと座を構え 一谷 直  
 もののふのかねて覚悟は 赤穂 本  
 ものものしやとなぎなたを 橋弁  
 盛綱はただぼう然と 近江  
 盛長は座を改め 大森

ヤ  
 やあいずくともなく見馴れぬ女 積恋  
 やあさては女と思いのほか 青砥 浜  
 やあ何やつなれば盛長を 大森  
 山川でけがしやるな 恋女  
 ややおじ上にはもはや御最期 復讐 高  
 やれやれひどい雨じゃ 後日 鳥  
 やれやれひどい目に会った 黒手 不

ユ  
 夕顔だなのこなたより 絵本  
 夕べほどなく暮れ方の 橋弁  
 雪の夜に積もる思いの 土屋

行く空も薄墨流す雨雲に  
行く道も西へ回りし月の輪に  
行くも帰るも忍ぶの乱れ  
ゆすりかたりは言わねえでも  
夢は五ぞうの疲れと言えど

小袖 稲  
戻橋  
積恋  
処女 赤  
桐一 淀

慮外なり長門守

桐一 黒

口

六郎太夫は齒がみをなし

梶原

ヨ

よい月の影傾きて物案じ  
様子聞こうとお家のまんなか  
吉野竜田の花もみじ  
よその恋よとうらやましく  
酔って言うんじゃございませんが新皿  
世にも因果なものなら  
呼び次ぐ声に原才助

天網 河  
仮名 与  
壇浦  
仮名 一  
仮名 一  
仮名 一  
大杯

若狭之助はかねて待つ  
わがなき跡で一遍の  
わが身の悪事を言い立てられ  
わき能過ぎておん楽屋に  
わしもそなたを色里に  
忘れもしねえこの正月  
忘れもせぬあたしの十三の冬  
わたしが言う事もとっくりと  
わたしもその時ながらえる  
われこそ参議経盛のぼっし  
われ戦場におもむくより  
われは愛宕の山奥に

仮名 足  
夢泡  
天衣 大  
仮名 足  
鳥辺  
神明 喜  
西郷  
与話  
与話  
一谷 須  
一谷 須  
戻橋

ラ

蘭蝶殿に身を立てさせ

若木

リ

力弥御意を承り

仮名 塩

## 詞章索引付表

〔能〕

題名 番号	略号	題名	名	準拠詞章 *印は 付記参照
1	嵐山	嵐山		観世流謡曲百番集
2	蟻通	蟻通		宝生流旅の友
3	杜若	杜若		観世流謡曲百番集
4	加茂	加茂		金春流謡本
5	鞍馬	鞍馬天狗		喜多流謡曲大成
	"	"		金春流謡本
6	小督	小督	駒の段	喜多流謡曲大成
	"	"		観世流謡曲百番集

題番号	略号	題名	名	準拠詞章 *印は付記参照
7	胡蝶	胡蝶		宝生流旅の友
8	桜川	桜川	網の段	喜多流謡曲大成
9	隅田	隅田川		観世流謡曲百番集*
	"	"		宝生流旅の友
10	殺生	殺生	石	宝生流旅の友
11	高砂	高砂	砂	喜多流謡曲大成
12	竹生	竹生	鳥	喜多流謡曲大成
13	忠靈	忠靈	龜	観世流謡本
14	鶴龜	鶴龜		宝生流旅の友
15	天鼓	天鼓		観世流謡曲百番集
	"	"		喜多流謡曲大成
16	融	融		金春流謡本
17	難波	難波		観世流謡本
18	羽衣	羽衣		観世流謡曲百番集
	"	"		喜多流謡曲大成
	"	"		宝生流旅の友
19	鉢木	鉢木		金春流謡本
	"	"		宝生流旅の友
20	花筐	花筐		観世流謡曲百番集
21	船弁	船弁	慶	宝生流旅の友
22	松風	松風		観世流謡曲百番集
	"	"		宝生流旅の友
23	松虫	松虫		宝生流旅の友
24	三井	三井寺	鐘の段	宝生流旅の友
25	紅葉	紅葉	狩	金春流謡本
26	山姥	山姥		観世流謡曲百番集
	"	"		宝生流旅の友
27	熊野	熊野		喜多流謡曲大成*
28	弱法	弱法師		観世流謡曲百番集

〔歌舞伎〕

題番号	略号	題名	(場名)	準拠詞章 *印は付記参照
1	青砥浜	青砥稿花紅彩画	(浜松屋)	黙阿弥全集
	青砥稻	"	(稻瀬川)	"
2	夢泡	明烏夢泡雪	(山名屋浦里部屋)	歌舞伎名作選
	"	"	(山名屋奥庭)	"
3	赤穂藤	赤穂義士伝	(三島藤家)	音盤の実音

題名 番号	略号	題名	(場名)	準拠詞章 *印は 付記参照
	赤穂本	〃	(三島本陣)	〃
5	伊勢	伊勢音頭恋寝刃	(油屋)	歌舞伎名作選
6	一谷須直	一谷嫩軍記	(須磨の浦)	歌舞伎名作選*
	一谷直	〃	(直実陣屋)	〃
7	茨木	茨木		黙阿弥全集
8	妹背	妹背山婦女庭訓	(入鹿館)	歌舞伎名作選
9	四十	いろは仮名四十七訓	(弥作内)	日本戯曲全集
	〃	〃	(七太夫内)	〃
	〃	〃	(弥作内)	〃
10	江戸菊	江戸育お祭佐七	(菊本)	歌舞伎名作選
	〃	〃	(菊本裏手)	〃
	江戸小	〃	(小糸内)	〃
	江戸柳	〃	(柳原土手)	〃
11	絵本	絵本太功記	(さつき内)	歌舞伎名作選
12	大杯	大杯觴酒戦強者	(内藤館)	黙阿弥全集
13	近江	近江源氏先陣館	(盛綱陣屋)	歌舞伎名作選
14	大森	大森彦七	(谷川)	歌舞伎名作選
15	女殺	女殺油地獄	(豊島屋)	歌舞伎名作選
17	箆釣	箆釣瓶花街酔醒	(八橋部屋)	歌舞伎名作選
18	梶原	梶原平三誉石切	(星合寺)	歌舞伎名作選
19	復讐安	復讐談高田馬場	(安兵衛内)	音盤の実音
	復讐高	〃	(高田馬場付近)	〃
	〃	〃	(高田馬場)	〃
20	襦袢	敵討襦袢錦	(大安寺堤)	歌舞伎名作選
21	仮名鶴	仮名手本忠臣蔵	(鶴ヶ岡八幡社)	歌舞伎名作選
	仮名足	〃	(足利館長廊下)	〃
	仮名塩	〃	(塩冶館)	〃
	〃	〃	(塩冶館門外)	〃
	仮名山	〃	(山崎街道)	〃
	仮名与	〃	(与市兵衛内)	〃
	仮名一	〃	(一力)	〃
22	鐘諸丹	鐘もろとも恨鮫鞘	(丹波屋)	音盤の実音
	鐘諸坂	〃	(坂町裏道)	〃
	鐘諸千	〃	(千日前墓所)	〃
23	神明喜	神明恵和合取組	(喜三郎内)	歌舞伎名作選
	神明辰	〃	(辰五郎内)	〃
24	勸進	勸進帳		日本古典文学大系



題名 番号	略号	題名	(場名)	準拠詞章 *印は 付記参照
25	勸善長	勸善懲惡視機関	(長庵内)	黙阿弥全集
	勸善赤	"	(赤羽根橋)	"
	勸善平	"	(平河天神裏門)	"
27	木曾	木曾街道膝栗毛	(亀屋)	音盤の実音
28	吉様	吉様参由縁音信	(釜屋)	黙阿弥全集*
29	俠客	俠客春雨傘	(吉原仲の町)	歌舞伎名作選
30	桐一淀	桐一葉	(大阪城淀君部屋)	名作歌舞伎全集
	桐一黒	"	(大阪城黒書院)	"
31	極付	極付幡随長兵衛	(水野内湯殿)	黙阿弥全集*
32	天衣松	天衣紛上野初花	(松江館玄関)	黙阿弥全集
	天衣入	"	(入谷村)	"
	天衣大	"	(大口屋寮)	"
34	黒手不	黒手組曲輪達引	(不忍池)	黙阿弥全集
	黒手吉	"	(吉原仲の町)	"
35	慶安	慶安太平記	(江戸城堀)	黙阿弥全集*
36	阿波	傾城阿波の鳴門	(どんどろ大師)	音盤の実音
37	恋女	恋女房染分手綱	(由留木館)	歌舞伎名作選
38	恋飛	恋飛脚大和往来	(井筒屋表座敷)	歌舞伎名作選
	"	"	(井筒屋奥座敷)	"
	"	"	(井筒屋表座敷)	"
39	勾当	勾当内侍		音盤の実音
40	小袖稲	小袖曾我薊色縫	(稲瀬川百本杭)	黙阿弥全集*
	小袖白	"	(白蓮内)	"
41	寿曾	寿曾我対面		歌舞伎名作選
42	西郷	西郷と豚姫		日本戯曲全集
43	三千	三千両黄金蔵入		音盤の実音
44	三人	三人吉三廓初買	(两国橋北河岸)	黙阿弥全集
45	楼門	楼門五三桐	(南禅寺)	歌舞伎名作選
46	鋳引	鋳引		黙阿弥全集
47	先代	実録先代萩	(亀千代館)	黙阿弥全集*
48	忍夜	忍夜恋曲者		名作歌舞伎全集
49	暫	暫		日本古典文学大系
50	島衛	島衛月白浪	(招魂社)	黙阿弥全集
51	会稽	十二時會稽曾我	(祐経仮屋)	音盤の実音
52	修禅	修禅寺物語	(夜叉王内)	名作歌舞伎全集
53	新皿	新皿屋舗月雨暈	(磯部内玄関)	黙阿弥全集*
	"	"	(磯部内奥庭)	"
54	天網河	心中天網島	(河内屋)	音盤の実音

題名 番号	略号	題名	(場名)	準拠詞章 *印は 付記参照
	天網紙	〃	(紙屋)	〃
55	水滸	水滸伝雲挑		黙阿弥全集*
56	菅原	菅原伝授手習鑑	(都大路)	歌舞伎名作選
57	鈴森	鈴ヶ森		歌舞伎名作選
58	増桃	増補桃山譚	(伏見城奥庭)	黙阿弥全集
59	俠御仲	曾我綉俠御所染	(五条坂仲の町)	黙阿弥全集
	俠御甲	〃	(甲屋)	〃
60	曲輪	伊達競曲輪翰当		歌舞伎名作選*
61	壇浦	壇浦兜軍記	(堀川御所)	歌舞伎名作選
62	実記	忠臣いろは実記	(丈左衛門内)	黙阿弥全集
63	後日鳥	忠臣蔵後日建前	(鳥羽暇)	黙阿弥全集
	後日与	〃	(与市兵衛内)	〃
64	土蜘蛛	土 蜘蛛		黙阿弥全集
65	土屋	土屋主税	(土屋館)	名作歌舞伎全集
66	壺坂	壺坂靈験記	(沢市内)	歌舞伎名作選
67	積恋	積恋雪閑扉		歌舞伎名作選
68	梅雨永	梅雨小袖昔八丈	(永代橋)	黙阿弥全集
	梅雨新	〃	(新三内)	〃
	梅雨閻	〃	(閻魔堂橋)	〃
70	藤十	藤十郎の恋	(宗清奥座敷)	日本戯曲全集
71	唐人	唐人塚	(長崎丸山揚屋)	音盤の実音
72	時今	時今也桔梗旗揚	(本能寺)	歌舞伎名作選*
73	鳥辺	鳥辺山心中	(四条河原)	名作歌舞伎全集
74	博多	博多小女郎浪枕	(船中)	歌舞伎名作選
75	橋弁	橋 弁 慶		音盤の実音
76	番町	番町皿屋敷	(播磨内)	名作歌舞伎全集
77	一家	一 つ 家		黙阿弥全集
78	双蝶	双蝶々曲輪日記	(与兵衛内)	歌舞伎名作選
79	二樽	二つの樽	(東の芝居楽屋)	音盤の実音
80	杵手	杵手鳥狐城落月	(大阪城糶庫)	日本戯曲全集
81	本朝	本朝廿四孝	(謙信館奥庭)	歌舞伎名作選
83	処女薩	処女醜浮名横櫛	(薩埵峠)	黙阿弥全集
	処女赤	〃	(赤間屋)	〃
84	紫被	紫被布千鳥浮織	(松井館玄閑)	音盤の実音
85	伽羅鶴	伽羅先代萩	(鶴喜代館奥殿)	歌舞伎名作選
	伽羅床	〃	(鶴喜代館奥殿床下)	〃
	伽羅問	〃	(問注所)	〃
86	戻橋	戻 橋	(戻橋)	黙阿弥全集

題名 番号	略号	題名	(場名)	準拠詞章	*印は 付記参照
	"	"	(二条通り)	"	
87	夜討 祐	夜討曾我狩場曙	(祐経仮屋)	黙阿弥全集	
	夜討 松	"	(松ヶ崎)	"	
	夜討 裏	"	(頼朝仮屋裏手)	"	
	夜討 頼	"	(頼朝仮屋)	"	
88	千本 大	義経千本桜	(大物浦)	歌舞伎名作選	
	千本 釣	"	(釣瓶鮎屋)	"	
89	与話	与話情浮名横櫛	(多左衛門内)	歌舞伎名作選	
90	若木	若木仇名草	(若木屋二階座敷)	歌舞伎名作選	
	"	"	(若木屋此糸部屋)	"	
付 記					
〔能〕					
9	題名	角 田 川 〔観世流謡曲百番集〕			
27	"	湯 谷 〔喜多流謡曲大成〕			
〔歌 舞 伎〕					
6	題名	一谷嫩軍記(目次は嫩) 〔歌舞伎名作選〕			
28	"	吉々参由縁音信 〔黙阿弥全集〕			
31	"	極附幡随長兵衛 〔黙阿弥全集〕			
35	"	樟紀流花見幕張 〔黙阿弥全集〕			
40	"	花街模様薊色縫 〔黙阿弥全集〕			
47	"	早苗鳥伊達聞書 〔黙阿弥全集〕			
53	"	新皿屋敷月雨暈 〔黙阿弥全集〕			
55	"	水滸伝雪挑(目次は水滸伝) 〔黙阿弥全集〕			
60	"	浮世柄比翼緋妻 〔歌舞伎名作選〕			
72	"	時桔梗出世請状 〔歌舞伎名作選〕			

## 後 記

本書は、芸能部全員の共同作業によって刊行された「音盤目録Ⅰ」を継承し、主として演劇研究室員が作業に当たったが、作業過程におけるおもな分担を掲げておく。まず音盤の聴取とカードの記入、そのカードよりの原稿作成、文字づかいの統一等は浦山が当たったが、その他の原稿作成は下記の分担によった。

別表2 題名場名表

宮本

別表 4	奏演者代数表	宮本
別表 5	音盤題紙識別表	佐藤
	同上商標図	横道・三隅・仲井・宮本
題名索引		浦山・宮本
奏演者索引		宮本
詞章索引		宮本

音盤目錄作成係

演劇研究室	浦 山 政 雄
	前 嶋 茂 子
	宮 本 瑞 夫
	齋 藤 靖 子
音楽舞踊研究室	横 道 萬 里 雄
	佐 藤 道 子
	松 本 雍
郷土芸能研究室	三 隅 治 雄
	仲 井 幸 二 郎

印 刷 昭和 46 年 2 月 28 日

発 行 昭和 46 年 3 月 30 日

---

東京国立文化財研究所蔵

音 盤 目 録 II

---

編集者 東京国立文化財研究所芸能部

印刷所 大 蔵 省 印 刷 局  
東京都港区赤坂葵町 2 番地

発行所 東京国立文化財研究所  
東京都台東区上野公園